



地方独立行政法人
神奈川県立病院機構
Kanagawa Prefectural Hospital Organization

平成30年度

神奈川県立

足柄上病院年報

令和元年9月

足柄上病院の病院理念

1 「あ」：安全で安心な医療を提供します。

医療事故防止、診療情報の提供

1 「し」：社会の要請を担う政策医療を展開します。

救急医療、小児医療、HIVを含む感染症医療

1 「か」：患者中心の医療を実践します。

インフォームド・コンセントの徹底、患者満足度の高い医療、患者の権利擁護

1 「み」：魅力ある自立した病院を目指します。

患者さんにとっても、医療従事者にとっても経営的にも、環境面でも

患者権利章典

医療は誰の為にあるのか、何の為にあるのかを深く認識し、常に患者さんサイドに立った医療の実践を目指して、患者さんの権利に関して県立足柄上病院は次のことがらを大切に考え行動します。

1 平等で公正な医療を受ける権利

患者さんは医療を受けるにあたり、人格、価値観、人生観、死生観が尊重され、差別なしに良質な医療を受ける権利があります。患者さんは人権、国籍、信条、宗教、社会的地位等を問わず、平等で公正な医療を受ける権利があります。

2 選択の自由の権利

患者さんはいずれの医療機関でも保健サービス機関でも自由に選択し、又変更する権利があります。患者さんは、いかなる治療段階でもセカンド・オピニオン(他の医師の意見)を受ける権利があります。

3 自己決定権

患者さんは誰でも十分なインフォームド・コンセントの後に、自分の受ける全ての医療に関し、選択の自由(インフォームド・チョイス)が保障され自分で決定する権利があります。

4 プライバシーの保護を受ける権利

患者さんは一人の人間としてその人間が尊重され、個人情報の秘密が保持され、その人の私生活がみだりに第三者にさらされず乱されない権利があります。

5 情報を得る権利

患者さんは自分の医療上のいかなる情報も受ける権利、健康状態に関し十分な説明を受ける権利があります。

6 健康教育を受ける権利

患者さんは疾病やその治療法、保健、予防等について学習する権利があります。

7 医療参加の権利

医療は患者さんと医療提供者とが信頼関係に基づき協力して作り上げていくものです。患者さんは誰でも最適な医療が実践されるよう主体的に医療に参加する権利があります。

8 どんな状況下でも、適切な判断の下に意思が尊重され支援される権利

最善の努力をしても時として病気が進展して治癒が期待できない状況下となることがあります。そのような場合、患者さんの意思と最良のQORを得る努力が尊重され、強く支援される権利があります。

目 次

第1章 病院の概況

1	位置等	1
(1)	位 置	1
(2)	県の人口と世帯数	2
(3)	神奈川県立病院一覧	3
2	沿革等	4
(1)	沿 革	4
(2)	各種学会認定状況	5
(3)	承認事項等	5
3	機 構	9
(1)	組 織	9
(2)	職種別配置表	10
(3)	院内各種会議	11
4	平成30年度の職員の状況	12
(1)	年度当初現員数	12
(2)	病床100床当たりの部門別職員数	12
(3)	部門別1人1日平均取扱患者数	13
5	診療体制	14
(1)	開設の許可・承認等	14
(2)	診療体制	15
(3)	使用料及び手数料（中期計画第7）	15
6	配置図	16
7	施設の概況	17
(1)	土 地	17
(2)	建 物	17
(3)	設 備	18

第2章 経理の状況

(1)	収益・費用の構成	22
(2)	収 益	23

(3) 費用	23
(4) 経営分析状況	24

第3章 患者の概況

(1) 年齢別患者数	25
(2) 地域別患者数	26
(3) 診療科別患者数	27
(4) 診療科別入院・外来患者及び収益の状況	28
(5) 診療科別月別患者数	31
(6) 病棟別患者数の状況	33
(7) 稼動状況	33
(8) 救急患者取扱状況	34
(9) 診療科別救急患者数	34
(10) 事由別救急患者数	34
(11) 患者死亡件数	34

第4章 業務の状況

1 栄養管理科業務	35
(1) 病棟別栄養アセスメント結果	35
(2) 入院前の栄養評価	35
(3) 栄養相談	35
(4) 給食実施状況	36
(5) 食種別構成比率	36
(6) ランチ講習会	36
2 手術	37
(1) 総手術件数	37
(2) 麻酔別手術件数	37
(3) 分娩件数	37
(4) 各診療科手術件数	38
3 内視鏡	40
(1) 内視鏡検査件数	40
(2) 内視鏡処置件数	40
(3) 泌尿器科外来検査件数	40
4 リハビリテーション科業務	41
(1) ア診療科別実数	41

イ 平成30年度診療科別実数割合	42
(2) 訓練業務の推移(延件数・単位)	42
(3) 実習生受入状況	43
5 放射線技術科業務	44
(1) X線撮影実績(人数及び件数・月別)	44
(2) X線撮影実績(人数及び件数・年度別)	46
(3) 時間外救急実績(人数及び件数)	46
(4) 高度医療機器共同利用実績(人数)	46
6 検査技術科業務	47
(1) 臨床検査件数(大分類)	47
(2) 緊急検査(土日祝日・時間外)件数	47
(3) 委託	47
(4) 血液製剤使用量	47
(5) 院内研修等	47
(6) 実習生受入状況	47
(7) 月別臨床検査数	48
7 薬剤科業務	50
(1) 処方箋発行状況	50
(2) 薬効別使用状況	50
(3) 製剤数	50
(4) 麻薬使用量(麻薬年間届の数量)	51
(5) 注射薬	51
(6) 採用品目数	52
(7) 後発品移行状況(後発品採用品目数)	52
(8) 医薬品情報(DI)業務	52
(9) 薬剤管理指導業務	52
(10) 薬剤管理指導・関連業務収益	53
(11) 無菌製剤業務(抗がん剤混合等)	53
(12) 実習生受入状況	53
8 地域医療センター業務	54
【地域医療連携室】	54
(1) 地域医療連携室業務実績の推移と地域活動の状況[医療連携業務]	54
(2) 診療科別紹介患者(受け)件数	55
(3) 診療科別紹介患者(出し)件数	56
(4) 診療科別紹介患者報告率	56
(5) 紹介率の推移	57
(6) 逆照会率の推移	57
(7) 紹介患者(受け)年齢別件数	57

(8) 紹介患者（受け）地域別件数	58
(9) 相談依頼受付状況	58
(10) 神奈川県在宅難病患者受入病床確保事業・受入状況	59
(11) 患者さん相談室活動状況	60
【入退院支援センター】	62
【在宅療養支援部門】	63
【救命救急部門】	63
9 看護局業務	64
(1) 看護局ミッション	64
(2) 看護局ビジョン	64
(3) 平成30年度看護局目標	64
(4) 平成30年度看護局目標評価	64
(5) 看護外来業務	65
平成30年度 院内研修実績	66
平成30年度 オープンセミナー開催実績	67
平成30年度 学会・院外研修参加実績	67
平成30年度 実務研修受入実績	71
平成30年度 施設見学等受入実績	72
平成30年度 高校生職業体験会開催実績	72
平成30年度 かもめのたまご計画(就職前支援)開催実績	73
平成30年度 復職支援研修開催実績	73
平成30年度 看護学実習受入実績	74
10 助産関連業務	75
11 各種活動報告	76
(1) 感染症対策会議（感染管理室）活動報告	76
(2) 医療安全推進活動報告	78
(3) クリニカルパス検討会議	83
(4) 災害医療対策室	84
(5) 褥瘡対策会議	85
(6) ボランティア活動報告	85
(7) 臨床病理検討会（CPC）	85
(8) 糖尿病対策会議	86
(9) 「医学講座」・「出前講座」	87
第5章 研究等	88

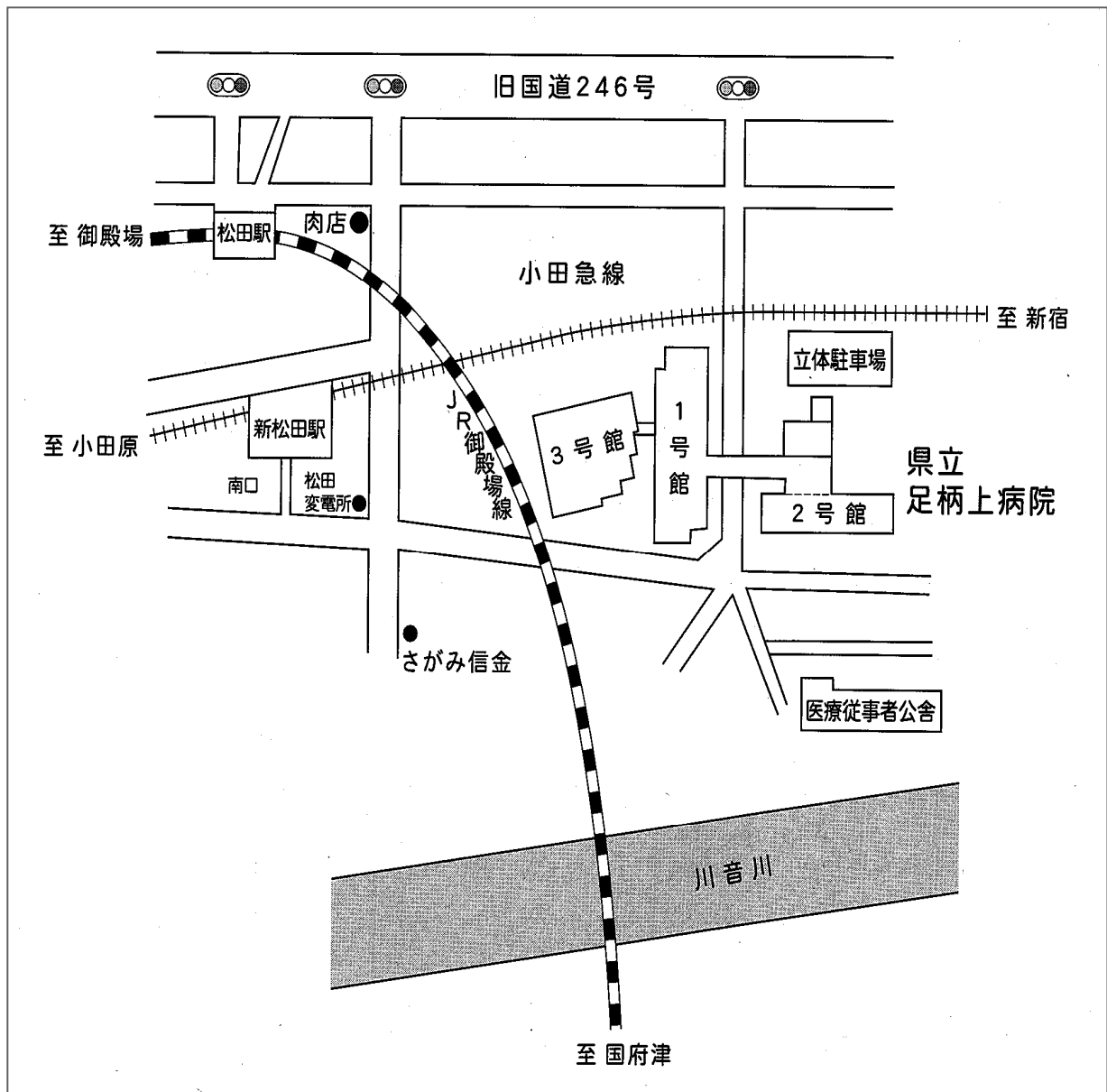
第1章 病院の概況

1 位置等

(1) 位置

足柄上病院は県西地域に位置し、西に富士山を仰ぎ、箱根外輪山から丹沢連峰に連なる美しいやまなみに抱かれ、川音川の流れ近くにあります。

当地は温暖で、みかんやお茶などの産地として知られ、また、小田急線とJR御殿場線が交差しており、当病院は両線の駅からいずれも徒歩10分以内という便利なところにあります。

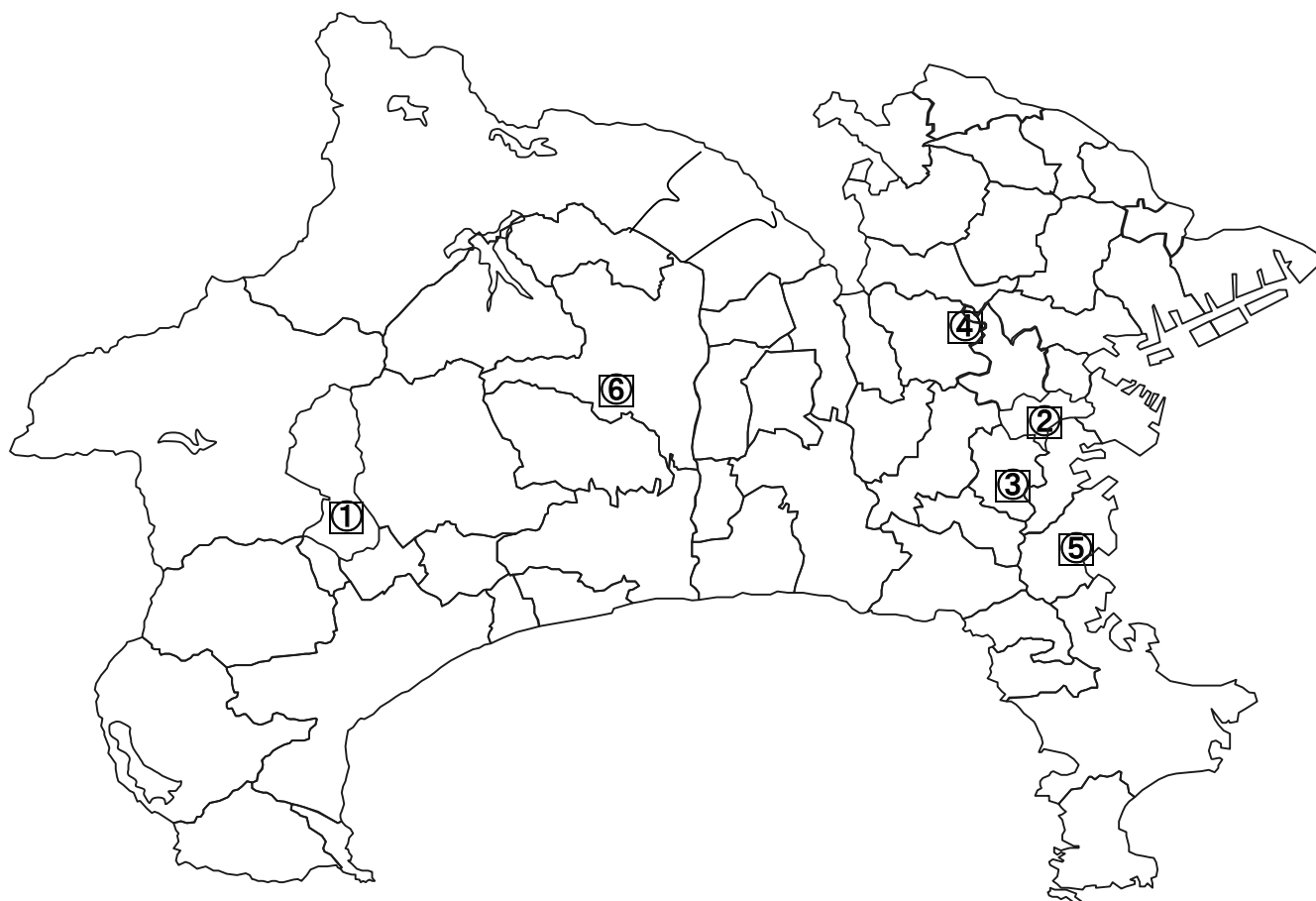


- 1 小田急「新松田駅」下車徒歩5分
- 2 JR御殿場線「松田駅」下車徒歩約10分

(2) 県の人口と世帯数

市区町村	平成30年4月1日(A)			平成29年4月1日(A)			比較増減(A-B)		
	世帯数	人口	1世帯当たり 人員数	世帯数	人口	1世帯当たり 人員数	世帯数	人口	1世帯当たり 人員数
県 計	4,088,341	9,161,113	2.24	4,041,926	9,144,183	2.26	46,415	16,930	-0.02
市部 計	3,970,047	8,871,010	2.23	3,924,713	8,853,068	2.26	45,334	17,942	-0.03
郡部 計	118,294	290,103	2.45	117,213	291,115	2.48	1,081	-1,012	-0.03
横浜市	1,680,768	3,731,706	2.22	1,665,516	3,728,124	2.24	15,252	3,582	-0.02
川崎市	722,881	1,509,887	2.09	710,526	1,496,035	2.11	12,355	13,852	-0.02
相模原市	321,067	722,334	2.25	316,648	720,986	2.28	4,419	1,348	-0.03
横須賀市	166,869	397,736	2.38	166,584	401,285	2.41	285	-3,549	-0.03
平塚市	110,410	257,962	2.34	109,020	257,877	2.37	1,390	85	-0.03
鎌倉市	73,939	172,194	2.33	73,326	172,352	2.35	613	-158	-0.02
藤沢市	186,157	429,317	2.31	183,985	427,501	2.32	2,172	1,816	-0.01
小田原市	80,764	191,325	2.37	80,344	192,856	2.40	420	-1,531	-0.03
茅ヶ崎市	101,149	241,532	2.39	99,583	239,891	2.41	1,566	1,641	-0.02
逗子市	24,561	57,218	2.33	24,471	57,525	2.35	90	-307	-0.02
三浦市	17,485	43,469	2.49	17,473	44,132	2.53	12	-663	-0.04
秦野市	70,978	165,560	2.33	70,348	166,093	2.36	630	-533	-0.03
厚木市	98,638	225,194	2.28	97,132	224,994	2.32	1,506	200	-0.04
大和市	105,574	235,357	2.23	104,001	234,293	2.25	1,573	1,064	-0.02
伊勢原市	44,809	102,416	2.29	44,039	102,037	2.32	770	379	-0.03
海老名市	55,658	131,950	2.37	54,509	130,860	2.40	1,149	1,090	-0.03
座間市	57,663	129,387	2.24	57,019	129,277	2.27	644	110	-0.03
南足柄市	16,482	42,427	2.57	16,290	42,641	2.62	192	-214	-0.05
綾瀬市	34,195	84,039	2.46	33,899	84,309	2.49	296	-270	-0.03
三浦郡葉山町	12,643	31,902	2.52	12,604	31,986	2.54	39	-84	-0.02
高座郡寒川町	19,365	48,138	2.49	19,150	48,089	2.51	215	49	-0.02
中郡	23,949	59,451	2.48	23,700	59,521	2.51	249	-70	-0.03
大磯町	12,602	31,504	2.50	12,425	31,431	2.53	177	73	-0.03
二宮町	11,347	27,947	2.46	11,275	28,090	2.49	72	-143	-0.03
足柄上郡	24,671	64,999	2.63	24,383	65,123	2.67	288	-124	-0.04
中井町	3,430	9,483	2.76	3,395	9,580	2.82	35	-97	-0.06
大井町	6,360	16,941	2.66	6,253	16,891	2.70	107	50	-0.04
松田町	4,487	10,962	2.44	4,447	10,993	2.47	40	-31	-0.03
山北町	3,840	10,017	2.61	3,858	10,296	2.67	-18	-279	-0.06
開成町	6,554	17,596	2.68	6,430	17,363	2.70	124	233	-0.02
足柄下郡	20,089	42,687	2.12	19,954	43,218	2.17	135	-531	-0.05
箱根町	6,217	11,433	1.84	6,141	11,562	1.88	76	-129	-0.04
真鶴町	3,044	6,991	2.30	3,059	7,109	2.32	-15	-118	-0.02
湯河原町	10,828	24,263	2.24	10,754	24,547	2.28	74	-284	-0.04
愛甲郡	17,577	42,926	2.44	17,422	43,178	2.48	155	-252	-0.04
愛川町	16,431	39,788	2.42	16,279	40,012	2.46	152	-224	-0.04
清川村	1,146	3,138	2.74	1,143	3,166	2.77	3	-28	-0.03

(3) 神奈川県立病院一覧



地方独立行政法人神奈川県立病院機構県立病院

- ① 足柄上病院 (松田町)
- ② こども医療センター (横浜市南区)
- ③ 精神医療センター (横浜市港南区)
- ④ がんセンター (横浜市旭区)
- ⑤ 循環器呼吸器病センター (横浜市金沢区)

神奈川県健康医療局所管の
県立病院(指定管理施設)

- ⑥ 神奈川リハビリテーション病院 (厚木市)

足柄上地域医療関係施設数
(平成31年4月1日現在)

	病院	診療所	歯科診療所
南足柄市	2	24	18
中井町	1	8	4
大井町	1	9	7
松田町	1	9	6
山北町	0	6	3
開成町	1	20	10
総数	6	76	48

2 沿 革 等

(1) 沿 革

昭和 20 年 10 月	日本医療団の設置(松田町惣領1191番地の 1 元旅館の建物を改造)
昭和 23 年 4 月	日本医療団設置の医療施設を同医療団解散に伴い県に移管
昭和 25 年 3 月	松田町惣領 315 番地に移転・新築
〃 4 月	県立足柄上病院として一般病床 22 床、伝染・結核病床 22 床、 病床数 44 床をもって発足
昭和 27 年 3 月	第 1・第 2 病棟を新築、一般病床 43 床、伝染・結核病床 22 床、 病床数 65 床
昭和 37 年 12 月	松田町松田惣領 866 番地の 1 (現在地)に移転・新築(本館 2 階建) 病床数 80 床をもって開院
昭和 39 年 8 月	救急指定病院
昭和 41 年 3 月	2 号館病棟を増築。一般病床 120 床、伝染・結核病床 20 床、 病床数 140 床
昭和 48 年 12 月	3 号館完成
昭和 50 年 1 月	総合病院として、稼動病床数 180 床をもって運営を開始
〃 5 月	3 号館 4 階西病棟 30 床を開床。稼動病床数 210 床
昭和 51 年 4 月	伝染病棟 10 床を開床。稼動病床数 220 床
昭和 52 年 1 月	3 号館 5 階西病棟 40 床を開床。稼動病床数 260 床
昭和 53 年 5 月	3 号館 2 階西病棟 40 床を開床。稼動病床数 300 床
平成元年 12 月	1 号館完成
平成 3 年 4 月	3 号館 3 階南病棟 40 床を開床。稼動病床数 340 床
平成 7 年 11 月	エイズの中心的受入病院
平成 10 年 3 月	災害拠点病院指定
平成 11 年 4 月	第二種感染症指定医療機関指定。感染症病床 4 床減、 稼動病床数 336 床
〃 10 月	一般病床 30 床休床。稼動病床数 306 床
平成 13 年 3 月	新 3 号館完成
平成 15 年 2 月	駐車場完成
〃 11 月	臨床研修病院の指定
平成 17 年 4 月	リハビリテーション特例病床 40 床を廃止。稼動病床数 296 床
〃 8 月	病院機能評価(Ver・4)の認定
平成 20 年 4 月	一般病床 32 床休床。稼動病床数 264 床
平成 22 年 4 月	地方独立行政法人神奈川県立病院機構に移行
平成 28 年 10 月	3 号館 4 階 4 B 病棟 41 床を地域包括ケア病棟として開始
平成 29 年 12 月	3 号館 3 階 3 A 病棟地域包括ケア病棟 60 床、4 B 32 床休床

(2) 各種学会認定状況

認定・指定内容	指定年月日	認定施設番号
日本整形外科学会認定医制度研修施設	昭和58年 4月11日	第 0025号
日本眼科学会専門医制度研修施設	昭和59年 4月 1日	第 3917号
日本麻酔科学会認定病院	昭和60年 4月24日	第 369号
日本泌尿器科学会専門医教育施設	昭和62年 1月30日	第860278号
日本内科学会認定医教育関連病院	平成17年 7月23日	第 992号
日本外科学会外科専門医制度修練施設	平成18年 1月 1日	第140119号
日本消化器外科学会専門医修練施設	平成18年 1月 1日	第14050号
日本消化器病学会専門医制度認定施設	平成18年 1月 1日	第14072号
日本皮膚科学会認定専門医研修施設	平成18年 5月 1日	第 1213号
日本がん治療認定機構認定研修施設	平成19年11月 1日	第 20423号
日本循環器学会認定循環器専門医研修関連施設	平成20年 4月 1日	第 1242号
日本神経学会専門医制度准教育施設	平成21年 4月 1日	第6188-0号
日本乳癌学会認定医専門医制度関連施設	平成22年 1月 1日	第3041-02号
日本高血圧学会専門医認定施設	平成22年 4月 1日	第 0385号
日本消化器内視鏡学会専門医制度指導施設	平成24年12月 1日	第20120014号

(3) 承認事項等

昭和26年1月1日	生活保護法医療機関指定
10月9日	結核予防法医療機関指定
昭和37年12月1日	基準給食承認(食第174号)
	基準寝具設備承認(寝第85号)
	健保、国保、保健医療機関指定(足上医第50号)
昭和38年1月1日	基準看護承認特2(病看87号)
昭和39年8月7日	救急病院指定(特2)
昭和41年11月11日	養育医療機関指定
昭和45年4月1日	原子爆弾被爆者等健康診断委託契約
昭和49年10月1日	基準看護承認(特2変更)
昭和50年4月1日	総合病院の名称使用承認
昭和51年4月1日	助産施設設置承認
昭和54年7月1日	運動療法等の施設基準に係わる承認(運第39号)
昭和56年8月1日	重症者看護及び重症者の収容の基準実施承認(重収第3号)
昭和63年4月1日	基準看護承認 特3(棟看13号)

平成元年 9 月 1 日	基準看護承認（特 3 変更） 優生保護法第 14 条による指定医師の指定
平成 3 年 4 月 1 日	基準看護承認（特 2 変更） 一般病棟 40 床増床 重症者の収容の実施施設基準（内容の変更） 個室 13 床 2 人室 2 床
平成 3 年 12 月 1 日	作業療法の実施承認（作第 48 号）
平成 4 年 1 月 1 日	投薬の実施承認（薬第 19 号）
平成 4 年 4 月 1 日	基準看護承認（内容変更） 特 3 類 7 病棟、特 2 類 1 病棟（3 南病棟）
平成 6 年 10 月 1 日	新看護の届出
平成 7 年 11 月 16 日	エイズの中心的受入病院
平成 11 年 4 月 1 日	第二種感染症指定医療機関指定
平成 13 年 3 月 13 日	診療用放射性同位元素設置届
平成 15 年 3 月	I S O 1 4 0 0 1 認証取得
平成 15 年 11 月 19 日	臨床研修病院指定
平成 17 年 8 月	病院機能評価の認定
平成 22 年 4 月 1 日	地方独立行政法人神奈川県立病院機構への移行 開設許可 保険医療機関指定（足上医第 150 号） 労災保険指定医療機関指定（1410181 号） 救急病院等の指定 災害医療拠点病院の指定 自立支援医療機関（育成医療、更生医療、精神通院医療）指定 D P C 対象病院に認定
平成 25 年 2 月 6 日	神奈川 D M A T 指定病院の指定
平成 31 年 4 月 1 日	神奈川県難病医療支援病院の指定

施設基準届出項目一覧

平成31年3月31日現在

【基本診療料の施設基準】

歯科初診料注1にかかる施設基準

急性期一般入院料1

超急性期脳卒中加算

診療録管理体制加算2

急性期看護補助体制加算25対1

看護職員夜間配置加算12対1

療養環境加算

重症者等療養環境特別加算

医療安全対策加算1/医療安全対策地域連携加算1

感染防止対策加算1 / 地域連携加算/抗菌薬適正使用支援加算

褥瘡ハイリスク患者ケア加算

総合評価加算

後発医薬品使用体制加算1

病棟薬剤業務実施加算1

データ提出加算2イ

入退院支援加算1/地域連携診療計画加算/入院時支援加算

認知症ケア加算2

精神疾患診療体制加算

ハイケアユニット入院医療管理料1

地域包括ケア病棟入院料2

【特掲診療料の施設基準】

ウイルス疾患指導料

糖尿病合併症管理料

がん性疼痛緩和指導管理料

がん患者指導管理料イ

がん患者指導管理料ロ

院内トリアージ実施料

救急搬送看護体制加算

ニコチン依存症管理料

肝炎インターフェロン治療計画料

薬剤管理指導料

在宅療養後方支援病院

検体検査管理加算(Ⅰ)

検体検査管理加算(Ⅳ)

時間内歩行試験

ヘッドアップティルト試験

神経学的検査

CT透視下気管支鏡検査加算

CT撮影及びMRI撮影

抗悪性腫瘍剤処方管理加算

外来化学療法加算1

無菌製剤処理料

脳血管疾患等リハビリテーション料(Ⅱ)

運動器リハビリテーション料(Ⅰ)

呼吸器リハビリテーション料(Ⅰ)

認知療法・認知行動療法2

脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術

乳がんセンチネルリンパ節加算2

ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術

食道縫合術(穿孔、損傷)(内視鏡によるもの)

内視鏡下胃、十二指腸穿孔瘻孔閉鎖術(内視鏡によるもの)

胃瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)

小腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)

結腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)

腎(腎盂)腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)

尿管腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)

膀胱腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)

膣腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)

大動脈バルーンパンピング法(IABP法)

体外衝撃波胆石破砕術

体外衝撃波膀胱石破砕術

早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術

体外衝撃波腎・尿管結石破砕術

医科点数表第2章第10部手術の通則16に掲げる手術(胃瘻造設術、経皮的内視鏡下及び腹腔鏡下胃瘻造設術)

腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術

輸血管理料2

輸血適正使用加算

人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算

胃瘻造設時嚥下機能評価加算

麻酔管理料(Ⅰ)

保険医療機関間の連携におけるデジタル病理画像による術中迅速病理組織標本作成

【その他の施設基準】

■入院時食事療養

入院時食事療養(Ⅰ)

■保険外併用療養費(選定療養)

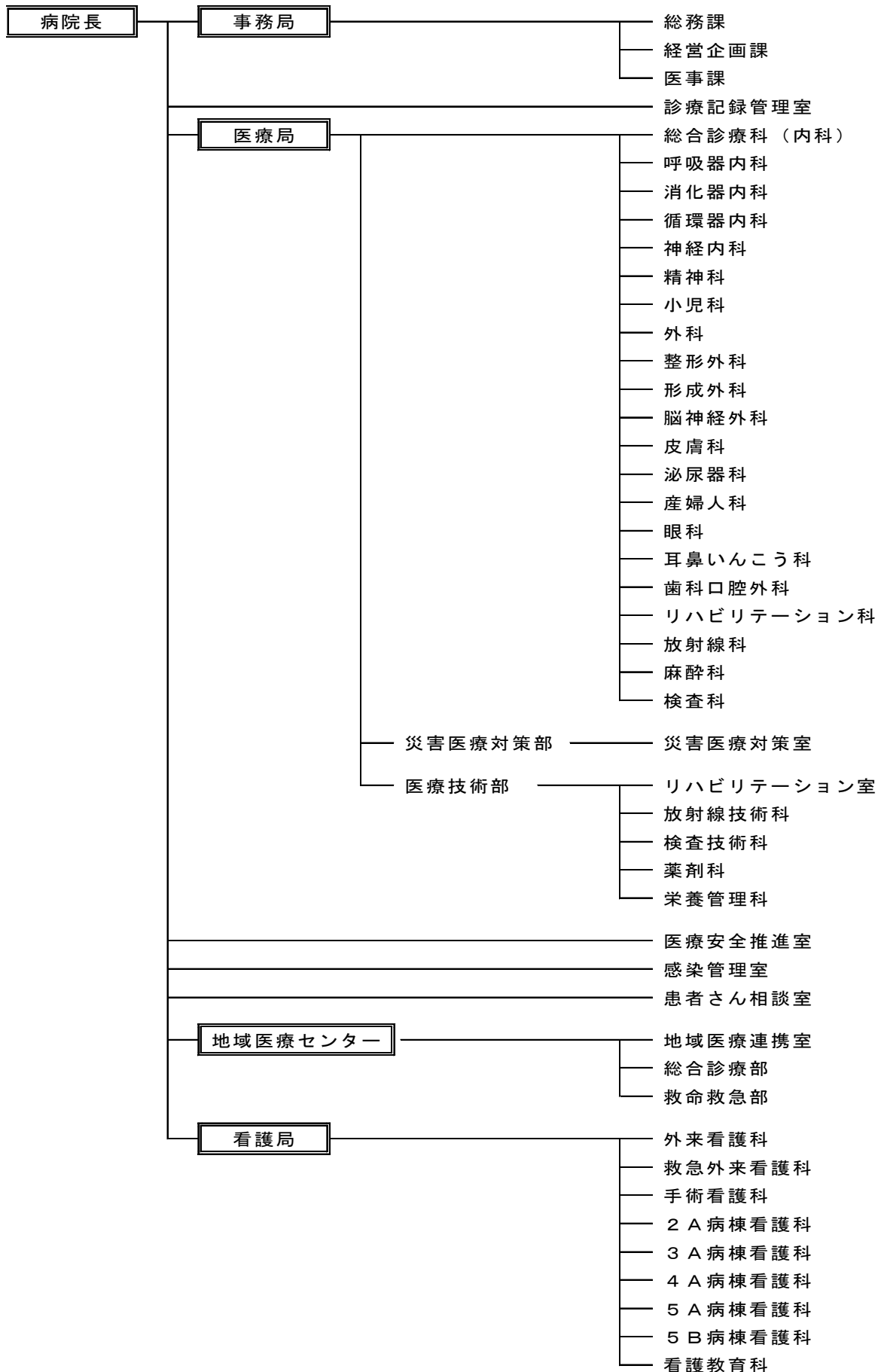
200床以上病院の未紹介患者の初診

特別の療養環境の提供(室料差額)

180日を超える入院の特定療養費

3 機 構

(1) 組 織



(2) 職種別配置表

平成31年4月1日現在

職 種 組 織		総 数	一 般 事 務 職	福 祉 職	医 師	薬 剤 師	診 療 放 射 線 職	臨 床 検 査 技 師	栄 養 士	理 学 療 法 士	作 業 療 法 士	視 能 訓 練 職	看 護 職	看 護 補 助	電 話 交 換 職	自 動 車 運 転 員	病 棟 技 能 職
病 院 長		1			1												
副 院 長 (兼 医 療 局 長)		1			1												
副 院 長 (兼 看 護 局 長)		1											1				
事 務 局	事 務 局 長	1	1														
	副 事 務 局 長	1	1														
	総 務 課	5 (2)	3 (2)												1	1	
	経 営 企 画 課	7	7														
医 療 局	医 事 課	6 (1)	6 (1)														
	総 合 診 療 科 (内 科)	4<1>			4<1>												
	呼 吸 器 内 科	1			1												
	消 化 器 内 科	5			5												
	循 環 器 内 科	3<1>			3<1>												
	神 經 内 科	1			1												
	精 神 科	0			0												
	小 児 科	1			1												
	外 科	5			5												
	整 形 外 科	6			6												
	形 成 外 科	0			0												
	脳 神 經 外 科	4			4												
	皮 膚 科	1			1												
	泌 尿 器 科	3			3												
	産 婦 人 科	0			0												
	眼 科	2			1							1					
	耳 鼻 い ん こ う 科	0			0												
	歯 科 口 腔 外 科	0			0												
	リ ハ ビ リ テ ー シ ョ ン 科	0			0												
	放 射 線 科	1			1												
	麻 酔 科	3			3												
	検 査 科	1			1												
局	災害医療対策部																
	災害医療対策室	<1>			<1>												
	医療技術部																
	リハビリテーション室	11<1>			<1>					9	2						
	放射線技術科	14					14										
	検査技術科	15 (1)					15 (1)										
	薬剤科	22				22											
	栄養管理科	2 (1)						2 (1)									
医 療 安 全 推 進 室		1											1				
感 染 管 理 室		1											1				
患 者 さ ん 相 談 室		(1)		(1)													
地域医療センター																	
地 域 医 療 連 携 室		8 (1)<1>		1 (1)	<1>								7				
総 合 診 療 部																	
救 命 救 急 部		1			1												
看 護 局	副 看 護 局 長	2											2				
	外 来	4 (1)											4 (1)				
	救 急 外 来	16 (3)											16 (2)	(1)			
	手 術 室	13											13				
	病 棟	174 (3)											170 (1)	(2)			4
看 護 教 育 科		3 <1>											3 <1>				
そ の 他		14											14				
現 員 計		365 (14) <6>	18 (3)	1 (2)	43 <5>	22	14	15 (1)	2 (1)	9	2	1	232 (4) <1>	(3)	1	1	4
定 員		348	18	1	50	18	14	14	3	9	2	1	207	—	2	1	8

()は外数で契約職員

< >は外数で兼務職員

(3) 院内各種会議

病院の管理運営の円滑化を図るため、次の会議を設置している。

平成31年4月1日現在

会議等の名称		会長・委員長等	事務局	構成員数	開催時期
1	幹部会議	病院長	総務課	12	毎週水曜日
2	運営会議	病院長	総務課	41	毎月第3木曜日
3	将来計画委員会	病院長	—	10	随時
4	医療従事者負担軽減会議	副院長	総務課	14	随時
5	病棟運営会議	医師	医事課	18	随時
6	外来運営会議	医師	医事課	10	随時
7	診療報酬適正検討会議(兼 ^コ ー ^テ ィ ^ン グ ^ク 委員会)	病院長	医事課	8	随時
8	診療録管理委員会	副院長	医事課	10	随時
9	倫理会議	副院長	総務課	9	随時
10	感染対策会議	病院長	感染管理室	16	毎月第4水曜日
11	H I V / A I D S 委員会	医師	薬剤科	9	隔月
12	治験審査委員会	副院長	薬剤科	9	随時
13	受託研究審査会議	副院長	薬剤科	9	随時
14	災害医療対策会議	医師	総務課	19	5, 9, 3 月第2月曜日
15	診療材料検討会議	病院長	経営企画課	9	随時
16	栄養管理会議	看護局長	栄養管理科	11	毎月第2火曜日
17	輸血療法委員会	医師	検査技術科	14	年6回
18	薬事検討会議	副院長	薬剤科	9	年4回
19	医療安全管理会議	医師	医療安全推進室	17	毎月第4水曜日
20	医療ガス安全管理会議	事務局長	経営企画課	16	随時
21	医療機器安全管理会議	事務局長	経営企画課	16	随時
22	リスクマネジメント会議	医師	医療安全推進室	18	毎月第4金曜日
23	臨床検査検討会議	医師	検査技術科	8	随時
24	手術室運営会議	医師	手術室	9	隔月
25	内視鏡運営会議	医師	救急外来	8	年4回
26	救命救急運営会議	医師	医事課	13	随時
27	クリニカルパス検討会議	医師	看護局・医事課	20	毎月第4月曜日
28	臨床研修委員会	副院長	総務課	10	随時
29	院内臨床研修管理委員会	副院長	総務課	12	随時
30	衛生委員会	事務局長	総務課	11	毎月第1月曜日
31	ボランティア調整会議	副事務局長	総務課	9+ α	年4回
32	機種等選定会議	病院長	経営企画課	8	随時
33	医療情報システム運用調整会議	副院長	医事課	15	随時
34	放射線運営会議	医師	放射線技術科	9	随時
35	がん化学療法検討会議	医師	薬剤科	13	隔月
36	糖尿病検討会議	医師	看護局	10	5, 9, 2 月第1火曜日
37	臨床・病理症例検討会	医師	検査技術科	4	随時
38	地域医療センター運営会議	医師	地域医療連携室	14	随時
39	院内助産運営委員会	病院長	副事務局長	3	随時
40	地域包括ケア病棟運営会議	医師	医事課	7	随時
41	褥瘡対策会議	医師	看護局	9	毎月
42	NST・摂食嚥下対策会議	医師	栄養管理科	10	5, 9, 12, 3 月第1金曜日
43	HCU運営会議	医師	医事課	3	随時
44	超音波検査検討会議	医師	検査技術科	9	随時
45	看護の日等記念行事実行委員会	事務局長	看護局	6	随時

4 平成30年度の職員の状況

(1) 年度当初現員数

部門	職種	28年度	29年度	30年度	(参考) 31年度
医 師	医師	45	42	43	43
看 護	看護師	214(8)	211(7)	230(7)	232(4)
	病棟技能職	6(2)	5(2)	5	4
	看護補助	(1)	(1)	(3)	(3)
薬 剤	薬剤師	15	17	21	22
事 務	一般事務職	17	18	19(3)	18(3)
給 食	栄養士	2	3	3	2(1)
	調理職	—	—	—	—
放射線	診療放射線職	13	14	14	14
検 査	臨床検査技師	14(2)	14(2)	15(1)	15(1)
その他	福祉職	1(2)	1(2)	1(2)	1(2)
	理学療法士	6	10	9	9
	作業療法士	2	2	2	2
	マッサージ師	—	—	—	—
	視能訓練士	1	1	1	1
	保育士	—	—	—	—
	自動車運転員	1	1	1	1
	電話交換職	1	1	1	1
		338(15) 計 353	340(14) 計 354	365(16) 計 381	365(14) 計 379

各年度当初(4月1日現在)の現員。()は契約職員で外数。

(2) 病床100床当たりの部門別職員数

	28年度 (264床)		29年度 (264床)		30年度 (264床)		(参考)31年度 (264床)	
	職員数	100床当たり職員数	職員数	100床当たり職員数	職員数	100床当たり職員数	職員数	100床当たり職員数
医 師	45	17	42	15.9	43	16.3	43	16.3
看護師	222	84.1	218	82.6	237	89.8	236	89.4
薬剤師	15	5.7	17	6.4	21	8.0	22	8.3
事務職	17	6.4	18	6.8	22	8.3	21	8.0
栄養士	2	0.8	3	1.1	3	1.1	3	1.1
放射線	13	4.9	14	5.3	14	5.3	14	5.3
検 査	16	6.1	16	6.1	16	6.1	16	6.1
その他	23	8.7	26	9.8	25	9.5	24	9.1
総 数	353	133.7	354	134.1	381	144.3	379	143.6

- (注) 1. 職員数は、年度当初(4月1日現在)現員であり、契約職員を含む。
2. 「病床100床当たりの職員数」の算定の基準となる病床数は、稼動病床数を利用した。
なお、年度内に稼動病床数の変動が生じた場合には、年度末の病床数を用いた。

(3) 部門別 1 人 1 日平均取扱患者数

	平成28年度			平成29年度				平成30年度			
	入院	外来 (243日)	計	入院	外来 (244日)	計	対前年度比 (%)	入院	外来 (244日)	計	対前年度比 (%)
患者延数	73,371	134,719	208,090	74,812	128,681	203,493	※△4,597人	80,740	123,589	204,329	※+836人
医 師	4.5	12.3	16.8	4.9	12.6	17.5	104.2	5.1	11.8	16.9	96.6
看護師	0.9	2.5	3.4	0.9	2.4	3.3	97.1	0.9	2.1	3	90.9
薬剤師	13.4	37	50.4	12.1	31	43.1	85.5	10.5	24.1	34.6	80.3
事務職	11.8	32.6	44.4	11.4	29.3	40.7	91.7	10.1	23	33.1	81.3
栄養士	100.2	—	100.2	68.3	—	68.3	68.2	73.7	—	73.7	107.9
全職員	0.6	1.6	2.2	0.6	1.5	2.1	95.5	0.6	1.3	1.9	90.5

注 1) ※は前年度との増減数を記載

注 2) ()は外来診療日数

注 3) 平成28年度は閏年のため366日

$$(\text{注}) \text{ 1 人 1 日平均取扱患者数 入院} = \frac{\text{入院患者延数}}{\text{部門別職員数 (年度当初現員)}} \times \frac{1}{365} \text{ 注 3)}$$

$$\text{外来} = \frac{\text{外来患者延数}}{\text{部門別職員数 (年度当初現員)}} \times \frac{1}{\text{外来診療日}}$$

5 診療体制

(1) 開設の許可・承認等

平成31年4月1日

区 分		内 容	
開 設 年 月 日		昭和25年4月1日 (独立行政法人化後の病院開設許可 平成22年4月1日)	
診 療 科 目		総合診療科（内科）、精神科、神経内科、呼吸器内科、消化器内科、 循環器内科、小児科、外科、整形外科、形成外科、脳神経外科、皮膚科、 泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻いんこう科、リハビリテーション科、 放射線科、麻酔科、歯科口腔外科	
病 床 数	一 般	(許可) 290床	(稼動) 258床
	感 染 症	6床	6床
	計	296床	264床
一般病棟入院基本料		急性期一般入院料1	
特定入院料		ハイケアユニット入院医療管理料、地域包括ケア病棟入院料2	
業 務 内 容		1. 患者の診察（助産を含む）及び看護 2. 健康相談及び保健衛生指導 3. 検査の受託	
指定医療機関の種類		健保、国保、生保、結核、労災、養育、育成、更生、原爆、救急、精神、 公害	

(2) 診療体制

平成31年4月1日

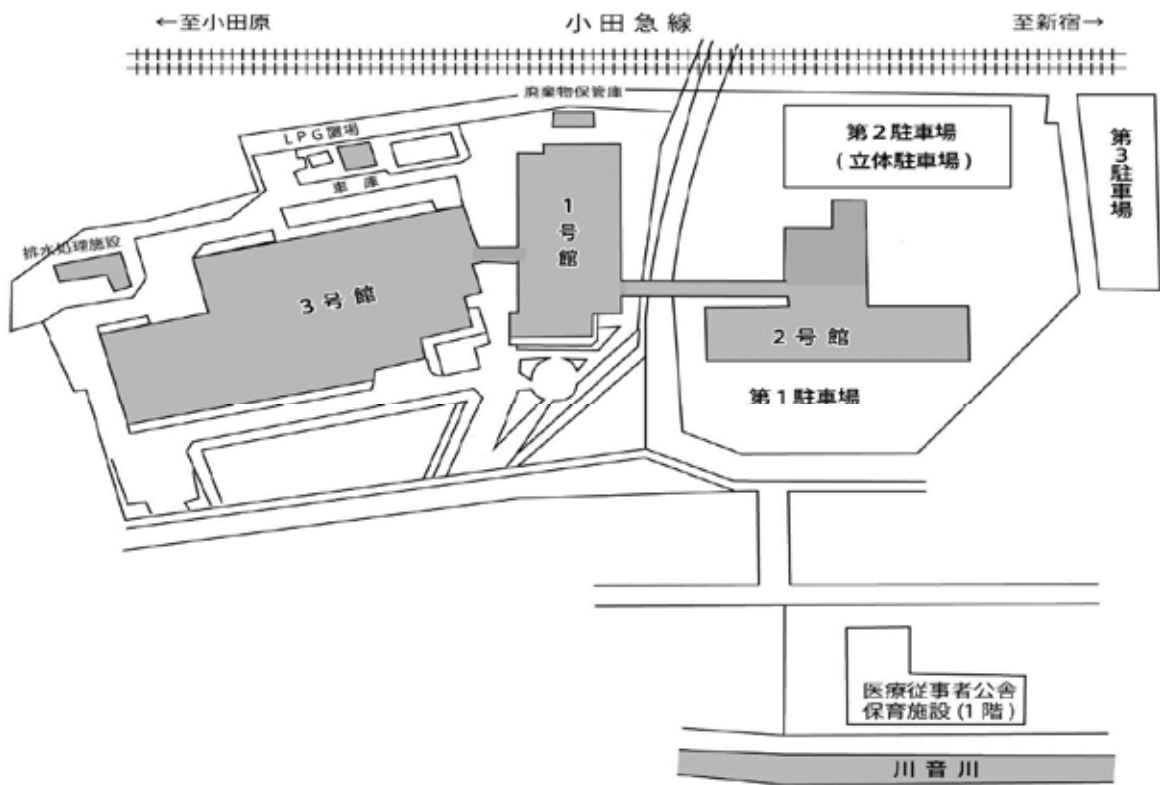
区 分		内 容
診 療 の 基 準		県立病院における診療は、健康保険法第72条に定める診療の基準に従って行なっている。
診療の受付時間等	診療の受付時間	新 患 午前8時30分～午前11時まで（平日） 再来患者 午前7時30分～午前11時まで（平日） （自動再診受付機で受付）
	休 診 日	1. 国民の祝日に関する法律に規定する休日 2. 土曜日及び日曜日 3. 1月2日、同月3日及び12月29日～同月31日まで
	急 患 受 付	24時間の当直体制をとっている。
面 会 時 間		14時～19時30分（土・日・祝日は13時～）
特 別 入 院 施 設 の 提 供	区 分	個室B 個室C 個室D 個室E 2人室
	室 料	9,700円 8,800円 8,100円 7,600円 3,500円
	(1日につき)	6床 1床 7床 1床 2床

(3) 使用料及び手数料（中期計画第7）

区分	種 別		単 価
使用料	一般診療・労災診療・公害健康被害診療 医療観察診療		地方独立行政法人神奈川県立病院機構 中期計画第7 料金に関する規定による
	自動車損害診療		健康保険診療費等に1.5を乗じて得た額
	分べんの介助	時間内 (()内多胎加算)	180,000(90,000)円
		時間外・休日等 (")	216,000(108,000)円
	初診特定療養費		1,620円
	新生児の保育		800円
	新生児被服の貸与		400円
手数料	えな、その他出産に伴う産あい物の処理		2,000円
	診断書	普 通 診 断 書	1,700円
		身体障害者診断書・意見書	5,000円
		自 賠 責 診 断 書	5,000円
	証明書	通 院 証 明 書	1,150円
		家族療養費支給証明書	1,700円
		自 賠 責 診 療 費 明 細 書	3,300円
	死 亡 診 断 書		3,400円
	診 察 券 の 再 交 付		150円

6 配置図

土地（平成31年4月1日現在）



建物断面図（平成31年4月1日現在）

3号館		1号館	2号館
5 階	5A病棟	5B病棟	病院長室 事務局長室 副院長室 副院長兼看護局長室 総務課・経営企画課 医局 看護局
4 階	4A病棟	4B病棟 (休床) 医療安全推進室長室 医療安全推進室 感染管理室 言語訓練室	内視鏡室 生理検査室
3 階	3A病棟	地域医療連携室 作業療法室 (足柄上医師会) 足柄上地区在宅医療・介護連携支援センター	外来 外来化学療法室 栄養指導室 患者さん相談室 地域医療センター
2 階	2A病棟 (救急・HCU) 手術室	外来 中央処置室	外来ナースステーション 薬剤科分室 研修医医局
1 階	1A病棟 放射線科 (X線・CT・MRI・血管造影) 検体検査室 輸血検査室 解剖室 入退院支援センター 機能訓練室 緊急処置室 救急受付 売店	総合案内 総合受付 医事課 薬局	リハビリテーション科 講義室・研修室
地 階	中央監視室 栄養管理科 厨房 放射線科 (RI・リニアック) 機械室 電気室 洗浄滅菌室 物品供給室	カルテ庫 空調機械室	病理検査室 細菌検査室 診療情報管理室 図書室 食堂

7 施設の概況

(1) 土 地

科目	所 在 地	用 途	面 積
土 地	足柄上郡松田町松田惣領 866番地の1 ほか1筆	2号館、立体駐車場	7,230.72㎡
	足柄上郡松田町松田惣領 1030番地の2 ほか42筆	1号館、3号館	8,984.02㎡
	足柄上郡松田町松田惣領 875番地 ほか2筆	医療従事者公舎敷地	2,851.86㎡
	計		19,066.60㎡

(2) 建 物

科目	所 在 地		構 造	面 積
建 物	足柄上郡松田町 松田惣領1030番地の2	1号館	S R C 地下1階 地上5階	5,343.35㎡
	足柄上郡松田町 松田惣領866番地の1	2号館	R C 地上3階	3,402.99㎡
	足柄上郡松田町 松田惣領1030番地の2	3号館	S R C 地下1階 地上5階	15,093.72㎡
	足柄上郡松田町 松田惣領875・882・883番地	医療従事者公舎 (預かり施設併設)	R C 地上6階	6,014.00㎡
	足柄上郡松田町 松田惣領866番地の1	立体駐車場	S 地上1階	1,725.00㎡
	足柄上郡松田町 松田惣領866番地の1	連絡棟	R C 地上3階	170.04㎡
	足柄上郡松田町 松田惣領866番地の1ほか	その他付帯施設		379.94㎡
	計 (19棟)			32,129.04㎡

(3) 設 備

ア 衛生設備

(ア) 給水設備	受水槽	250m ³	1基
	高架水槽	16m ³	1基
	〃 (井水)	21m ³	1基
	〃	5m ³	2基
(イ) 給湯施設	給湯槽	4,500 ℓ (2・3号館)	2基
	〃	1,500 ℓ (1号館)	2基
(ウ) 排水設備	厨房排水処理		1基
	感染排水処理		1基
	R I 排水処理		1基
(エ) 医療ガス設備	酸素、笑気、窒素、吸引、空気 (液酸タンク256.5m ³)		
	医療用コンプレッサー		2基
	エアードライヤー		2基

イ 機械設備

(ア) 熱源設備	炉筒煙管ボイラー2.5トン (常用圧力0.78MPa) 伝熱面積29.5m ²	2基
(イ) 熱交換設備	445.12kW・0.149m ³	2基
(ウ) 冷房設備	水冷チーリングユニット冷凍機能力 348kW フロンガスR22 (3号館24時間系統)	2基
(エ) 冷暖房設備	吸収式冷温水発生機 (冷房1196.0kW・暖房1045.0kW (2・3号館))	2基
〃	ヒートポンプチラー冷凍能力191,000kcal/h (1号館) フロンガスR22	2基
(オ) 空調設備	空調機 (エアハンドリングユニット)	41台
	パッケージ型空調機	80台
	ファンコイル	556台
(カ) オイルタンク (灯油) 1号館 (48,000ℓ) 3号館 (112,000ℓ)		

ウ 防災設備

(ア) 警報設備	自動火災報知機	88回線
	ガス漏れ感知器	45回線
	防火戸・防煙・排煙・防火ダンパ	98回線
(イ) 消火設備	屋内消火栓設備	
	スプリンクラー設備 (1・2号館全館、3号館全館)	
	二酸化炭素消火設備 (変電室・コンピュータールーム)	
(ウ) 防火監視設備	中央監視室、管理当直室、総務課事務室に設置	
(エ) 防火用井戸	水中ポンプ250ℓ/分 (受水槽 12m ³)	

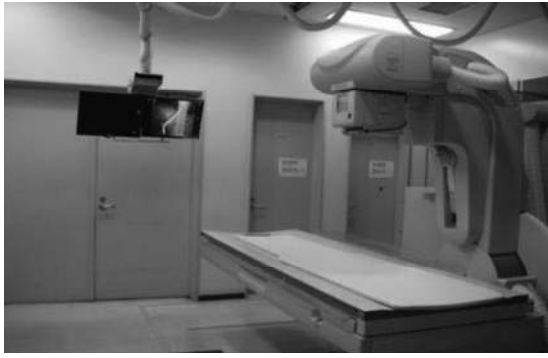
エ 電気設備

(ア) 受変電設備	受電方式	3相3線式 6.6KV	1回線
	契約電力	1,202KW	
(イ) 自家発電設備	3相6.6KV	750KVA	1台
	3相6.6KV	1250KVA	1台
	3相6.6KV	500KVA (保守用)	1台
(ウ) 蓄電池設備	据置シール鉛蓄電池	54セル 100Ah (1号館用)	
(エ) 幹線設備	動力3相3線		
	〃	210V (蓄熱動力、X線、医療用、コンピュータ)	
	〃	210V (動力用)	
	単相3線210V/105V (電灯用)		
(オ) 弱電設備			
放送設備	業務放送、防災放送兼用型		
ナースコール	壁掛ボード型同時通話兼交互通話式		

オ 主な備付医療機器等 (1,000 万円以上)

設置箇所	名称	会社名	機種	数量
放射線技術科	デジタルX線TVシステム ①	東芝	ZEXIRA/DREX-ZX80	1式
	R I 体外測定装置 (ガンマカメラ) ②	シーメンス	Symbia E	1式
	乳房X線撮影装置 ③	G E	Senographe Pristina	1式
	多目的X線透視撮影装置	日立メディコ	Versi Flex VISTA	1式
	コンピュータ画像処理装置 ④	富士	CALNEO U.MT	1式
	血管撮影装置 ⑤	シーメンス	Artis Zee BA PURE	1式
	磁気共鳴断層撮影装置 ⑥	シーメンス	MAGNETOM Skyra	1式
	全身用 CT 撮影装置 ⑦	フィリップス	Brilliance iCT SP	1式
	骨密度測定装置 ⑧	ホロジック	Discovery HORIZON	1式
手術室	眼科用手術顕微鏡装置	カールツァイス	OPMI VISU160	1式
	手術用顕微鏡装置	カールツァイス	OPMI PENTERO 900	1式
	超音波白内障手術装置	日本アルコン	インフィニティ	1式
	手術用ナビゲーションシステム	ストライカー	NAV3i	1式
内視鏡室	内視鏡用超音波観測装置	オリンパス	EU-ME2、GF-UCT260	1式
検査技術科	心臓用超音波診断装置	フィリップス	iE33	1式
眼科外来	マルチカラーレーザー光凝固装置	日本ルミナス	ノーバスヴァリア	1式

①デジタルX線TVシステム ZEXIRA/DREX-ZX80



検出面サイズ43×43cmのFPD (Flat Panel Detector X線平面検出器)を搭載している。半切サイズを含む大きな領域での透視・撮影が可能であるため、泌尿器および大腸全体などを容易に観察することができる。

②RI体外測定装置 ガンマカメラE-CAM



ガンマカメラはガンマ線を放出する少量の放射性医薬品を利用し、体内臓器や組織の生化学的機能の変化をコンピュータにより画像化し診断する。脳血流の測定や狭心症の判定など全身を非侵襲的に検査が行える。

③乳房X線撮影装置 Senographe Pristina



量子検出効率が高いフラットパネルの使用により低線量で検査できる装置である。加えて感度と特異度を向上させるトモシンセシス機能も備えている。撮影の操作性が向上したことにより、検査時間が短縮された。

④コンピュータ画像処理装置 CALNEO U.M.T



CALNEOシステムはFPDを搭載したデジタルラジオグラフィ装置で、診断目的に合わせた画像処理や画像の保管、画像の再出力などが容易に行え、被爆軽減にも役立つ。

⑤血管撮影装置 Artis Zee BA PURE



X線検出器(フラットパネルディテクタ:FPD)を搭載している。画像解像度が高く、診断・治療の精度向上が期待される。バイプレーンによる2方向の同時撮影が可能で、被ばく線量の低減に貢献している。搭載されている様々なアプリケーションは各科の検査手技の補助に有効活用されている。

⑥磁気共鳴断層撮影装置 MAGNETOM Skyra (3テスラ)



磁気共鳴断層装置(MRI装置)は、放射線は一切使用せずに、強力な磁石と電波を用いて人体の様々な情報を画像化、解析が可能な画像診断装置である。また、高磁場3テスラMRI装置なので、より高精細で組織内部の識別能が高く、様々な部位の検査や疾患の診断に大変有用である。

⑦全身用CT撮影装置 Brilliance iCT SP、64列128スライス



新型CT装置は、従来に比べ非常に細かく検査でき、64列128スライスで1ミリ程度の微細病変も検出可能となり、更に同時3方向表示による観察ができる。短時間検査とX線量の低減を実現し、更なる診断能力の向上を目指すことを目標にしている。検査した画像は瞬時に画像配信により外来や病棟にてモニター画像で確認でき、検査後に必要な部位を3次元画像に再構成する機能も幅広く活用できるようになっている。

⑧骨密度測定装置 Discovery HORIZON



骨粗しょう症の診断及び治療効果判定の精度に優れているDEXA法を用いた装置である。体位変換することなく腰椎側面の検査ができる機能も有しており、患者さんに負担の少ない検査が可能となっている。

第2章 経理の状況

(1) 収益・費用の構成

収益構成（単位％）

年度

		その他医業収益 1.9	営業外収益・臨時利益 2.1	
28	入院収益 60.1	外来収益 23.0	その他 営業収益 12.9	
		その他医業収益 1.6	営業外収益・臨時利益 1.9	
29	入院収益 59.7	外来収益 22.2	その他 営業収益 14.5	
		その他医業収益 1.6	営業外収益・臨時利益 1.7	
30	入院収益 61.4	外来収益 20.9	その他 営業収益 14.4	

費用構成（単位％）

年度

			営業外費用・臨時損失 1.9	
28	給与費 55.7	材料費 17.9	その他営業費用 24.5	
			営業外費用・臨時損失 1.6	
29	給与費 56.2	材料費 18.0	その他営業費用 24.2	
			営業外費用・臨時損失 1.3	
30	給与費 56.3	材料費 17.1	その他営業費用 25.2	

(2) 収 益

(単位:円)

年度 区分 項 目		28年度		29年度		30年度	
		金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	構成比
収 益 構 成	営業収益	5,815,356,466	97.9%	5,930,679,651	98.1%	6,232,874,645	98.3%
	医業収益	5,047,591,020	85.0%	5,051,585,479	83.5%	5,317,768,020	83.8%
	入院収益	3,568,854,304	60.1%	3,609,335,622	59.7%	3,891,947,856	61.4%
	外来収益	1,363,517,071	23.0%	1,342,926,769	22.2%	1,327,162,559	20.9%
	その他医業収益	115,219,645	1.9%	99,323,088	1.6%	98,657,605	1.6%
	運営費負担金収益	736,848,000	12.4%	849,746,000	14.1%	883,496,000	13.9%
	補助金等収益	12,620,000	0.2%	12,749,000	0.2%	17,504,000	0.3%
	資産見返戻入	18,297,446	0.3%	16,199,172	0.3%	13,706,625	0.2%
	寄附金収益	0	0.0%	400,000	0.0%	400,000	0.0%
	営業外収益	125,320,802	2.1%	116,713,036	1.9%	109,667,673	1.7%
	運営費負担金収益	76,774,000	1.3%	69,188,000	1.1%	61,382,000	1.0%
	不用品売却益	56,922	0.0%	716,514	0.0%	334,122	0.0%
	受取利息及び配当金	242	0.0%	217	0.0%	230	0.0%
	雑 益	48,489,638	0.8%	46,808,305	0.8%	47,951,321	0.8%
	臨時利益	269,303	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
計		5,940,946,571	100.0%	6,047,392,687	100.0%	6,342,542,318	100.0%

(3) 費 用

(単位:円)

年度 区分 項 目		28年度		29年度		30年度	
		金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	構成比
費 用 構 成	営業費用	6,752,956,103	98.1%	6,619,596,848	98.4%	7,027,486,580	98.7%
	医業費用	6,547,379,667	95.1%	6,410,164,788	95.3%	6,807,244,792	95.6%
	給与費	3,834,141,444	55.7%	3,781,793,359	56.2%	4,011,483,912	56.3%
	材料費	1,233,777,853	17.9%	1,208,282,441	18.0%	1,219,430,665	17.1%
	経 費	981,075,269	14.3%	1,026,626,328	15.3%	1,061,409,771	14.9%
	減価償却費	480,290,502	7.0%	379,059,765	5.6%	500,195,901	7.0%
	研究研修費	18,094,599	0.3%	14,402,895	0.2%	14,724,543	0.2%
	寄附金支出	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	控除対象外消費税	205,576,436	3.0%	209,432,060	3.1%	220,241,788	3.1%
	営業外費用	116,223,329	1.7%	104,839,483	1.6%	93,090,546	1.3%
	支払利息	116,223,329	1.7%	104,839,483	1.6%	93,090,546	1.3%
	雑支出	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	臨時損失	12,841,900	0.2%	4,351,897	0.1%	1,570,791	0.0%
	計	6,882,021,332	100.0%	6,728,788,228	100.0%	7,122,147,917	100.0%
材 料 費 内 訳	薬品費	647,908,629	52.5%	625,620,146	51.8%	629,990,291	51.7%
	診療材料費	531,466,346	43.1%	522,274,862	43.2%	536,511,896	44.0%
	たな卸資産減耗費	2,965,793	0.2%	1,820,502	0.2%	1,654,226	0.1%
	給食材料費	45,840,090	3.7%	47,779,337	4.0%	49,387,896	4.1%
	医療消耗備品費	5,596,995	0.5%	10,787,594	0.9%	1,886,356	0.2%
収益費用差額		△ 941,074,761	-	△ 681,395,541	-	△ 779,605,599	-

(4)経営分析状況

(単位：円、％)

年度 区分 項目		28年度		29年度		30年度	
		金額等	前年比(％)	金額等	前年比(％)	金額等	前年比(％)
損益額		△ 941,074,761	105.7	△ 681,395,541	72.4	△ 779,605,599	114.4
患者一人当たり	医業収益	24,257	102.1	24,824	102.3	26,026	104.8
	入院収益	48,641	101.3	48,245	99.2	48,203	99.9
	外来収益	10,121	100.7	10,436	103.1	10,739	102.9
	医業費用	31,464	102.8	31,501	100.1	33,315	105.8
	材料費	5,929	106.5	5,938	100.1	5,968	100.5
	薬品費	3,114	102.2	3,074	98.7	3,083	100.3
	診材費	2,554	112.0	2,567	100.5	2,626	102.3
	経費	4,715	98.6	5,045	107.0	5,195	103.0
医業収益百円あたりにかかる費用	医業費用	129.7	100.7	126.9	97.8	128.0	100.9
	給与費	76.0	104.8	74.9	98.6	75.4	100.8
	材料費	24.4	104.3	23.9	97.9	22.9	95.9
	薬品費	12.8	100.1	12.4	96.5	11.8	95.7
	診材費	10.5	109.7	10.3	98.2	10.1	97.6
	経費	19.4	96.5	20.3	104.6	20.0	98.2
病床利用率（稼働）		76.1	99.3	77.6	102.0	83.8	108.0
平均通院日数（日）		3.8	99.3	3.8	100.0	3.7	97.4
平均在院日数（日）		13.3	106.4	14.4	108.3	14.9	103.5
延患者数	患者総数（人）	208,090	97.1	203,493	97.8	204,329	100.4
	入院患者数（人）	73,371	99.1	74,812	102.0	80,740	107.9
	外来患者数（人）	134,719	96.1	128,681	95.5	123,589	96.0

第3章 患者の概況

平成30年度

(1) 年齢別患者数

(単位：人：％)

年度	区分	合計	10歳未満		10歳以上 20歳未満		20歳以上 30歳未満		30歳以上 40歳未満		40歳以上 50歳未満	
			患者数	構成比	患者数	構成比	患者数	構成比	患者数	構成比	患者数	構成比
28	入院	5,710	100	1.8	73	1.3	123	2.2	210	3.7	275	4.8
	外来	35,579	1,027	2.9	1,231	3.5	1,582	4.4	2,109	5.9	3,485	9.8
	計	41,289	1,127	2.7	1,304	3.2	1,705	4.1	2,319	5.6	3,760	9.1
29	入院	5,364	31	0.6	54	1.0	89	1.7	119	2.2	245	4.6
	外来	34,120	794	2.3	1,064	3.1	1,436	4.2	1,815	5.3	2,996	8.8
	計	39,484	825	2.1	1,118	2.8	1,525	3.9	1,934	4.9	3,241	8.2
30	入院	5,602	28	0.5	60	1.1	96	1.7	144	2.6	279	5.0
	外来	33,651	711	2.1	993	3.0	1,351	4.0	1,679	5.0	2,978	8.8
	計	39,253	739	1.9	1,053	2.7	1,447	3.7	1,823	4.6	3,257	8.3

年度	区分	50歳以上 60歳未満		60歳以上 70歳未満		70歳以上 80歳未満		80歳以上	
		患者数	構成比	患者数	構成比	患者数	構成比	患者数	構成比
28	入院	412	7.2	959	16.8	1,687	29.5	1,871	32.8
	外来	3,571	10.0	6,512	18.3	8,849	24.9	7,213	20.3
	計	3,983	9.6	7,471	18.1	10,536	25.5	9,084	22.0
29	入院	388	7.2	884	16.5	1,553	29.0	2,001	37.3
	外来	3,490	10.2	6,106	17.9	8,773	25.7	7,646	22.4
	計	3,878	9.8	6,990	17.7	10,326	26.2	9,647	24.4
30	入院	348	6.2	945	16.9	1,658	29.6	2,044	36.5
	外来	3,363	10.0	5,701	16.9	9,043	26.9	7,832	23.3
	計	3,711	9.5	6,646	16.9	10,701	27.3	9,876	25.2

(2) 地域別患者数

入院

(単位：人：%)

	28		29		30	
市 町	患者数	構成比	患者数	構成比	患者数	構成比
南足柄市	1,332	23.3	1,314	24.5	1,367	24.4
足柄上郡	2,701	47.3	2,518	46.9	2,563	45.8
中井町	97	1.7	69	1.3	104	1.9
大井町	709	12.4	590	11.0	640	11.4
松田町	636	11.1	633	11.8	616	11.0
山北町	631	11.1	602	11.2	551	9.8
開成町	628	11.0	624	11.6	652	11.6
1市5町計	4,033	70.6	3,832	71.4	3,930	70.2
秦野市	441	7.7	397	7.4	432	7.7
小田原市	831	14.6	832	15.5	877	15.7
その他	234	4.1	151	2.8	208	3.7
県内計	5,539	97.0	5,212	97.2	5,447	97.2
県外計	171	3.0	152	2.8	155	2.8
合計	5,710	100.0	5,364	100.0	5,602	100.0

外来

(単位：人：%)

	28		29		30	
市 町	患者数	構成比	患者数	構成比	患者数	構成比
南足柄市	7,858	22.1	7,532	22.1	7,618	22.6
足柄上郡	18,139	51.0	17,307	50.7	17,007	50.5
中井町	539	1.5	445	1.3	515	1.5
大井町	4,524	12.7	4,306	12.6	4,293	12.8
松田町	5,157	14.5	4,811	14.1	4,805	14.3
山北町	3,568	10.0	3,477	10.2	3,285	9.8
開成町	4,351	12.2	4,268	12.5	4,109	12.2
1市5町計	25,997	73.1	24,839	72.8	24,625	73.2
秦野市	2,580	7.3	2,441	7.2	2,311	6.9
小田原市	4,661	13.1	4,777	14.0	4,751	14.1
その他	1,376	3.9	1,172	3.4	1,184	3.5
県内計	34,614	97.3	33,229	97.4	32,871	97.7
県外計	965	2.7	891	2.6	780	2.3
合計	35,579	100.0	34,120	100.0	33,651	100.0

(3) 診療科別患者数

入院

(単位：人：％)

	28			29			30		
	患者延数	1日平均	構成比	患者延数	1日平均	構成比	患者延数	1日平均	構成比
総合診療科	30,013	82.2	40.9	30,754	84.3	41.1	33,547	91.9	41.5
精神科	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0
神経内科	2,810	7.7	3.8	3,263	8.9	4.4	2,944	8.1	3.6
呼吸器科							1,121	3.1	1.4
循環器科	7,219	19.8	9.8	7,240	19.8	9.7	6,112	16.7	7.6
小児科	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	46	0.1	0.1
外科	8,709	23.9	11.9	6,592	18.1	8.8	7,201	19.7	8.9
整形外科	14,710	40.3	20.0	16,341	44.8	21.8	18,261	50.0	22.6
形成外科	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0
脳神経外科	4,561	12.5	6.2	5,374	14.7	7.2	5,951	16.3	7.4
皮膚科	556	1.5	0.8	503	1.4	0.7	832	2.3	1.0
泌尿器科	3,238	8.9	4.4	4,050	11.1	5.4	4,022	11.0	5.0
産婦人科	1,180	3.2	1.6	333	0.9	0.4	408	1.1	0.5
眼科	375	1.0	0.5	362	1.0	0.5	295	0.8	0.4
耳鼻咽喉科	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0
リハビリテーション科	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0
放射線科	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0
麻酔科	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0
合計	73,371	201.0	100.0	74,812	205.0	100.0	80,740	221.2	100.0

外来

(単位：人：％)

	28			29			30		
	患者延数	1日平均	構成比	患者延数	1日平均	構成比	患者延数	1日平均	構成比
総合診療科	39,798	163.8	29.7	39,836	163.3	31.1	37,923	155.4	30.9
精神科	193	0.8	0.1	181	0.7	0.1	100	0.4	0.1
神経内科	5,115	21.0	3.8	5,584	22.9	4.4	5,262	21.6	4.3
呼吸器科							1,949	8.0	1.6
循環器科	12,889	53.0	9.6	11,563	47.4	9.0	11,049	45.3	9.0
小児科	2,255	9.3	1.7	1,837	7.5	1.4	1,598	6.5	1.3
外科	12,344	50.8	9.2	10,613	43.5	8.3	10,221	41.9	8.3
整形外科	20,504	84.4	15.3	21,712	89.0	17.0	20,656	84.7	16.8
形成外科	279	1.1	0.2	175	0.7	0.1	105	0.4	0.1
脳神経外科	6,703	27.6	5.0	5,625	23.1	4.4	5,930	24.3	4.8
皮膚科	8,980	37.0	6.7	9,063	37.1	7.1	8,239	33.8	6.7
泌尿器科	12,786	52.6	9.5	12,379	50.7	9.7	11,741	48.1	9.6
産婦人科	5,051	20.8	3.8	3,265	13.4	2.6	2,574	10.5	2.1
眼科	3,110	12.8	2.3	2,869	11.8	2.2	2,465	10.1	2.0
耳鼻咽喉科	2,386	9.8	1.8	2,466	10.1	1.9	2,353	9.6	1.9
リハビリテーション科	269	1.1	0.2	309	1.3	0.2	241	1.0	0.2
放射線科	1,418	5.8	1.1	421	1.7	0.3	318	1.3	0.3
麻酔科	29	0.1	0.0	29	0.1	0.0	13	0.1	0.0
合計	134,109	551.9	100.0	127,927	524.3	100.0	122,737	503.0	100.0

歯科口腔外科	610	2.5	---	754	3.1	0.6	852	3.5	0.7
--------	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----

(4) 診療科別入院・外来患者及び収益の状況

平成28年度診療科別入院・外来患者数及び収益の状況

	入 院				外 来			
	患者延数(人)		収益(円)		患者延数(人)		収益(円)	
診療科	患者延数	1日 当たり 患者数	金額	1人 当たり 診療費	患者延数	1日 当たり 患者数	金額	1人 当たり 診療費
総合診療科	30,013	82.2	1,225,709,199	40,839	39,798	163.8	533,694,997	13,410
精神科	0	0.0	1,700	---	193	0.8	885,360	4,587
神経内科	2,810	7.7	118,341,384	42,114	5,115	21.0	52,583,494	10,280
循環器科	7,219	19.8	451,078,315	62,485	12,889	53.0	148,973,715	11,558
小児科	0	0.0	1,025,060	---	2,255	9.3	34,528,090	15,312
外科	8,709	23.9	545,930,282	62,686	12,344	50.8	180,944,881	14,659
整形外科	14,710	40.3	753,326,710	51,212	20,504	84.4	153,235,968	7,473
形成外科	0	0.0	0	---	279	1.1	1,027,418	3,683
脳神経外科	4,561	12.5	236,161,682	51,778	6,703	27.6	53,303,690	7,952
皮膚科	556	1.5	17,088,436	30,735	8,980	37.0	19,473,950	2,169
泌尿器科	3,238	8.9	148,198,132	45,768	12,786	52.6	157,513,269	12,319
産婦人科	1,180	3.2	70,703,490	59,918	5,051	20.8	33,797,840	6,691
眼科	375	1.0	29,022,164	77,392	3,110	12.8	17,334,968	5,574
耳鼻咽喉科	0	0.0	6,560	---	2,386	9.8	10,529,280	4,413
リハビリテーション科	0	0.0	0	---	269	1.1	446,930	1,661
放射線科	0	0.0	1,084,440	---	1,418	5.8	17,339,565	12,228
麻酔科	0	0.0	0	---	29	0.1	51,840	1,788
合 計	73,371	201.0	3,597,677,554	49,034	134,109	551.9	1,415,665,255	10,556

歯科口腔外科	610	2.5	2,415,380	3,960
--------	-----	-----	-----------	-------

平成29年度診療科別入院・外来患者数及び収益の状況

	入 院				外 来			
	患者延数(人)		収益(円)		患者延数(人)		収益(円)	
診療科	患者延数	1日 当たり 患者数	金額	1人 当たり 診療費	患者延数	1日 当たり 患者数	金額	1人 当たり 診療費
総合診療科	30,754	84.3	1,231,937,046	40,058	39,836	163.3	538,572,713	13,520
精神科	0	0.0	0	---	181	0.7	996,269	5,504
神経内科	3,263	8.9	125,916,488	38,589	5,584	22.9	61,734,090	11,056
循環器科	7,240	19.8	407,050,851	56,222	11,563	47.4	122,535,375	10,597
小児科	0	0.0	421,520	---	1,837	7.5	39,811,080	21,672
外科	6,592	18.1	420,982,755	63,863	10,613	43.5	168,873,231	15,912
整形外科	16,341	44.8	921,140,765	56,370	21,712	89.0	173,575,170	7,994
形成外科	0	0.0	0	---	175	0.7	661,264	3,779
脳神経外科	5,374	14.7	252,043,630	46,901	5,625	23.1	43,805,203	7,788
皮膚科	503	1.4	15,544,179	30,903	9,063	37.1	17,660,238	1,949
泌尿器科	4,050	11.1	196,659,472	48,558	12,379	50.7	148,652,135	12,008
産婦人科	333	0.9	21,883,770	65,717	3,265	13.4	20,070,720	6,147
眼科	362	1.0	27,738,570	76,626	2,869	11.8	14,872,708	5,184
耳鼻咽喉科	0	0.0	0	---	2,466	10.1	10,779,530	4,371
リハビリテーション科	0	0.0	0	---	309	1.3	554,530	1,795
放射線科	0	0.0	136,200	---	421	1.7	7,448,070	17,691
麻酔科	0	0.0	0	---	29	0.1	55,570	1,916
合 計	74,812	205.0	3,621,455,246	48,407	127,927	524.3	1,370,657,896	10,714

歯科口腔外科	754	3.1	3,919,800	5,199
--------	-----	-----	-----------	-------

平成30年度診療科別入院・外来患者数及び収益の状況

	入 院				外 来			
	患者延数(人)		収益(円)		患者延数(人)		収益(円)	
診療科	患者延数	1日 当たり 患者数	金額	1人 当たり 診療費	患者延数	1日 当たり 患者数	金額	1人 当たり 診療費
総合診療科	33,547	91.9	1,354,104,526	40,364	37,923	155.4	497,543,388	13,120
精神科	0	0.0	0	---	100	0.4	634,054	6,341
神経内科	2,944	8.1	120,053,986	40,779	5,262	21.6	55,800,320	10,604
呼吸器科	1,121	3.1	62,879,702	56,093	1,949	8.0	62,909,580	32,278
循環器科	6,112	16.7	353,080,168	57,768	11,049	45.3	122,603,890	11,096
小児科	46	0.1	1,102,780	23,973	1,598	6.5	33,204,500	20,779
外科	7,201	19.7	521,804,660	72,463	10,221	41.9	165,680,523	16,210
整形外科	18,261	50.0	947,471,760	51,885	20,656	84.7	166,945,195	8,082
形成外科	0	0.0	0	---	105	0.4	762,059	7,258
脳神経外科	5,951	16.3	317,579,745	53,366	5,930	24.3	52,481,109	8,850
皮膚科	832	2.3	25,535,368	30,692	8,239	33.8	16,245,374	1,972
泌尿器科	4,022	11.0	209,954,782	52,202	11,741	48.1	136,713,996	11,644
産婦人科	408	1.1	22,727,360	55,704	2,574	10.5	13,493,000	5,242
眼科	295	0.8	21,735,812	73,681	2,465	10.1	12,055,140	4,891
耳鼻咽喉科	0	0.0	0	---	2,353	9.6	11,531,305	4,901
リハビリテーション科	0	0.0	0	---	241	1.0	417,890	1,734
放射線科	0	0.0	0	---	318	1.3	6,198,395	19,492
麻酔科	0	0.0	0	---	13	0.1	29,390	2,261
合 計	80,740	221.2	3,958,030,649	49,022	122,737	503.0	1,355,249,108	11,042

歯科口腔外科	852	3.5	4,559,440	5,351
--------	-----	-----	-----------	-------

(5) 診療科別月別患者数

入院患者

科別	4月			5月			6月			7月			8月			9月		
	患者 延数	1日 平均	構成比	患者 延数	1日 平均	構成比	患者 延数	1日 平均	構成比	患者 延数	1日 平均	構成比	患者 延数	1日 平均	構成比	患者 延数	1日 平均	構成比
総合診療科	2,827	94.2	45.1	2,891	93.3	44.2	2,526	84.2	41.2	3,005	96.9	43.8	3,235	104.4	47.1	3,026	100.9	43.5
精神科	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0
神経内科	234	7.8	3.7	151	4.9	2.3	143	4.8	2.3	173	5.6	2.5	309	10.0	4.5	389	13.0	5.6
呼吸器科	79	2.6	1.3	34	1.1	0.5	55	1.8	0.9	49	1.6	0.7	71	2.3	1.0	75	2.5	1.1
循環器科	575	19.2	9.2	490	15.8	7.5	412	13.7	6.7	390	12.6	5.7	342	11.0	5.0	560	18.7	8.1
小児科	4	0.1	0.1	0	0.0	0.0	5	0.2	0.1	0	0.0	0.0	3	0.1	0.0	15	0.5	0.2
外科	604	20.1	9.6	605	19.5	9.3	674	22.5	11.0	528	17.0	7.7	720	23.2	10.5	598	19.9	8.6
整形外科	1,203	40.1	19.2	1,434	46.3	21.9	1,361	45.4	22.2	1,588	51.2	23.2	1,276	41.2	18.6	1,383	46.1	19.9
形成外科	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0
脳神経外科	424	14.1	6.8	470	15.2	7.2	497	16.6	8.1	598	19.3	8.7	398	12.8	5.8	336	11.2	4.8
皮膚科	9	0.3	0.1	58	1.9	0.9	34	1.1	0.6	59	1.9	0.9	25	0.8	0.4	121	4.0	1.7
泌尿器科	264	8.8	4.2	325	10.5	5.0	353	11.8	5.8	404	13.0	5.9	435	14.0	6.3	378	12.6	5.4
産婦人科	32	1.1	0.5	58	1.9	0.9	46	1.5	0.7	37	1.2	0.5	39	1.3	0.6	42	1.4	0.6
眼科	18	0.6	0.3	24	0.8	0.4	29	1.0	0.5	27	0.9	0.4	18	0.6	0.3	27	0.9	0.4
耳鼻咽喉科	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0
リハビリ科	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0
放射線科	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0
麻酔科	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0
合 計	6,273	209.1	100.0	6,540	211.0	100.0	6,135	204.5	100.0	6,858	221.2	100.0	6,871	221.6	100.0	6,950	231.7	100.0

外来患者

科別	4月			5月			6月			7月			8月			9月		
	患者 延数	1日 平均	構成比	患者 延数	1日 平均	構成比	患者 延数	1日 平均	構成比	患者 延数	1日 平均	構成比	患者 延数	1日 平均	構成比	患者 延数	1日 平均	構成比
総合診療科	2,949	147.5	30.0	3,308	165.4	31.3	2,981	135.5	29.2	3,337	166.9	30.7	3,452	156.9	31.6	2,992	149.6	31.5
精神科	12	0.6	0.1	11	0.6	0.1	12	0.5	0.1	12	0.6	0.1	12	0.5	0.1	4	0.2	0.0
神経内科	410	20.5	4.2	435	21.8	4.1	435	19.8	4.3	435	21.8	4.0	429	19.5	3.9	452	22.6	4.8
呼吸器科	178	8.9	1.8	149	7.5	1.4	148	6.7	1.4	182	9.1	1.7	165	7.5	1.5	147	7.4	1.5
循環器科	973	48.7	9.9	900	45.0	8.5	970	44.1	9.5	979	49.0	9.0	916	41.6	8.4	800	40.0	8.4
小児科	135	6.8	1.4	132	6.6	1.3	124	5.6	1.2	130	6.5	1.2	163	7.4	1.5	108	5.4	1.1
外科	868	43.4	8.8	891	44.6	8.4	800	36.4	7.8	939	47.0	8.6	786	35.7	7.2	851	42.6	9.0
整形外科	1,620	81.0	16.5	1,828	91.4	17.3	1,839	83.6	18.0	1,816	90.8	16.7	1,943	88.3	17.8	1,380	69.0	14.5
形成外科	9	0.5	0.1	6	0.3	0.1	8	0.4	0.1	10	0.5	0.1	13	0.6	0.1	7	0.4	0.1
脳神経外科	422	21.1	4.3	484	24.2	4.6	510	23.2	5.0	489	24.5	4.5	482	21.9	4.4	524	26.2	5.5
皮膚科	652	32.6	6.6	727	36.4	6.9	721	32.8	7.1	854	42.7	7.9	806	36.6	7.4	665	33.3	7.0
泌尿器科	899	45.0	9.1	916	45.8	8.7	970	44.1	9.5	1,011	50.6	9.3	1,105	50.2	10.1	943	47.2	9.9
産婦人科	256	12.8	2.6	277	13.9	2.6	249	11.3	2.4	220	11.0	2.0	185	8.4	1.7	197	9.9	2.1
眼科	215	10.8	2.2	204	10.2	1.9	201	9.1	2.0	214	10.7	2.0	199	9.0	1.8	207	10.4	2.2
耳鼻咽喉科	192	9.6	2.0	230	11.5	2.2	201	9.1	2.0	180	9.0	1.7	236	10.7	2.2	178	8.9	1.9
リハビリ科	27	1.4	0.3	24	1.2	0.2	21	1.0	0.2	27	1.4	0.2	20	0.9	0.2	17	0.9	0.2
放射線科	24	1.2	0.2	30	1.5	0.3	27	1.2	0.3	34	1.7	0.3	26	1.2	0.2	30	1.5	0.3
麻酔科	1	0.1	0.0	0	0.0	0.0	1	0.0	0.0	1	0.1	0.0	1	0.0	0.0	0	0.0	0.0
合 計	9,842	492.1	100.0	10,552	527.6	100.0	10,218	464.5	100.0	10,870	543.5	100.0	10,939	497.2	100.0	9,502	475.1	100.0

歯科口腔外科	62	2.8	0.6	58	2.6	0.5	60	2.7	0.6	92	4.6	0.8	90	4.1	0.8	62	3.1	0.7
--------	----	-----	-----	----	-----	-----	----	-----	-----	----	-----	-----	----	-----	-----	----	-----	-----

(単位：人：％)

1 0 月			1 1 月			1 2 月			1 月			2 月			3 月			合計		
患者 延数	1日 平均	構成比	患者 延数	1日 平均	構成比	患者 延数	1日 平均	構成比	患者 延数	1日 平均	構成比	患者 延数	1日 平均	構成比	患者 延数	1日 平均	構成比	患者 延数	1日 平均	構成比
3,004	96.9	42.8	2,652	88.4	38.9	2,498	80.6	36.2	2,653	85.6	37.1	2,678	95.6	40.6	2,552	82.3	38.6	33,547	91.7	41.5
0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0
277	8.9	3.9	330	11.0	4.8	265	8.5	3.8	256	8.3	3.6	202	7.2	3.1	215	6.9	3.2	2,944	8.0	3.6
81	2.6	1.2	71	2.4	1.0	102	3.3	1.5	118	3.8	1.6	171	6.1	2.6	215	6.9	3.2	1,121	3.1	1.4
531	17.1	7.6	560	18.7	8.2	544	17.5	7.9	640	20.6	8.9	532	19.0	8.1	536	17.3	8.1	6,112	16.7	7.6
4	0.1	0.1	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	6	0.2	0.1	9	0.3	0.1	0	0.0	0.0	46	0.1	0.1
717	23.1	10.2	634	21.1	9.3	538	17.4	7.8	477	15.4	6.7	519	18.5	7.9	587	18.9	8.9	7,201	19.7	8.9
1,486	47.9	21.2	1,486	49.5	21.8	1,857	59.9	26.9	1,970	63.5	27.5	1,644	58.7	24.9	1,573	50.7	23.8	18,261	49.9	22.6
0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0
418	13.5	6.0	606	20.2	8.9	622	20.1	9.0	541	17.5	7.6	463	16.5	7.0	578	18.6	8.7	5,951	16.3	7.4
137	4.4	2.0	76	2.5	1.1	84	2.7	1.2	139	4.5	1.9	63	2.3	1.0	27	0.9	0.4	832	2.3	1.0
316	10.2	4.5	354	11.8	5.2	330	10.6	4.8	298	9.6	4.2	261	9.3	4.0	304	9.8	4.6	4,022	11.0	5.0
24	0.8	0.3	22	0.7	0.3	35	1.1	0.5	38	1.2	0.5	35	1.3	0.5	0	0.0	0.0	408	1.1	0.5
30	1.0	0.4	24	0.8	0.4	17	0.5	0.2	24	0.8	0.3	27	1.0	0.4	30	1.0	0.5	295	0.8	0.4
0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0
0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0
0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0
0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0
7,025	226.6	100.0	6,815	227.2	100.0	6,892	222.3	100.0	7,160	231.0	100.0	6,604	235.9	100.0	6,617	213.5	100.0	80,740	220.6	100.0

(単位：人：％)

1 0 月			1 1 月			1 2 月			1 月			2 月			3 月			合計		
患者 延数	1日 平均	構成比	患者 延数	1日 平均	構成比	患者 延数	1日 平均	構成比	患者 延数	1日 平均	構成比	患者 延数	1日 平均	構成比	患者 延数	1日 平均	構成比	患者 延数	1日 平均	構成比
3,375	160.7	30.4	3,091	154.6	30.2	3,086	154.3	30.9	3,339	175.7	33.0	3,032	159.6	31.6	2,981	142.0	30.5	37,923	155.4	30.9
5	0.2	0.0	5	0.3	0.0	8	0.4	0.1	6	0.3	0.1	10	0.5	0.1	3	0.1	0.0	100	0.4	0.1
455	21.7	4.1	486	24.3	4.8	449	22.5	4.5	495	26.1	4.9	369	19.4	3.8	412	19.6	4.2	5,262	21.6	4.3
197	9.4	1.8	174	8.7	1.7	179	9.0	1.8	156	8.2	1.5	138	7.3	1.4	136	6.5	1.4	1,949	8.0	1.6
995	47.4	9.0	941	47.1	9.2	871	43.6	8.7	979	51.5	9.7	867	45.6	9.0	858	40.9	8.8	11,049	45.3	9.0
127	6.0	1.1	139	7.0	1.4	138	6.9	1.4	121	6.4	1.2	134	7.1	1.4	147	7.0	1.5	1,598	6.5	1.3
983	46.8	8.9	861	43.1	8.4	823	41.2	8.2	818	43.1	8.1	784	41.3	8.2	817	38.9	8.3	10,221	41.9	8.3
1,838	87.5	16.5	1,728	86.4	16.9	1,695	84.8	17.0	1,681	88.5	16.6	1,602	84.3	16.7	1,686	80.3	17.2	20,656	84.7	16.8
9	0.4	0.1	12	0.6	0.1	13	0.7	0.1	6	0.3	0.1	7	0.4	0.1	5	0.2	0.1	105	0.4	0.1
570	27.1	5.1	512	25.6	5.0	518	25.9	5.2	430	22.6	4.3	452	23.8	4.7	537	25.6	5.5	5,930	24.3	4.8
737	35.1	6.6	619	31.0	6.1	598	29.9	6.0	615	32.4	6.1	611	32.2	6.4	634	30.2	6.5	8,239	33.8	6.7
1,095	52.1	9.9	1,024	51.2	10.0	988	49.4	9.9	873	45.9	8.6	993	52.3	10.3	924	44.0	9.4	11,741	48.1	9.6
256	12.2	2.3	198	9.9	1.9	212	10.6	2.1	182	9.6	1.8	163	8.6	1.7	179	8.5	1.8	2,574	10.5	2.1
216	10.3	1.9	217	10.9	2.1	214	10.7	2.1	177	9.3	1.8	191	10.1	2.0	210	10.0	2.1	2,465	10.1	2.0
196	9.3	1.8	172	8.6	1.7	158	7.9	1.6	182	9.6	1.8	211	11.1	2.2	217	10.3	2.2	2,353	9.6	1.9
17	0.8	0.2	21	1.1	0.2	21	1.1	0.2	19	1.0	0.2	13	0.7	0.1	14	0.7	0.1	241	1.0	0.2
34	1.6	0.3	25	1.3	0.2	24	1.2	0.2	21	1.1	0.2	18	0.9	0.2	25	1.2	0.3	318	1.3	0.3
1	0.0	0.0	0	0.0	0.0	1	0.1	0.0	3	0.2	0.0	2	0.1	0.0	2	0.1	0.0	13	0.1	0.0
11,106	528.9	100.0	10,225	511.3	100.0	9,996	499.8	100.0	10,103	531.7	100.0	9,597	505.1	100.0	9,787	466.0	100.0	122,737	503.0	100.0

84	4.0	0.8	85	4.3	0.8	71	3.6	0.7	60	3.2	0.6	70	3.7	0.7	58	2.8	0.6	852	3.5	0.7
----	-----	-----	----	-----	-----	----	-----	-----	----	-----	-----	----	-----	-----	----	-----	-----	-----	-----	-----

(6) 病棟別患者数の状況

	病床数	平成28年度		平成29年度						平成30年度	
		患者延数	利用率	患者延数 (4～11月)	利用率	患者延数 (12～3月)	利用率	患者延数 (年累計)	利用率	患者延数	利用率
1A	6	6	0.3	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2A	46 (42)	12,111	79.0	8,597	83.9	4,418	79.4	13,015	82.3	13,575	88.6
3A	60 (37)	2,597	19.2	246	2.7	4,671	64.3	4,917	30.2	15,016	111.2
3B	0 (32)	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4A	60 (46)	14,538	86.6	9,885	88.1	5,608	77.2	15,493	83.8	19,246	114.6
4B	0 (41)	12,886	86.1	9,142	91.4	0	0.0	9,142	91.4	0	0.0
5A	46	15,713	93.6	10,796	96.2	5,338	95.9	16,134	96.1	16,417	97.8
5B	46	15,520	92.4	10,713	95.4	5,398	97.0	16,111	96.0	16,463	98.1
合計	264 (296)	73,371	76.1	49,379	76.7	25,433	79.6	74,812	77.6	80,717	83.8

() 内は平成29年度12月以前の病床数。なお、3 B病棟については平成20年度以降の病床数となっている。

利用率は稼働病床数により算定。

(7) 稼働状況

		平成28年度			平成29年度			平成30年度		
		一般	感染症	計	一般	感染症	計	一般	感染症	計
条例病床数 A		290	6	296	290	6	296	290	6	296
実稼働病床数 B		258	6	264	258	6	264	258	6	264
入院患者	患者延数 C	73,365	6	73,371	74,812	0	74,812	80,717	0	80,717
	前年度からの繰越入院患者数 D	186	0	186	165	0	165	191	0	191
	当年度内新入院患者数 E	5,523	3	5,526	5,200	0	5,200	5,390	0	5,390
	当年度内退院患者数 F	5,544	3	5,547	5,174	0	5,174	5,398	0	5,398
	病床利用率 (条例) $\frac{C}{A \times \text{診療日数}} \times 100$	69.3%	0.3%	67.9%	70.7%	0.0%	69.2%	76.3%	0.0%	74.7%
	稼働利用率 (稼働) $\frac{C}{B \times \text{診療日数}} \times 100$	77.9%	0.3%	76.1%	79.4%	0.0%	77.6%	85.7%	0.0%	83.8%
	平均在院日数 $\frac{C}{1/2(E+F)}$ G	13.3	2.0	13.3	14.4	—	14.4	14.9	—	14.9
外来患者	病床回転数 $\frac{\text{暦日}}{G}$	27.4	182.5	27.4	25.3	—	25.4	24.3	—	24.4
	患者実数 H	—	—	35,579	—	—	34,120	—	—	33,651
	患者延数 I	—	—	134,719	—	—	128,681	—	—	123,589
	平均通院日数 (I/H)	—	—	3.8	—	—	3.8	—	—	3.7
入院外来患者数比率 (I/C)		—	—	1.84	—	—	1.72	—	—	1.53

(8) 救急患者取扱状況

年度	区分	来院区分				内訳		対前年比(%)	
		時間内	時間外	休日	計	交通事故	その他	交通事故	その他
28	患者延数	3,000	2,505	3,244	8,749	288	8,461	88.3	95.4
	(うち入院数)	1,026	656	739	2,421	16	2,405	-	-
	月平均患者数	250	209	270	729	24	705	-	-
29	患者延数	2,910	2,260	3,431	8,601	307	8,294	106.6	98.0
	(うち入院数)	996	567	751	2,314	21	2,293	-	-
	月平均患者数	243	188	286	717	26	691	-	-
30	患者延数	3,114	2,522	3,322	8,958	339	8,294	110.4	100.0
	(うち入院数)	1,033	645	765	2,443	17	2,426	-	-
	月平均患者数	260	210	277	747	28	691	-	-

(9) 診療科別救急患者数

年度	内科	神経内科	呼吸器科	循環器科	小児科	外科	整形外科	脳神経外科	皮膚科	泌尿器科	産婦人科	眼科	耳鼻咽喉科	その他	合計
28	4,118	99	0	1,254	85	555	1,580	452	109	327	164	6	0	0	8,749
29	3,899	188	0	1,257	68	345	1,792	527	102	334	82	4	2	1	8,601
30	4,148	146	10	1,265	68	477	1,693	647	106	290	100	5	1	2	8,958

(10) 事由別救急患者数

年度	急病	交通事故	一般事故	分娩	その他	合計
28	6,129	288	1,787	131	414	8,749
29	5,864	307	1,885	53	492	8,601
30	6,294	339	1,712	66	547	8,958

(11) 患者死亡件数

診療科	区分	退院患者数			患者死亡件数					
		28年度	29年度	30年度	28年度		29年度		30年度	
					死亡件数	割合(%)	死亡件数	割合(%)	死亡件数	割合(%)
総合診療科		2,321	2,128	2,175	202	8.7	174	8.2	195	9.0
精神科		0	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
神経内科		112	135	100	5	4.5	9	6.7	3	3.0
呼吸器科				112					10	8.9
循環器科		619	540	492	32	5.2	41	7.6	41	8.3
小児科		0	0	11	0	0.0	0	0.0	0	0.0
外科		781	574	696	38	4.9	48	8.4	33	4.7
整形外科		632	741	769	1	0.2	1	0.1	2	0.3
形成外科		0	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
脳神経外科		277	269	316	13	4.7	6	2.2	8	2.5
皮膚科		33	38	49	0	0.0	0	0.0	0	0.0
泌尿器科		460	583	542	2	0.4	4	0.7	1	0.2
産婦人科		184	45	60	0	0.0	0	0.0	0	0.0
眼科		128	121	98	0	0.0	0	0.0	0	0.0
耳鼻咽喉科		0	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
リハビリテーション科		0	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
放射線科		0	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
麻酔科		0	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
歯科口腔外科		0	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
合計		5,547	5,174	5,420	293	5.3	283	5.5	293	5.4

(注) 割合 = $\frac{\text{死亡件数}}{\text{退院患者数}} \times 100$

第4章 業務の状況

1 栄養管理科業務

(1) 病棟別栄養アセスメント結果

管理栄養士が入院指示連絡票及び栄養管理リスクアセスメントに基づき、病棟及びベッドサイド訪問等を行うなど入院患者さんの栄養状況を把握し栄養管理計画書を作成、栄養アセスメントを行い栄養障害リスクのレベル分けを行いました。

病棟別栄養アセスメント結果(中高リスクのみ)

[人数]

年度	高リスク	中リスク	中高リスク合計	2A	3A	4A	4B	5A	5B
28	481	2,926	3,407	546		765	420	814	862
29	411	1,939	2,350	473	135	392	246	543	561
30	214	451	665	116	94	133		151	171

(2) 入院前の栄養評価

入院を予定している方に入院前、外来において管理栄養士による食事摂取に関する確認・栄養状態の評価を実施しました。

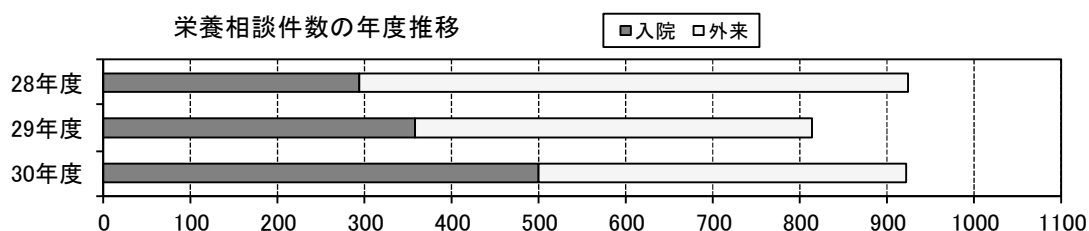
期 間	件 数
平成28年4月～平成29年3月	1,588件
平成29年4月～平成30年3月	1,697件
平成30年4月～平成31年3月	1,822件

(3) 栄養相談

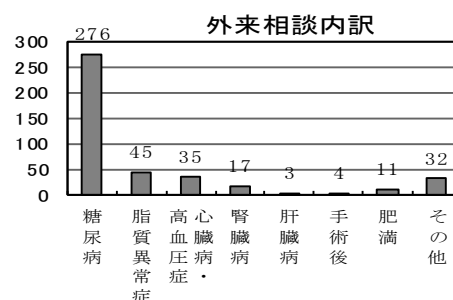
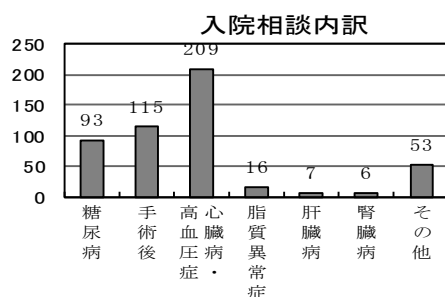
ア 栄養相談件数と人数の年度推移

管理栄養士が、医師の指示により入院患者及び外来患者に栄養相談を行いました。

年度	入 院		外 来		合 計	
	件数	人数	件数	人数	件数	人数
28	294	443	629	708	923	1,151
29	359	501	454	542	813	1,043
30	500	638	432	574	932	1,212



イ 平成30年度相談件数の内訳

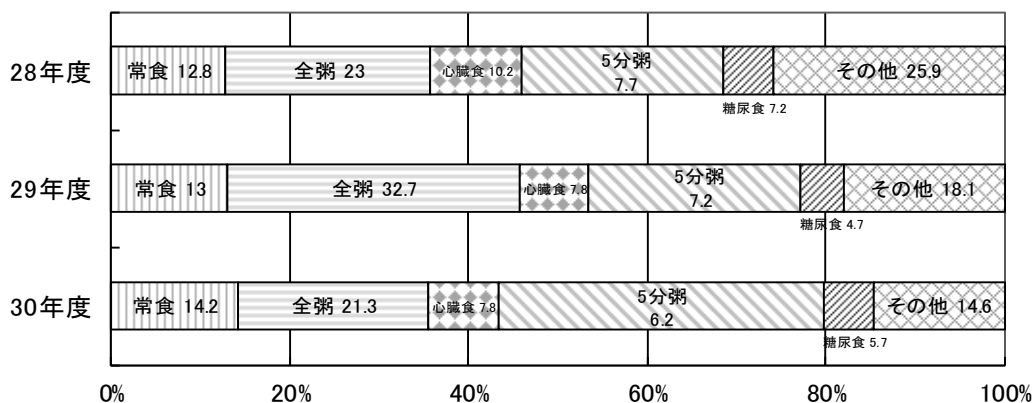


(4) 給食実施状況

		28年度	29年度	30年度
一般食		103,814	127,056	147,063
	常食	22,101	23,317	28,433
	*全粥	39,781	58,541	43,583
	*5分粥	38,932	42,443	72,770
	3分粥	1,406	1,062	820
	流動	1,594	1,693	1,457
特別食		65,452	48,520	52,756
	特別食加算	41,757	31,740	36,204
	潰瘍食	7,111	4,094	3,404
	肝臓食	2,858	1,824	636
	糖尿食	9,512	8,537	11,520
	膵臓食	75	66	1,523
	腎臓食	1,923	1,604	1,177
	ネフローゼ食	0	0	0
	心臓食	17,693	13,953	15,631
	検査食	238	207	204
	濃厚流動食	0	0	292
	貧血食	2,347	1,455	1,817
	特別食非加算	23,695	16,780	16,552
	高血圧食	9,439	4,226	8,436
	離乳食	0	1	0
	濃厚流動食	7,689	7,067	8,116
	その他	6,567	5,486	0
患者食合計 A		169,266	175,576	199,819
検査及び保存食 B		3,285	3,285	3,285
総合計 A + B		172,551	178,861	203,104

*嚥下訓練食を含む

(5) 食種別構成比率



(6) ランチ講習会

栄養教室【健康づくりのためのおいしく楽しいランチ講習会】の実施

高齢者及び生活習慣病患者とその家族に、栄養バランス等の目的に応じた食事を実際に食べて頂き、健康・栄養に関する理解と正しい知識の習得を図ってもらうための講習会を行いました。

- 第1回 30年 6月26日 : テーマ「夏にまけない身体づくり」
- 第2回 10月30日 : テーマ「減塩食で血圧ばっちり」
- 第3回 31年 2月26日 : テーマ「糖尿病スペシャル食」

2 手 術

(1) 総手術件数

年度	総件数	外科	整形外科	産婦人科	泌尿器科	脳外科	眼科	形成外科	皮膚科	耳鼻科	その他
平成28年	1,517	391	522	4	322	117	125	9	1	0	26
平成29年	1,714	357	668	0	434	115	129	5	2	0	4
平成30年	1,804	459	607	0	395	174	124	2	1	0	42

(2) 麻酔別手術件数

麻酔種類 \ 年度		平成28年度	平成29年度	平成30年度
全身麻酔	全身麻酔のみ	767	881	962
	＋硬・脊・伝	154	160	153
	小計	921	1,041	1,115
局所麻酔	脊椎麻酔	149	147	70
	脊椎＋硬膜外麻酔	4	0	0
	浸潤麻酔	443	526	549
	小計	596	673	619
総計		1,517	1,714	1,804
麻酔科管理手術件数		1,074	1,188	1,185

(3) 分娩件数

区分	死産	帝王切開	鉗子	吸引	横位	骨盤位	多胎	正常分娩	院内助産（再掲）	合計
平成28年度	0	4	0	2	0	0	0	105	97	111
平成29年度	0	0	0	0	0	0	0	44	44	44
平成30年度	0	0	0	0	0	0	0	53	53	53

*死産は22週以降を計上

*横位、骨盤位、多胎、その他のうち帝王切開による分娩件数は、帝王切開に計上している。

*多胎は平成17年度以降取り扱いなし。

(4) 各診療科手術件数 (各診療科集計)

手術名	年度	28	29	30	手術名	年度	28	29	30
外科					人工関節全置換術	38	47	50	
食道癌	0	1	0		人工膝関節単顆置換術		4	0	
胃癌 (腹腔鏡)	31 (9)	26 (0)	25 (5)		人工関節再置換術	2	1	0	
胃十二指腸潰瘍	6	6	6		鏡視下滑膜切除術	3	0	1	
胃腸吻合、バイパス	3	0	3		脛骨骨切り術	0	7	2	
結腸癌 (腹腔鏡)	41 (20)	42 (5)	48 (2)		肩関節				
大腸・直腸腫瘍	3	4	1		人工骨頭置換術	4	1	2	
結腸切除 (穿孔・捻転)	9	5	15		関節授動術	1	0	0	
腸閉塞 (腹腔鏡)	9 (1)	15 (0)	23 (2)		関節制動術	0	0	1	
直腸癌 (腹腔鏡)	15 (8)	11 (2)	16 (0)		足関節				
人工肛門造設・閉鎖	30	16	25		関節形成術・固定術	1	1	1	
小腸潰瘍、小腸切除	11	8	15 (1)		手関節・肘関節				
肝腫瘍	8	2	10		関節形成術・固定術	0	1	1	
胆道癌	0	1	0		靱 帯				
胆石症・胆嚢ポリープ	43 (33)	50 (28)	88 (53)		骨盤骨折	2	1	0	
(腹腔鏡)					大腿骨頸部	18	21	22	
総胆管結石	2	0	4		大腿骨転子部 (髓内釘)	69	73	91	
膵癌、十二指腸癌	1	0	0		骨幹部	6	4	3	
脾摘	6	0	0		顆 部	6	3	2	
肺癌	3	5	2		膝蓋骨骨折	11	8	4	
気胸、血胸、膿胸	3	1	2		下腿骨骨折				
縦隔腫瘍	0	0	0		顆 部	7	6	6	
痔核 痔瘻	0	3	1		骨幹部	3	12	2	
直腸脱	0	1	1		果 部	29	21	28	
虫垂炎 (腹腔鏡)	32 (27)	27 (22)	47 (43)		足部骨折				
乳癌	21	13	10		足根部	4	5	4	
甲状腺、副甲状腺腫瘍	1	0	0		足 趾	2	6	1	
甲状腺癌	2	0	0		鎖骨骨折	12	10	9	
動脈閉塞	0	0	0		肩鎖関節脱臼	1	0	1	
静脈瘤	0	0	0		肩甲骨骨折	0	1	0	
腹壁癒痕ヘルニア、臍ヘルニア	8	4	16		上腕骨骨折				
鼠径ヘルニア成人 (腹腔鏡)	74 (69)	79 (62)	114 (110)		頸 部	16	14	15	
小児	0	0	0		骨幹部	8	6	6	
大腿ヘルニア	0	1	4		顆 部	8	10	13	
腹腔内腫瘍	1	2	4		前 腕				
試験開腹、ドレナージ	9	9	9		近位部 (橈骨頭)	3	0	1	
気管切開	4	0	1		近位部 (肘頭)	7	6	9	
cvポート	26	15	13		骨幹部	2	4	4	
他 小手術	24	21	30		遠位部	22	40	34	
計					手				
整形外科					手根骨	0	1	4	
脊椎脊髄外科					手 指	16	17	27	
頸 椎					手複合損傷	0	1	1	
椎弓形成術	4	5	3		(骨折・腱・靱帯・断裂等)				
腰 椎					その他				
椎弓形成	17	14	30		偽関節手術	2	2	0	
椎弓切除術	0	1	1		手の外科、足の外科手術				
LOVE	7	3	5		手指腱切断、腱縫合術	5	5	4	
PLF	1	5	6		腱移行術・腱移植術		2	0	
PLIF	5	7	5		靱帯断裂縫合術			4	
脊椎脊髄腫瘍	1	1	0		拘縮腱剥離術	2	0	0	
その他	0	1	4		腱鞘炎手術	11	11	13	
関節外科					(パネ指、デケルバン)				
股関節					骨棘切除術			3	
人工関節置換術	24	55	26		その他		4		
人工関節再置換術	1	5	3		末梢神経				
人工骨頭置換術	51	79	78		手根管症候群手術	9	14	22	
股関節形成術	1	0	0		肘部管症候群手術	4	1	8	
股関節脱臼整復術	0	0	2		神経剥離術		1	1	
膝関節					筋、腱				

手術名	年度	28	29	30	手術名	年度	28	29	30
アキレス腱手術（観血術）		11	11	15	脂肪腫		1	0	2
軟部腫瘍手術					線維脂肪腫		1	0	1
良性軟部腫瘍手術		13	15	6	血管腫		1	1	0
骨腫瘍手術					毛細血管拡張性肉芽腫		1	1	2
良性骨腫瘍手術		0	4	1	その他		1	0	0
感染症手術					異物肉芽腫		1	0	0
化膿性関節炎手術		0	0	2	悪性腫瘍切除術		4	5	2
筋、軟部組織感染症手術		6	9	4	基底細胞癌		1	2	2
切断術					有棘細胞癌		1	3	0
下 肢		2	5	3	ボーエン病		1	0	0
その他		2	2	5	Eccrine porocarcinoma		1	0	0
（手指、足趾、断端形成含む）					皮膚生検術		20	20	19
抜釘術		52	61	80	日光角化症		3	3	2
異物除去		1	0	4	尋常性天疱瘡		0	1	0
その他（陥入爪、褥創など）		3	3	0	水疱性類天疱瘡		1	0	1
計		536	658	683	血管炎		3	3	3
脳神経外科					転移性皮膚腫瘍		0	1	1
脳腫瘍摘出術					中毒疹		1	0	0
原発性		4	6	5	乳房外Paget病		0	0	1
転移性		0	0	0	悪性リンパ腫		2	8	3
脳血管障害					薬疹		2	1	1
脳動脈瘤クリッピング術		4	6	4	Stevens-Johnson症候群		0	1	1
脳内血腫除去術		1	1	3	結節性紅斑		1	0	0
脳室ドレナージ（出血）		0	0	3	Sarcoidosis		1	1	0
頭蓋内外血管吻合術		1	0	3	うつ滞性皮膚炎		0	0	1
頭部外傷					乾癬		0	0	2
急性硬膜下血腫除去術		1	0	2	皮膚筋炎		0	0	1
慢性硬膜下血腫除去術		27	23	24	アミロイドーシス		0	0	1
機能的脳神経外科手術					紅皮症		0	0	1
微小血管減圧術		0	0	1	その他		6	1	0
ITBポンプ植え込み術		0	0	4	植 皮 術		0	1	2
SCS装置植え込み術		0	0	5	皮膚潰瘍植皮術		0	1	0
その他					熱傷植皮術		0	0	2
水頭症手術		5	5	8	冷凍凝固術		137	272	253
減圧開頭術		1	0	0	計		185	314	292
脳室ドレナージ（出血以外）		0	0	4	泌尿器科				
脊髄脊椎手術		96	52	62	腎、尿管				
血管内手術		3	2	10	腎尿管全摘除術（ラバロ）		0	1	3
その他の手術		4	7	9	腹腔鏡下腎摘出（後腹膜）		1	4	1
計		147	102	147	腹腔鏡下腎摘出術（経膜）		0	1	0
皮膚科					経皮的腎瘻造設術		17	17	11
母斑切除術		5	4	3	尿管ステント留置術		106	67	58
色素性母斑		3	4	3	尿管ステント抜去術		95	40	30
脂腺母斑		2	0	0	逆行性腎盂造影RP		78	40	43
皮膚良性腫瘍等切除術		19	12	13	順行性尿路造影AP		0	1	3
上皮性腫瘍		10	7	5	腎膿瘍穿刺ドレナージ		12	2	0
脂漏性角化症		4	1	1	経皮的腎のう胞穿術		4	2	1
類表皮嚢腫		0	3	1	腎盂鏡			1	0
石灰化上皮腫		2	0	1	腹腔鏡下副腎摘出術		1	0	0
エクリン汗孔腫		1	1	0	腹腔鏡下ヘルニア根治術				1
毛包上皮腫		1	1	0	膀 胱				
ケラトアカントーマ		1	0	1	膀胱鏡		24	38	39
乳頭adenoma		1	0	0	膀胱全摘		1	2	2
Pilar cyst		0	1	0	経皮的膀胱瘻造設術		4	1	2
良性付属器腫瘍		0	0	1	回腸導管		2	1	1
神経嚢起原性細胞性腫瘍		3	2	2	ネオブラadder			1	1
神経線維腫		3	2	2	経尿道的膀胱結石破砕術		5	7	7
間葉系腫瘍		5	3	6	膀胱切石術		0	0	1
皮膚繊維腫		0	1	0	経尿道的膀胱水压拡張術				1
軟性線維腫		1	0	1					

手術名	年度	28	29	30	手術名	年度	28	29	30
経尿道的膀胱止血術 (TUC)		0	9	13	その他				
経尿道的膀胱切除術 (TUR-BT)		46	66	63	ESWL		27	37	30
膀胱頸部切開 (TUR-Bn)			4	0	経膈生検			2	0
膀胱憩室焼灼術			1	0	腫瘍切除術		15	0	4
前立腺					その他				0
経尿道的前立腺切除 (TUR-P)		32	55	56	計		604	578	542
ラパロ前立腺全摘			8	0	産婦人科				
前立腺全摘除術		3	4	17	腹式帝王切開		4	—	—
前立腺生検		104	140	133	その他		0	—	—
尿道					計		4	—	—
経尿道的尿道狭窄拡張 (b・d)		3	6	6	眼科				
尿管鏡下尿管結石破碎術 (f-TUL)		12	0	0	眼 瞼				
尿管鏡下尿管生検		1	0	0	麦粒腫切開術			1	0
回腸導管ステント留置		1	0	0	マイボーム腺梗塞摘出術			1	0
カルンクル切除術			3	0	マイボーム腺切開術			1	3
陰のう					結 膜				
高位除辜術		2	3	1	結膜結石除去術				
陰のう水腫根治術		2	1	4	1. 少数のもの(1眼瞼ごと)		9	6	5
精索水腫根治術		1	0	2	角膜、強膜				
精管結紮術		2	0	0	顕微鏡下角膜抜糸術		3	0	0
陰 茎					角膜・強膜異物除去術		3	1	0
背面切開			1	0	眼房、網膜				
環状切除術		0	2	5	網膜光凝固術				
コンジローマ切除				1	1 通常のもの		1	0	0
陰茎折症(白膜縫合術)		1	0	0	2 その他特殊なもの (一連につき)		17	7	10
皮下膿瘍切開ドレナージ		2	10	2	水晶体、硝子体				
					水晶体再建術				
					1. 眼内レンズを挿入する場合		124	121	100
					硝子体切除術		0	2	2
					計		157	140	120

3 内視鏡

(1) 内視鏡検査件数

年度	上部消化管 内視鏡	大腸 内視鏡	小腸 内視鏡	気管支鏡	EUS	ERCP
28	2,546	1,289	4	63	45	199
29	2,415	1,285	1	39	29	206
30	2,546	1,327	3	59	34	233

(2) 内視鏡処置件数

年度	上部 EMR	上部 ESD	大腸 EMR	大腸 ESD	止血術	EVL	EIS	食道 ステント	食道 ハ・ルーン拡張	胆道 碎石	胆道 ステント	APC	胃ろう 造設	胃ろう 交換
28	14	32	453	10	102	15	5	10	3	8	26	4	13	7
29	14	27	471	3	100	13	2	10	8	6	41	8	10	6
30	3	22	581	6	122	3	0	27	10	4	58	1	16	5

(3) 泌尿器科外来検査件数

区分	内視鏡			超音波							合計
年度	EF－膀胱尿道			残尿測定検査 (超音波検査による)		胸腹 (断層・心臓除く)		他 (断層・心臓除く)			
	外来	入院	小計	外来	入院	外来	入院	外来	入院		
28	505	30	535	173	20	1,491	141	37	1	1,863	2,398
29	502	37	539	353	5	1,189	163	22	3	1,735	2,274
30	513	39	552	444	3	1,021	164	31	14	1,677	2,229

4 リハビリテーション科業務

(1) ア 診療科別実数

平成28年度

単位：人

診療科	診 察			理学療法			作業療法			言語療法			心理療法		
	外来	入院	合計	外来	入院	合計	外来	入院	合計	外来	入院	合計	外来	入院	合計
リハ科	6	0	6	1	0	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0
整形外科	0	1	1	37	417	454	67	78	145	0	0	0	0	0	0
総合診療	3	0	3	4	359	363	1	38	39	0	11	11	17	9	26
脳外科	0	0	0	0	161	161	0	154	154	0	45	45	0	0	0
神経内科	3	0	3	5	82	87	4	74	78	0	32	32	0	2	2
循環器	0	0	0	0	108	108	0	9	9	0	3	3	0	0	0
泌尿器	0	0	0	0	5	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0
外科	0	1	1	0	11	11	0	0	0	0	1	1	0	0	0
皮膚科	0	0	0	0	6	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0
耳鼻科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
小児科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
放射線科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
精神科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
形成外科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
産婦人科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	12	2	14	47	1149	1196	73	353	426	0	92	92	17	11	28

平成29年度

単位：人

診療科	診 察			理学療法			作業療法			言語療法			心理療法		
	外来	入院	合計	外来	入院	合計	外来	入院	合計	外来	入院	合計	外来	入院	合計
リハ科	5	0	5	4	0	4	2	0	2	0	0	0	0	0	0
整形外科	0	1	1	81	493	574	74	95	169	0	0	0	0	3	3
総合診療	0	0	0	0	535	535	1	26	27	0	7	7	19	4	23
脳外科	2	0	2	4	169	173	1	202	203	0	86	86	0	3	3
神経内科	1	0	1	2	95	97	1	70	71	1	38	39	0	1	1
循環器	0	1	1	0	153	153	0	3	3	0	1	1	0	0	0
泌尿器	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
外科	0	0	0	0	18	18	0	0	0	0	2	2	0	3	3
皮膚科	0	1	1	0	3	3	0	1	1	0	0	0	0	0	0
耳鼻科	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
小児科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
放射線科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
精神科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
形成外科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
産婦人科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	8	3	11	91	1468	1559	79	397	476	1	134	135	19	14	33

平成30年度

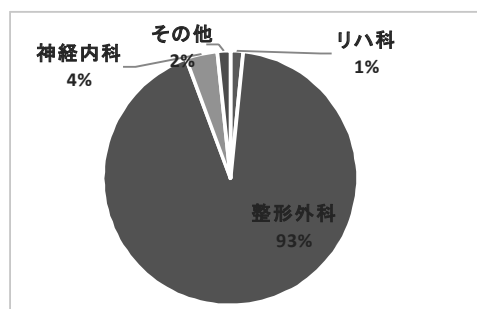
単位：人

診療科	診 察			理学療法			作業療法			言語療法			心理療法		
	外来	入院	合計	外来	入院	合計	外来	入院	合計	外来	入院	合計	外来	入院	合計
リハ科	1	0	1	2	3	5	2	0	2	0	0	0	0	0	0
整形外科	0	0	0	115	534	649	121	101	222	0	3	3	0	0	0
総合診療	1	1	2	0	829	829	0	42	42	0	17	17	7	12	19
脳外科	4	1	5	1	217	218	0	233	233	0	88	88	0	12	12
神経内科	2	0	2	5	81	86	1	72	73	0	37	37	0	1	1
循環器	0	1	1	0	190	190	0	0	0	0	0	0	0	0	0
泌尿器	0	0	0	0	9	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0
外科	0	0	0	0	24	24	0	0	0	0	2	2	0	0	0
皮膚科	0	0	0	0	6	6	0	1	1	0	0	0	0	0	0
耳鼻科	0	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0
小児科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
放射線科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
精神科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
形成外科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
産婦人科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	8	3	11	124	1893	2017	124	449	573	1	147	148	7	25	32

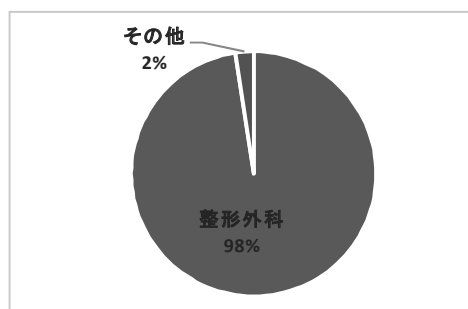
イ 平成 30 年度診療科別実数割合

(ア) 外来

理学療法

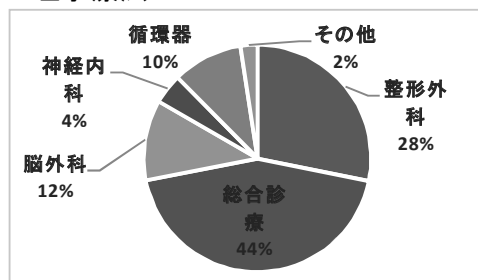


作業療法

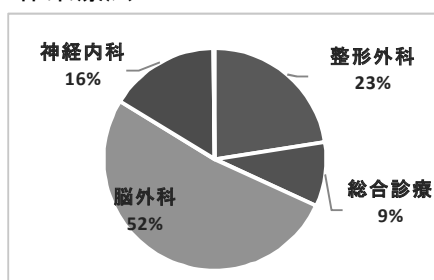


(イ) 入院

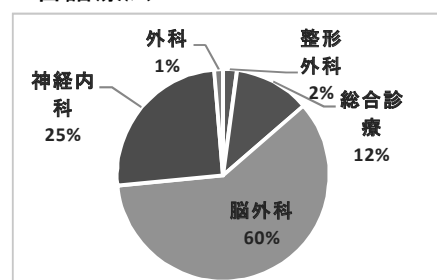
理学療法



作業療法



言語療法



(2) 訓練業務の推移 (延件数・単位)

理学療法

理学療法		請求項目	平成28年度		平成29年度		平成30年度			
			入院	外来	入院	外来	入院	外来		
疾患別 リハビリ テーション	件	運動器リハビリテーションⅠ	7,337	617	9,412	1,160	7,113	1,045		
		運動器リハビリテーションⅢ	1,317	0	0	0	0	0		
		脳血管疾患等リハビリテーションⅡ	2,882	30	4,445	40	4,768	8		
		脳血管疾患等リハビリテーションⅡ 廃用	11	0	0	0	0	0		
		廃用症候群リハビリテーションⅡ	2,522	0	4,689	0	4,929	0		
		呼吸器リハビリテーションⅠ	1,160	10	1,923	0	2,522	0		
		運動器リハ料Ⅰ（不適合）	0	86	0	75	0	87		
		運動器リハ料Ⅱ（不適合）	0	3	0	0	0	0		
		地域包括ケア運動器リハ等処置Ⅰ	-	-	-	-	3,497	0		
		地域包括ケア脳血管リハ等処置Ⅱ	-	-	-	-	474	0		
		地域包括ケア廃用リハ等処置Ⅱ	-	-	-	-	1,297	0		
		地域包括ケア呼吸器リハ等処置Ⅱ	-	-	-	-	962	0		
		早期加算 30日以内	10,771	0	15,749	0	18,759	0		
		疾患別リハビリテーション合計	15,229	746	20,469	1,275	44,321	1,140		
	単位	運動器リハビリテーションⅠ	-	-	-	-	8,820	1,072		
		脳血管疾患等リハビリテーションⅡ	-	-	-	-	5,167	8		
		廃用症候群リハビリテーションⅡ	-	-	-	-	5,086	0		
		呼吸器リハビリテーションⅠ	-	-	-	-	2,582	0		
		運動器リハ料Ⅰ（不適合）	-	-	-	-	0	87		
		地域包括ケア運動器リハ等処置Ⅰ	-	-	-	-	4,194	0		
		地域包括ケア脳血管リハ等処置Ⅱ	-	-	-	-	499	0		
		地域包括ケア廃用リハ等処置Ⅱ	-	-	-	-	1,339	0		
		地域包括ケア呼吸器リハ等処置Ⅱ	-	-	-	-	972	0		
		早期加算 30日以内	-	-	-	-	21,160	0		
		疾患別リハビリテーション合計	-	-	-	-	49,819	1,167		
		検査・評価	件	重心動揺計	0	1	0	0	0	0
				リハビリテーション総合計画評価料	416	0	405	0	966	0
				目標設定等支援管理料(初回)	-	-	-	-	130	0
退院時リハビリテーション指導料	197			0	115	0	197	0		
認知機能その他心理検査(容易)	-			-	-	-	50	0		
検査・評価合計	613			0	520	0	1,343	0		
総 合 計(件)		26,613	746	36,738	1,275	45,664	1,140			

* 平成30年度より疾患別リハビリテーションを件・単位数を記載

作業療法

作業療法		請求項目	平成28年度		平成29年度		平成30年度	
			入院	外来	入院	外来	入院	外来
疾患別 リハビリテー ション	件	運動器リハビリテーションⅠ	1,190	1,569	837	1,734	614	1,633
		脳血管疾患等リハビリテーションⅡ	2,559	12	3,341	37	3,565	73
		脳血管疾患等リハビリテーションⅡ 廃用	8	0	0	0	0	0
		廃用症候群リハビリテーションⅡ	151	0	80	0	108	0
		呼吸器リハビリテーションⅠ	56	0	22	0	36	0
		運動器リハ料Ⅰ（不適合）	0	27	0	0	0	0
		脳血管疾患等リハ料Ⅱ（不適合）	0	85	0	70	0	40
		地域包括ケア運動器リハ等処置Ⅰ	-	-	-	-	289	0
		地域包括ケア脳血管リハ等処置Ⅱ	-	-	-	-	226	0
		地域包括ケア廃用リハ等処置Ⅱ	-	-	-	-	66	0
		地域包括ケア呼吸器リハ等処置Ⅱ	-	-	-	-	10	0
		早期加算 30日以内	2,920	0	3,020	0	3,559	0
		疾患別リハビリテーション合計	6,884	1,693	7,300	1,841	8,473	1,746
	単位	運動器リハビリテーションⅠ	-	-	-	-	719	1,755
		脳血管疾患等リハビリテーションⅡ	-	-	-	-	4,461	108
		廃用症候群リハビリテーションⅡ	-	-	-	-	111	0
		呼吸器リハビリテーションⅠ	-	-	-	-	36	0
		脳血管疾患等リハ料Ⅱ（不適合）	-	-	-	-	0	40
		地域包括ケア運動器リハ等処置Ⅰ	-	-	-	-	312	0
		地域包括ケア脳血管リハ等処置Ⅱ	-	-	-	-	250	0
		地域包括ケア廃用リハ等処置Ⅱ	-	-	-	-	66	0
		地域包括ケア呼吸器リハ等処置Ⅱ	-	-	-	-	10	0
		早期加算 30日以内	-	-	-	-	4,418	0
		疾患別リハビリテーション合計	-	-	-	-	10,383	1,903
検査・評価	件	コース立方体知能検査	15	0	28	0	69	0
		ペントン視覚記憶検査	0	0	3	0	11	0
		三宅式記憶検査	1	0	1	0	32	0
		リハビリテーション総合計画評価料	-	-	-	-	262	0
		目標設定等支援管理料(初回)	-	-	-	-	27	0
		退院時リハビリテーション指導料	-	-	-	-	123	0
		認知機能その他心理検査(容易)	-	-	-	-	250	1
		検査・評価合計	16	0	32	0	774	1
総 合 計(件)		6,900	1,693	7,332	1,841	9,247	1,747	

* 平成30年度より疾患別リハビリテーションを件・単位数を記載

言語療法

言語療法		単位:件					
言語療法	請求項目	平成28年度		平成29年度		平成30年度	
		入院	外来	入院	外来	入院	外来
疾患別リハビリ	脳血管疾患等リハビリテーションⅡ	0	0	0	0	0	0
言語検査	SLTA	18	0	20	0	22	0
	構音検査	0	0	0	0	0	2
	発声発語器官検査	71	0	108	0	113	1
	WAIS－Ⅲ	2	2	2	0	4	0
	WISC－Ⅲ	0	1	0	0	0	0
心理療法	心身医学療法（入院）	377	0	573	0	557	0
	心身医学療法（外来）	0	10	0	23	0	19
	心身医学療法（再診外来）	0	142	0	38	0	50
心理検査	TEG（東大式エコグラム）	3	15	2	20	1	12
	バウム・テスト	0	1	0	0	1	0
	MMPI（CHAPS）	0	1	0	1	2	0
総 合 計		471	172	705	82	700	84

(3)実習生受入状況

神奈川県立保健福祉大学	1年生	H30.8.15	1日	1名
理学療法学専攻				

5 放射線技術科業務

(1) X線撮影実績(人数及び件数・月別)

単 純 撮 影	部位		月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
	頭部	人数	12	11	14	14	16	12	
		件数	25	26	30	31	37	28	
	耳鼻顔面	人数	5	7	5	4	3	6	
		件数	10	14	11	7	7	12	
	胸部	人数	1,374	1,388	1,345	1,426	1,460	1,317	
		件数	1,671	1,749	1,638	1,729	1,752	1,571	
	腹部	人数	445	438	399	419	506	428	
		件数	595	586	537	558	670	577	
	椎骨	人数	336	418	427	428	446	302	
		件数	1,040	1,296	1,285	1,218	1,219	926	
	四肢骨	人数	729	796	719	775	786	593	
		件数	1,699	1,897	1,679	1,828	1,877	1,400	
	乳房	人数	33	55	84	89	77	77	
		件数	124	204	321	348	284	292	
	軟部	人数	0	0	1	0	0	1	
		件数	0	0	2	0	0	2	
	その他	人数	412	443	443	429	484	401	
		件数	766	829	842	817	928	803	
計	人数	3,346	3,556	3,437	3,584	3,778	3,137		
	件数	5,930	6,601	6,345	6,536	6,774	5,611		
造影・透視撮影			人数	108	90	81	111	77	108
			件数	579	571	429	574	430	606
血管撮影			人数	29	32	36	29	21	33
			件数	300	389	447	197	310	368
放射線治療			人数	0	0	0	0	0	0
			件数	0	0	0	0	0	0
ラジオアイソトープ検査			人数	43	65	64	53	51	58
			件数	428	691	662	553	512	603
CT	単純	人数	991	1,057	975	1,155	1,150	1,083	
		件数	141,185	141,120	128,960	161,220	156,150	147,130	
	造影	人数	197	190	186	207	187	196	
		件数	31,720	31,110	27,830	37,080	32,170	34,820	
	計	人数	1,188	1,247	1,161	1,362	1,337	1,279	
		件数	172,905	172,230	156,790	198,300	188,320	181,950	
MRI	単純	人数	221	242	256	245	235	204	
		件数	55,756	62,411	69,496	59,605	63,939	59,263	
	造影	人数	34	24	28	44	38	27	
		件数	10,955	9,064	8,787	15,347	14,621	9,629	
	計	人数	255	266	284	289	273	231	
		件数	66,711	71,475	78,283	74,952	78,560	68,892	
骨密度測定			人数	0	0	0	41	27	37
			件数	0	0	0	111	70	82

10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
16	11	7	14	15	19	161
36	23	14	30	30	42	352
8	9	5	3	4	6	65
14	17	9	6	9	15	131
1,438	1,378	1,349	1,519	1,341	1,322	16,657
1,733	1,663	1,635	1,871	1,601	1,627	20,240
517	417	335	387	376	368	5,035
679	546	432	506	502	481	6,669
437	421	409	442	428	455	4,949
1,267	1,165	1,187	1,291	1,233	1,303	14,430
866	756	655	720	645	670	8,710
2,098	1,794	1,531	1,730	1,567	1,598	20,698
134	101	73	62	128	173	1,086
518	378	274	236	490	686	4,155
2	3	0	0	0	2	9
4	7	0	0	0	4	19
460	445	483	515	452	470	5,437
901	873	971	1,000	885	932	10,547
3,878	3,541	3,316	3,662	3,389	3,485	42,109
7,250	6,466	6,053	6,670	6,317	6,688	77,241
102	114	82	79	97	87	1,136
515	562	504	455	659	638	6,522
32	43	28	29	22	23	357
362	478	387	309	432	370	4,349
0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0
58	54	54	54	47	59	660
597	530	563	528	536	628	6,831
1,093	1,025	1,013	1,056	1,005	1,020	12,623
141,950	136,390	131,810	139,230	135,190	132,260	1,692,595
213	188	180	194	184	189	2,311
38,120	32,340	30,870	35,560	33,460	34,090	399,170
1,306	1,213	1,193	1,250	1,189	1,209	14,934
180,070	168,730	162,680	174,790	168,650	166,350	2,091,765
258	260	229	216	190	236	2,792
76,815	76,321	68,273	69,564	55,485	70,239	787,167
32	44	31	37	47	34	420
10,892	16,201	11,077	12,754	15,980	10,695	146,002
290	304	260	253	237	270	3,212
87,707	92,522	79,350	82,318	71,465	80,934	933,169
46	53	39	25	32	47	347
100	111	84	56	69	113	796

(2) X線撮影実績(人数及び件数・年度別)

年度 \ 区分		単純撮影	造影透視撮影	血管撮影	放射線治療	C T	M R I	骨密度測定
28年度	人数	39,591	1,229	421	1,176	14,447	3,267	0
	件数	74,594	7,513	6,650	1,251	2,659,644	815,469	0
29年度	人数	40,421	1,055	371	146	14,002	3,266	0
	件数	75,523	5,984	4,680	146	2,563,151	873,888	0
30年度	人数	42,109	1,136	357	0	14,934	3,212	347
	件数	77,241	6,522	4,349	0	2,091,765	933,169	796

※骨密度測定は2018年7月より
検査開始

(3) 時間外救急実績(人数及び件数)

年度 \ 区分		単純撮影	C T	血管撮影
28年度	人数	5,662	2,588	101
	件数	8,683	416,485	1,605
29年度	人数	5,874	2,732	59
	件数	9,313	418,880	957
30年度	人数	6,154	3,033	71
	件数	9,330	403,240	1,332

(4) 高度医療機器共同利用実績(人数)

年度 \ 区分		C T	M R I	R I	骨密度
28年度	人数	233	57	0	—
29年度	人数	179	60	0	—
30年度	人数	199	75	0	8

6 検査技術科業務

(1) 臨床検査件数（大分類）

年度	分類	一般検査	血液学的検査	血清学的検査	臨床化学的検査	細菌学的検査	病理学的検査	生理機能検査	その他検体検査	合 計
28	件数	252,537	314,401	100,526	937,595	23,731	11,147	18,084	346	1,658,367
	構成比 (%)	15.2	19.0	6.1	56.5	1.4	0.7	1.1	0.0	100.0
29	件数	234,566	303,692	97,773	905,330	20,641	11,525	17,804	285	1,591,670
	構成比 (%)	14.7	19.1	6.2	56.9	1.3	0.7	1.1	0.0	100.0
30	件数	228,252	311,406	100,404	994,681	26,904	18,389	18,844	333	1,699,213
	構成比 (%)	13.5	18.3	5.9	58.5	1.6	1.1	1.1	0.0	100.0

(2) 緊急検査（土日祝日・時間外）件数

年 度	28年度	29年度	30年度
件 数	7,091	7,089	7,856

(3) 委託

年度	一般検査	血液学的検査	血清学的検査	臨床化学的検査	細菌学的検査	病理学的検査	そ の 他	合 計
28	4	123	11,540	4,525	346	38	169	16,745
29	18	36	10,115	3,555	246	21	144	14,135
30	25	100	9,276	3,421	265	24	196	13,307

(4) 血液製剤使用量

年度	濃厚赤血球		全 血		洗浄赤血球		新鮮凍結血漿		濃 厚 血 小 板				自己血	
	200ml 由 来	400ml 由 来	200ml	400ml	200ml 由 来	400ml 由 来	200ml 由 来	400ml 由 来	5単位	10単位	15単位	20単位	200ml	400ml
28	28	740	0	0	0	2	0	216	3	19	4	2	0	148
29	38	826	0	0	0	0	0	107	0	12	1	1	0	232
30	28	678	0	0	0	1	0	86	0	13	0	2	0	181

(5) 院内研修等

月 日	講 師	テ ー マ
H30. 5. 10	佐々木由香	新しい尿中レジオネラキットについて
H30. 5. 10	西小原妙	血清カリウム偽性高値について
H30. 6. 5	田島正輝	量的効果
H30. 6. 5	川端まりえ	個人防護具の着脱方法
H30. 7. 5	町田淳	検査データの注意点と再検査 ～生化・免疫編PART1～
H30. 7. 5	小林三恵子	脂肪肝 ～NAFLDとNASHについて～
H30. 9. 5	粒羅麻実	乳腺超音波検査
H30. 9. 5	大金直樹	乳腺病変の診断 ～病理検査流れについて～
H30. 10. 4	外部講師 (Sysmex)	免疫ピットホール
H30. 11. 1	堀井晴美・加藤弥生	睡眠時無呼吸症候群 基礎・実践
H30. 12. 6	外部講師 (赤十字血液センター)	血液製剤の取り扱いと注意点 Q & A
H31. 1. 10	外部講師 (三和化学研究所)	血糖測定システムの使い分けについて
H31. 2. 7	春成姿子・中辻彩加	血液検査①②
H31. 3. 7	有浦義治・佐々木秀貴	尿中異型細胞について①②

(6) 実習生受入状況

学 校 名	科 名	学年	期 間	日数	人数
湘央医学技術専門学校	検査科	3 年生	H30. 5. 7～H30. 8. 24	79日	1名
麻布大学	臨床検査技術学科	3 年生	H31. 1. 15～H31. 3. 8	38日	2名

(7) 月別臨床検査数

臨床検査件数調 30年

大分類	中分類	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
1 一般	一般検査	18,469	20,028	19,217	21,706	22,040	17,294
	A 尿一般検査	18,309	19,898	19,115	21,557	21,895	17,170
	B 糞便検査	27	29	30	32	21	21
	C 髄液検査	106	77	54	100	83	71
	Z その他	27	24	18	17	41	32
2 血液	血液学的検査	24,846	26,529	24,750	27,461	28,291	25,105
	A 血液一般形態検査	22,567	24,179	22,459	24,811	25,578	22,917
	B 凝固線溶関連検査	2,171	2,208	2,160	2,527	2,587	2,094
	C 血液化学検査	0	0	0	0	0	0
	Z その他	108	142	131	123	126	94
3 生化学	生化学的検査	73,056	77,794	72,926	80,762	82,702	73,128
	A 蛋白・膠質反応	10,335	10,921	10,209	11,244	11,541	10,423
	B 酵素及び関連物質	21,112	22,597	21,132	23,596	24,055	21,173
	C 低分子窒素化合物	10,030	10,725	10,138	11,116	11,416	10,178
	D 糖質及び関連物質	4,057	4,256	4,007	4,339	4,451	3,847
	E 有機酸	9	9	18	33	12	15
	F 脂質及び関連物質	4,663	4,700	4,713	4,753	4,831	4,143
	G ビタミンおよび関連物質	0	0	0	0	0	0
	H 電解質・血液ガス	15,265	16,482	15,315	17,458	17,940	15,721
	I 生体微量金属	363	390	310	330	328	265
	J 生体色素関連物質	7,165	7,661	7,023	7,837	8,071	7,314
	K 毒物・産業医学的代謝物質	0	0	0	0	0	0
	L・M 薬物	53	45	56	49	54	41
	Z その他	4	8	5	7	3	8
4 内分泌	内分泌学的検査	1,371	1,442	1,440	1,548	1,419	1,268
	ホルモン（4Z以外）	790	868	877	968	846	741
	Z その他	581	574	563	580	573	527
5 免疫	免疫学的検査	7,197	7,925	7,283	7,891	8,006	7,212
	A 免疫グロブリン	261	300	269	266	273	256
	B 補体及び関連物質	77	54	76	73	48	51
	C 血しょう蛋白	3,150	3,410	3,195	3,517	3,682	3,312
	D 腫瘍関連抗原	808	845	823	850	840	834
	E 感染症（非ウイルス）関連検査	669	750	652	739	730	668
	F ウイルス感染症検査	939	1,031	873	964	965	868
	G 自己免疫関連検査	73	68	78	80	77	43
	H 免疫血液学的検査	1,220	1,467	1,317	1,402	1,391	1,180
	I 細胞免疫検査	0	0	0	0	0	0
	J サイトカイン	0	0	0	0	0	0
	K HLA	0	0	0	0	0	0
	Z その他	0	0	0	0	0	0
6 微生物	微生物学的検査	2,155	2,303	2,173	2,299	2,865	2,338
	A 塗抹・形態検査	255	302	281	297	367	302
	B 培養・同定検査	1,522	1,580	1,502	1,586	1,965	1,605
	B 核酸同定検査	11	13	18	17	14	11
	C 薬剤感受性検査（一般）	363	400	364	391	511	414
	C 薬剤感受性検査（抗酸菌）	0	0	0	0	0	0
	Z その他	4	8	8	8	8	6
7 病理	病理学的検査	1,507	1,654	1,802	1,364	1,494	1,393
	A 細胞診検査	158	207	208	207	183	180
	B 病理組織検査（生検組織）	741	683	637	730	684	614
	B 病理組織検査（試験切除）	0	0	0	0	0	0
	B 病理組織検査（手術切除）	285	484	645	270	465	467
	B 病理組織検査（その他）	314	272	312	153	158	128
	C 迅速凍結組織検査	9	8	0	4	4	4
	D 電子顕微鏡検査	0	0	0	0	0	0
	Z 解剖（体数）	0	0	0	0	0	0
	Z 病理組織検査（剖検）	0	0	0	0	0	0
8 その他	その他検体検査	14	3	6	25	24	11
	A 負荷試験・機能検査	14	3	6	25	24	11
	B 遺伝子関連検査（染色体）	0	0	0	0	0	0
	C 遺伝子関連検査	0	0	0	0	0	0
	Z その他	0	0	0	0	0	0
9 生理機能	生理機能検査	1,521	1,744	1,618	1,585	1,634	1,426
	A 循環器機能検査	856	994	897	888	895	799
	B 脳・神経機能検査	33	39	41	39	38	28
	C 呼吸機能検査	199	224	194	225	213	186
	D 前庭・聴力検査	0	0	0	0	0	0
	E 眼科関連機能検査	0	0	0	0	0	0
	F 超音波検査	410	449	453	416	440	386
	N 健診関連	23	37	33	17	48	27
	Z その他	0	1	0	0	0	0
合 計		130,136	139,422	131,215	144,641	148,475	129,175

1 0 月	1 1 月	1 2 月	1 月	2 月	3 月	院内件数	委託件数	受託件数	合計
20,045	18,960	17,546	18,367	17,255	17,300	228,227	25		228,252
19,905	18,822	17,441	18,256	17,134	17,167	226,669			226,669
39	25	18	24	16	10	292	10		302
78	81	66	59	71	95	941			941
23	32	21	28	34	28	325	15		340
27,141	25,465	25,163	27,353	24,897	24,305	311,306	100		311,406
24,890	23,405	23,025	24,971	22,956	22,198	283,956			283,956
2,117	1,953	2,017	2,263	1,819	1,990	25,906	100		26,006
0	0	0	0	0	0	0			0
134	107	121	119	122	117	1,444			1,444
80,417	75,997	73,692	139,594	72,965	71,176	974,209	1,822		976,031
11,245	10,585	10,340	11,302	10,398	9,984	128,527	33		128,560
23,373	22,008	21,078	23,195	21,199	20,559	265,077	336		265,413
11,076	10,367	10,147	11,113	10,083	9,824	126,213	10		126,223
4,232	4,001	3,952	63,704	3,929	3,923	108,698	103		108,801
18	11	12	15	14	12	178	17		195
4,864	4,693	4,305	4,693	4,212	4,259	54,829	119		54,948
0	0	0	0	0	0	0	1,019		1,019
17,227	16,419	16,374	17,324	15,605	15,236	196,366			196,366
351	349	302	361	289	320	3,958	20		3,978
7,987	7,504	7,127	7,850	7,181	7,011	89,731			89,731
0	0	0	0	0	0	0			0
37	52	45	33	53	43	561	150		711
7	8	10	4	2	5	71	15		86
1,500	1,447	1,344	1,523	1,374	1,375	17,051	1,599		18,650
889	854	801	903	788	820	10,145	1,419		11,564
611	593	543	620	586	555	6,906	180		7,086
7,938	7,497	7,372	8,228	7,480	7,099	91,128	9,276		100,404
226	190	208	235	235	244	2,963	798		3,761
68	62	46	70	52	66	743	135		878
3,547	3,343	3,343	3,654	3,328	3,197	40,678	637		41,315
845	889	825	877	855	786	10,077	1,597		11,674
740	689	653	685	637	656	8,268	982		9,250
965	942	933	1,332	1,111	883	11,806	1,881		13,687
100	52	72	72	69	64	848	3,017		3,865
1,447	1,330	1,292	1,303	1,193	1,203	15,745			15,745
0	0	0	0	0	0	0	82		82
0	0	0	0	0	0	0	146		146
0	0	0	0	0	0	0	1		1
0	0	0	0	0	0	0			0
2,086	2,057	1,822	2,488	2,046	2,007	26,639	265		26,904
278	263	244	321	284	247	3,441			3,441
1,421	1,428	1,233	1,743	1,380	1,393	18,358	1		18,359
17	13	7	7	4	13	145	95		240
354	345	330	409	370	346	4,597	2		4,599
0	0	0	0	0	0	0	5		5
16	8	8	8	8	8	98	162		260
2,119	1,622	1,318	1,518	1,376	1,198	18,365	24		18,389
246	244	171	175	247	226	2,452			2,452
972	799	570	672	710	476	8,288	24		8,312
0	0	0	0	0	0	0			0
686	465	423	462	313	331	5,296			5,296
126	114	154	209	106	110	2,156			2,156
4	0	0	0	0	0	33			33
0	0	0	0	0	0	0			0
1	0	0	0	0	1	2			2
84	0	0	0	0	54	138			138
10	10	6	24	3	1	137	196		333
10	10	6	24	3	1	137			137
0	0	0	0	0	0	0	2		2
0	0	0	0	0	0	0	124		124
0	0	0	0	0	0	0	70		70
1,669	1,579	1,508	1,574	1,501	1,485	18,844	0		18,844
886	856	822	855	789	800	10,337			10,337
33	28	31	23	27	35	395			395
242	193	199	238	181	171	2,465			2,465
0	0	0	0	0	0	0			0
0	0	0	0	0	0	0			0
490	473	447	420	438	418	5,240			5,240
17	29	9	38	66	60	404			404
1	0	0	0	0	1	3			3
142,925	134,634	129,771	200,669	128,897	125,946	1,685,906	13,307	0	1,699,213

7 薬剤科業務

(1) 処方箋発行状況

区分 年度	外来				入院処方箋	入院及び外来 処方箋枚数	入院及び外来 注射箋枚数
	院内処方箋	院外処方箋	処方箋枚数	院外処方箋発行率			
28	7,013	67,299	74,312	90.56%	36,497	110,809	208,453
29	6,674	64,132	70,806	90.57%	39,687	110,493	195,678
30	6,396	61,876	68,272	90.63%	44,124	112,396	210,277

(2) 薬効別使用状況

薬効名(大)	28年度		29年度		30年度	
	金額(円)	構成比(%)	金額(円)	構成比(%)	金額(円)	構成比(%)
中枢神経系用薬	18,920,927	3.9%	21,862,499	4.6%	21,989,233	4.5%
循環器官用薬	26,613,880	5.5%	22,705,557	4.8%	15,795,298	3.2%
呼吸器官用薬	6,004,528	1.2%	5,670,224	1.2%	6,424,303	1.3%
消化器官用薬	35,120,254	7.2%	36,400,240	7.7%	35,306,403	7.2%
ホルモン剤(抗ホルモン剤を含む)	57,270,862	11.8%	57,732,301	12.2%	56,652,204	11.6%
ビタミン剤	1,196,857	0.2%	687,847	0.1%	764,487	0.2%
滋養強壮薬	10,536,670	2.2%	8,677,309	1.8%	9,148,084	1.9%
血液・体液用薬	31,698,157	6.5%	29,389,423	6.2%	29,933,287	6.1%
その他の代謝性医薬品	30,662,626	6.3%	30,119,782	6.4%	28,635,503	5.9%
腫瘍用薬	135,045,011	27.7%	140,075,343	29.7%	156,368,503	32.1%
アレルギー用薬	946,900	0.2%	702,458	0.1%	540,718	0.1%
抗生物質及び化学療法剤	52974625	10.9%	48,242,800	10.2%	47,784,290	9.8%
生物学的製剤	33,664,530	6.9%	25,704,645	5.5%	33,814,165	6.9%
診断用薬(体外診断用薬品を除く)	19,080,808	3.9%	16,076,105	3.4%	15,727,550	3.2%
その他	27,445,998	5.6%	27,393,814	5.8%	28,132,072	5.8%
合 計	487,182,633	100.0%	471,440,347	100.0%	487,016,100	100.0%

(3) 製剤数

年度	区分	内用散剤 (g)	外用液剤 (mL)	軟膏剤 (g)	注射剤 (mL)	坐剤 (個)	外用散剤 (g)	内用液剤 (mL)
28	製剤数量	0	40,380	18,726	0	0	0	0
	無菌製剤	0	8,060	0	744,484	0	0	0
29	製剤数量	0	41,310	24,025	0	0	0	0
	無菌製剤	0	6,850	0	694,678	0	0	0
30	製剤数量	0	48,470	29,684	0	0	0	0
	無菌製剤	0	7,770	0	522,904	0	0	0

(4) 麻薬使用量(麻薬年間届の数量)

【内用薬】

年度	MSコンチン	MSコンチン	カディアン スティック	オプソ内服液	オプソ内服液	塩酸モルヒネ	塩酸モルヒネ	塩酸モルヒネ
	10mg(錠)	60mg(錠)	30mg(包)	5mg(包)	10mg(包)	10mg(錠)	原末(g)	10倍散(g)
28	635			381	1,112	0	0	0
29	692	54	33	390	555	0	1.5	7.74
30	460	56		342	956	74	0	0

年度	オキシコドン 徐放カプセル	オキシコドン 徐放カプセル	オキシコドン 徐放カプセル	オキシコドン 徐放カプセル	オキシコンチン	オキシコンチン	オキシコンチン	オキシコンチン
	5mg(カプセル)	10mg(カプセル)	20mg(カプセル)	40mg(カプセル)	5mg(錠)	10mg(錠)	20mg(錠)	40mg(錠)
28	1,789	1,665	383		9	3	234	126
29	3,071	2,812	416					52
30	2,675	1,762	781	236				62

年度	オキノーム散	オキノーム散	オキノーム散	コデインリン酸 塩錠	ナルサス錠	アブストラル舌 下錠	アブストラル舌 下錠
	2.5mg(包)	5mg(包)	10mg(包)	20mg(錠)	2mg(錠)	100 μg(錠)	200 μg(錠)
28	1,072	608	31	0		621	258
29	1,635	1,650	547	50		305	49
30	1,957	1,046	591		20	240	160

【外用薬】

年度	アンペック坐剤	アンペック坐剤	デュロテップ MTパッチ	フェントス テープ	フェントス テープ	フェントス テープ	フェントス テープ	フェントス テープ
	10mg(個)	20mg(個)	2.1mg(枚)	1mg(枚)	2mg(枚)	4mg(枚)	6mg(枚)	8mg(枚)
28	258	20	60	1,621	648	151	404	133
29	171	73	0	1,723	772	203	461	17
30	265	58	11	1,165	947	199	447	70

【注射薬】

年度	塩酸モルヒネ	塩酸モルヒネ	塩酸モルヒネ	オキファスト	ペチジン	フェンタニル	アルチバ	ケタラール 静注用
	10mg(A)	50mg(A)	200mg(A)	10mg(A)	35mg(A)	0.1mg(A)	2mg(V)	200mg(V)
28	958	374	97		1,572	5,909	1,243	4
29	873	259	25		1,427	5,565	1,090	2
30	842	197	12	22	1,601	5,957	1,291	0

(5) 注射薬

区分 年度	室温保存品				冷所保存品			合計(本数)
	100mL未満	100mL～ 500mL未満	500mL以上	計(本数)	100mL未満	100mL以上	計(本数)	
28	222,705	48,549	74,017	345,271	10,776	141	10,917	356,188
29	209,490	43,810	68,466	321,766	8,708	10	8,718	330,484
30	236,769	42,885	69,912	349,566	8,519	108	8,627	358,193

(6) 採用品目数

年度	内用	外用	注射	計
28	597	220	487	1304
29	603	219	490	1312
30	593	216	489	1298

(7) 後発品移行状況(後発品採用品目数)

年度	内用	外用	注射	計	総採用数	後発品採用率
28	60	15	32	107	1304	8.21%
29	81	17	36	134	1312	10.21%
30	174	48	108	330	1298	25.42%

(8) 医薬品情報(DI)業務

(単位:件)

年度	問い合わせ件数	錠剤鑑別数
28	2,070	2,216
29	2,125	2,210
30	2,047	2,248

(9) 薬剤管理指導業務

30年度	指導患者数(人)	全指導数(件)	薬剤管理指導料(件)	薬剤管理算定回数 of 患者数(人)				退院時薬剤情報管理指導料(件)	麻薬加算(件)
				1回	2回	3回	4回		
4月	301	411	323	239	34	4	1	85	4
5月	302	438	344	242	35	8	2	103	2
6月	342	515	386	254	50	8	2	113	4
7月	372	584	453	272	69	13	1	153	7
8月	395	634	468	298	66	10	2	154	3
9月	314	455	350	223	45	11	1	131	3
10月	364	596	464	275	60	11	9	149	2
11月	374	662	476	260	68	20	5	156	5
12月	360	645	465	263	61	20	5	183	2
1月	377	679	515	260	68	29	8	156	6
2月	351	584	443	274	56	19	5	168	2
3月	361	593	458	253	84	7	4	192	5
累 計	4213	6796	5145	3113	696	160	45	1743	45

(10) 薬剤管理指導・関連業務収益

区分	28年度	29年度	30年度
薬剤管理指導業務算定件数	4,143	3,881	5,145
〃 収益(円)	13,851,950	13,024,650	17,269,050
退院指導(加算)件数	724	795	1,743
〃 収益(円)	651,600	715,500	1,568,700
麻薬指導(加算)件数	64	40	45
〃 収益(円)	32,000	20,000	22,500
合計収益(円)	14,535,550	13,760,150	18,860,250
病棟薬剤業務実施加算件数		1,905	11,783

※平成30年2月より開始

(11) 無菌製剤業務(抗がん剤混合等)

(単位:件)

年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
28	323	270	300	266	282	362	298	300	220	305	287	391	3,604
29	296	293	270	228	314	288	270	345	221	244	214	230	3,213
30	175	199	179	235	254	220	226	249	244	268	275	240	2,764

(12) 実習生受入状況

年度	Ⅰ期(5月～7月)		Ⅱ期(9月～11月)		Ⅲ期(1月～3月)	
28	各1名	昭和薬科大学・星薬科大学	各1名	昭和薬科大学・横浜薬科大学	各1名	昭和薬科大学・横浜薬科大学
29	各1名	昭和薬科大学・星薬科大学	各1名	昭和薬科大学・横浜薬科大学	各1名	昭和薬科大学・横浜薬科大学
30	各1名	昭和薬科大学・星薬科大学	各1名	昭和薬科大学・横浜薬科大学	各1名	昭和薬科大学・横浜薬科大学

8 地域医療センター業務

地域医療センターは、地域医療連携室・総合診療部・救命救急部・入退院支援センターを運営をしています。

【地域医療連携室】

(1) 地域医療連携室業務実績の推移と地域活動の状況〔医療連携業務〕

①紹介患者データベース作成と管理

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
紹介受数	5,265	5,188	5,592
紹介出数	5,014	5,034	5,722
平均返信率	91.02%	92.00%	97.20%
平均紹介率	50.30%	56.00%	64.30%

②紹介予約診療（FAXによる紹介予約件数）

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
診療予約件数	433件	535件	506件
内視鏡予約件数	26件	45件	40件
エコー予約件数	6件	5件	10件

③高度医療機器共同利用の件数

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
MR I	48（人）	60（人）	66（人）
C T	189（人）	179（人）	198（人）
骨密度	0（人）	0（人）	7（人）
計	237（人）	239（人）	271（人）

*平成30年11月より骨密度開始

④近隣地域の医療機関・施設への訪問（連携医療機関・施設196箇所）

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
訪問件数	45件	62件	61件

⑤脳卒中地域連携パス

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
地域連携件数	22件	19件	18件

⑥大腿骨近位部骨折地域連携パス

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
地域連携件数	55件	80件	65件

*平成28年2月より開始

⑦肝疾患地域連携パス

	平成29年度	平成30年度
地域連携件数	24件	25件

*平成29年4月より開始

⑧歯科医師会との連携（周術期口腔機能管理件数）

	平成29年度		平成30年度	
	術前	術後	術前	術後
管理Ⅰ（がん等にかかわる手術を実施する外来患者）	79	0	47	4
管理Ⅱ（がん等にかかわる手術を実施する入院患者）	80	100	145	116
管理Ⅲ（放射線治療や化学療法を実施する患者）	31		16	

*平成28年10月より開始

⑨地域薬剤連携・地域栄養相談・地域リハビリ相談

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
地域薬剤連携 薬剤連携会議	4	4	4
地域栄養相談件数	入院1・外来7 栄養サマリー2	入院14・外来4 栄養サマリー1	入院0・外来0 栄養サマリー0
地域糖尿病栄養相談件数	2	1	1
地域リハビリ相談件数	8	4	6

[看護保健部門・医療福祉部門の業務]

受診援助、退院後の療養の早期準備、地域との継続的・協働的な療養相談、在宅療養での救急対応、医療・福祉サービスの相談などの実践

医療福祉相談依頼件数	平成28年度	平成29年度	平成30年度
入院	1,612人 延べ業務数25,571	1,681人 延べ業務数19,663	2,339人 延べ業務数14,011
外来 ※平成30年度より外来表記			延べ373人 延べ業務数880

[地域連への広報活動]

- ・病院情報誌「かけはし」年3回発行（59号～61号）発行部数 各2000部
地域行政機関・医療機関・福祉施設・訪問看護ステーションなど204箇所配布
インターネットへ「かけはし」の掲載 正面玄関など院内各所へ設置
- ・研修会・研究会案内作成・発送
- ・病院・医院・施設等訪問・・・61箇所
- ・足柄歯科医師会との連携

[研修会・研究会を通じての地域との交流]

医療・介護地域連絡会・・・6回

※平成29年度より足柄上地区在宅医療・介護支援センターと共催で実施

地域薬剤師会地域医療連携会議への出席・・・4回

[看護保健部門 医療福祉部門の主な地域関連]

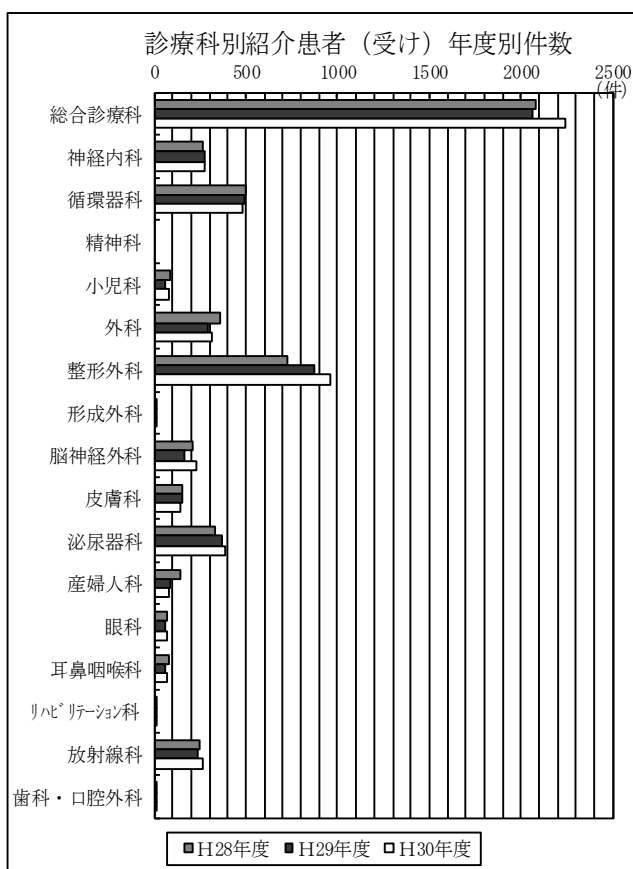
院外連携会議・・・31回

[その他]

医療通訳派遣システム事業・・・7件

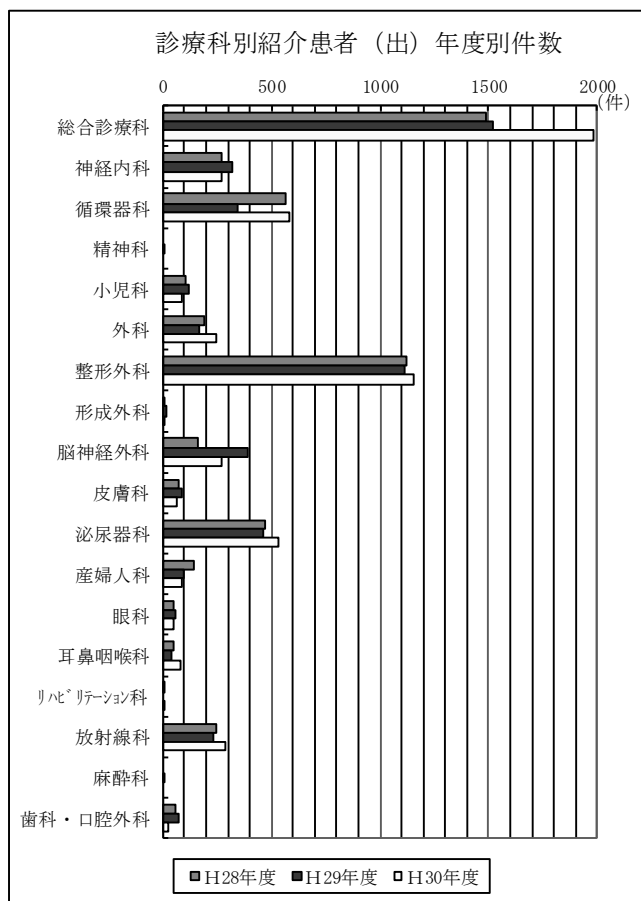
(2) 診療科別紹介患者（受け）件数

診療科	H28年度	H29年度	H30年度
総合診療科	2,085	2,061	2,243
神経内科	265	273	277
循環器科	497	486	480
精神科	0	0	0
小児科	84	61	78
外科	357	295	315
整形外科	723	870	959
形成外科	14	7	3
脳神経外科	213	166	226
皮膚科	153	150	144
泌尿器科	334	367	385
産婦人科	146	90	78
眼科	69	59	68
耳鼻咽喉科	74	64	68
リハビリテーション科	4	3	3
放射線科	245	235	264
歯科・口腔外科	2	1	1
合計	5,265	5,188	5,592



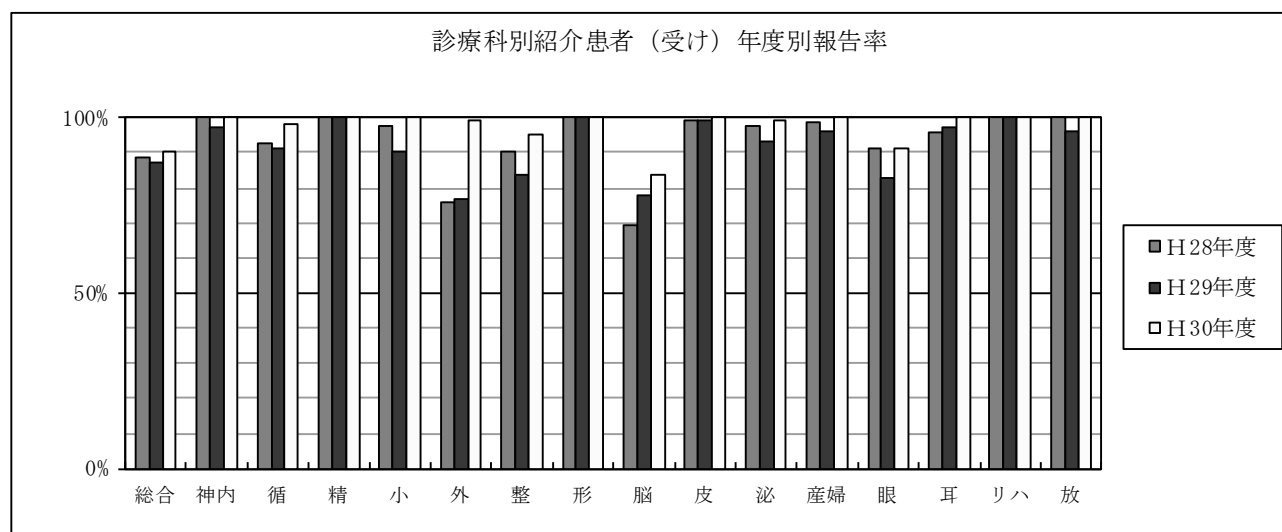
(3) 診療科別紹介患者（出し）件数

診療科	H28年度	H29年度	H30年度
総合診療科	1,492	1,519	1,981
神経内科	273	317	275
循環器科	567	341	579
精神科	0	4	0
小児科	106	122	86
外科	195	167	250
整形外科	1,119	1,115	1,156
形成外科	9	14	2
脳神経外科	164	387	274
皮膚科	75	89	61
泌尿器科	469	465	534
産婦人科	145	96	87
眼科	48	55	51
耳鼻咽喉科	45	41	77
リハビリテーション科	4	0	2
放射線科	245	232	285
麻酔科	0	1	0
歯科・口腔外科	58	69	22
合計	5,014	5,034	5,722



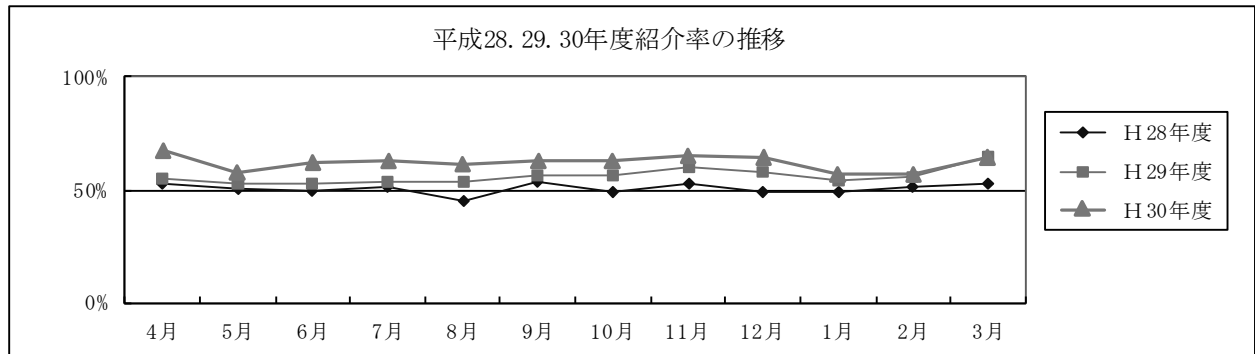
(4) 診療科別紹介患者報告率

報告率	総合	神内	循	精	小	外	整	形	脳	皮	泌	産婦	眼	耳	リハ	放	歯科	平均
H28年度	89%	100%	93%	100%	98%	76%	90%	100%	70%	99%	98%	99%	91%	96%	100%	100%	50%	91%
H29年度	87%	97%	91%	100%	90%	77%	84%	100%	78%	99%	93%	96%	83%	97%	100%	96%	100%	92%
H30年度	90%	100%	98%	100%	100%	99%	95%	100%	84%	100%	99%	100%	91%	100%	100%	100%	100%	97%



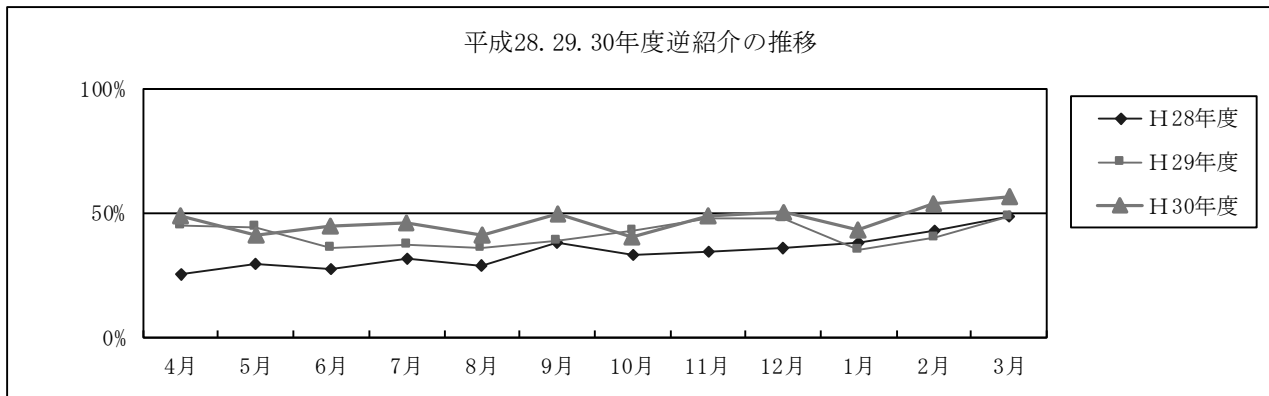
(5) 紹介率の推移

紹介率	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
H28年度	52.7%	50.2%	49.5%	51.1%	45.0%	53.3%	49.0%	52.9%	48.7%	48.7%	51.5%	52.5%	50.3%
H29年度	55.1%	52.6%	52.6%	53.6%	53.5%	56.6%	56.7%	60.2%	58.0%	54.3%	56.0%	65.0%	56.0%
H30年度	67.3%	57.2%	61.8%	62.7%	61.3%	62.9%	63.2%	64.9%	64.6%	57.1%	57.2%	64.3%	61.9%



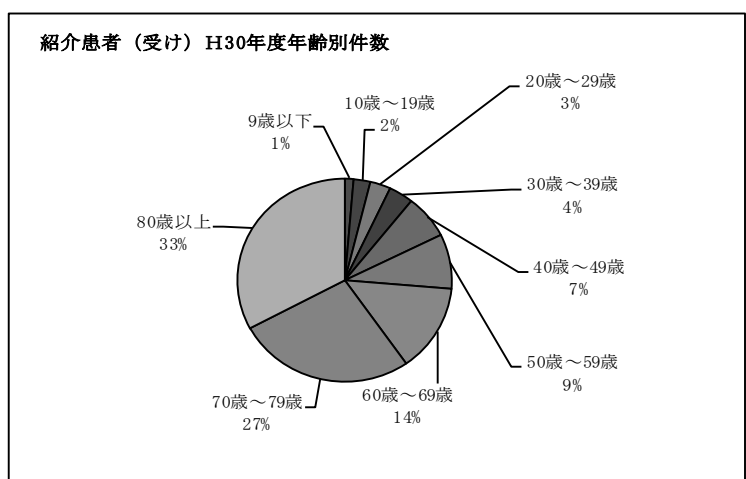
(6) 逆紹介率の推移

逆紹介率	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
H28年度	25.6%	29.6%	27.4%	31.4%	28.6%	38.0%	33.2%	34.5%	35.9%	38.1%	43.3%	48.4%	34.2%
H29年度	45.0%	44.6%	36.2%	37.5%	35.9%	38.8%	43.2%	47.7%	48.2%	35.5%	40.0%	48.8%	41.5%
H30年度	48.7%	41.3%	44.5%	45.9%	41.0%	49.9%	40.3%	49.1%	50.4%	43.4%	53.9%	56.8%	47.7%



(7) 紹介患者（受け）年齢別件数

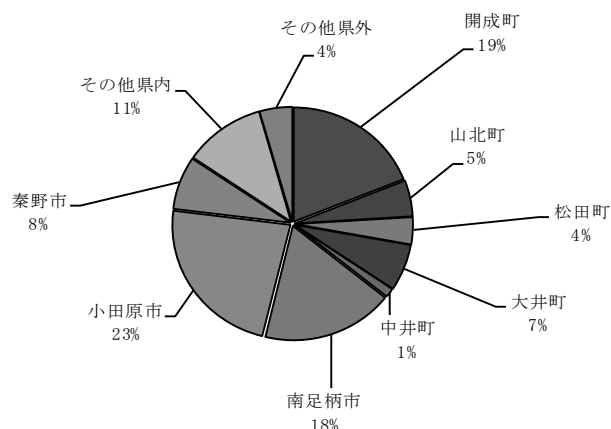
年齢	H28年度	H29年度	H30年度
9歳以下	96	87	75
10歳～19歳	164	131	140
20歳～29歳	146	134	178
30歳～39歳	244	195	204
40歳～49歳	414	359	391
50歳～59歳	487	461	487
60歳～69歳	943	832	777
70歳～79歳	1,295	1,377	1,504
80歳以上	1,476	1,612	1,836
計	5,265	5,188	5,592



(8) 紹介患者（受け）地域別件数

市町村	H28年度	H29年度	H30年度
開成町	667	755	1,061
山北町	553	552	285
松田町	505	455	216
大井町	601	541	364
中井町	53	46	75
南足柄市	1,312	1,317	1,008
小田原市	739	787	1,297
秦野市	422	410	419
その他県内	239	176	621
その他県外	174	149	246
計	5,265	5,188	5,592

紹介患者（受け）H30年度年度地域別件数

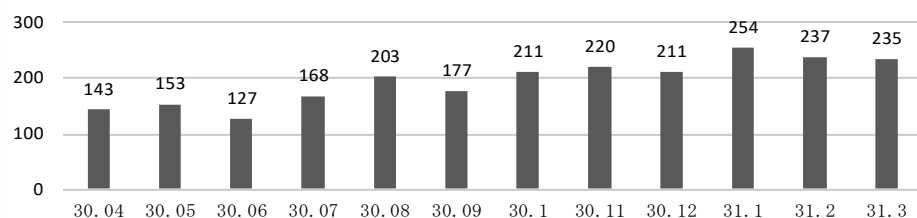


(9) 相談依頼受付状況

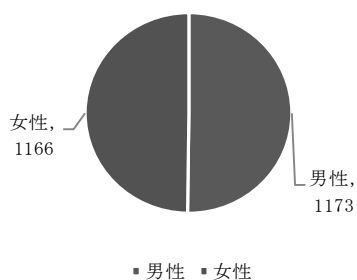
年齢群別

8歳～29歳	14
30歳～39歳	7
40歳～64歳	215
65歳～74歳	392
75歳～84歳	840
85歳～94歳	761
95歳以上	110
合計	2,339
平均年齢	79.2歳

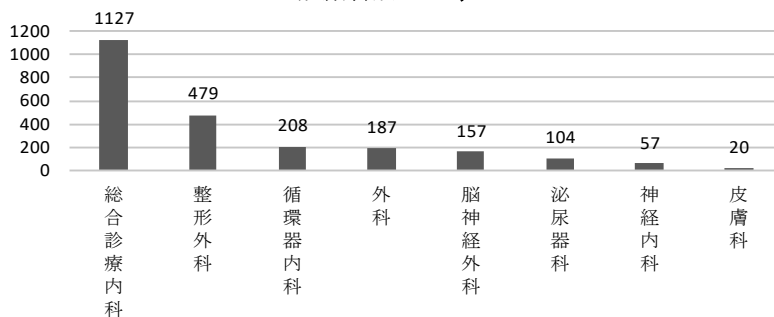
月別新規受付件数N=2,339



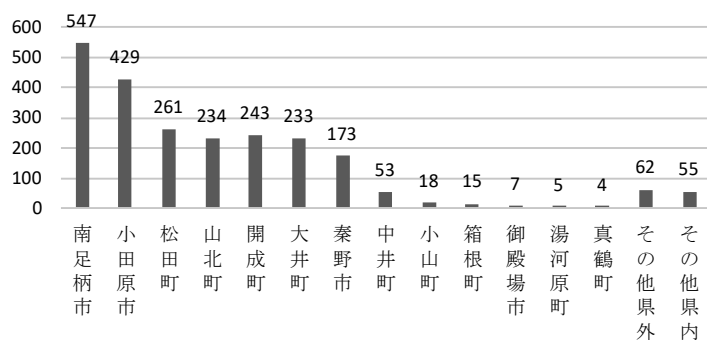
性別N=2,339



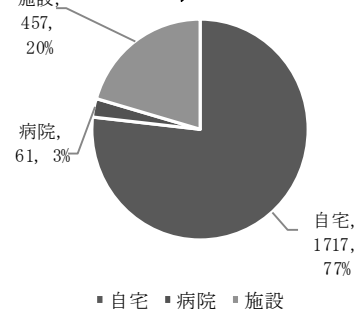
診療科別N=2,339

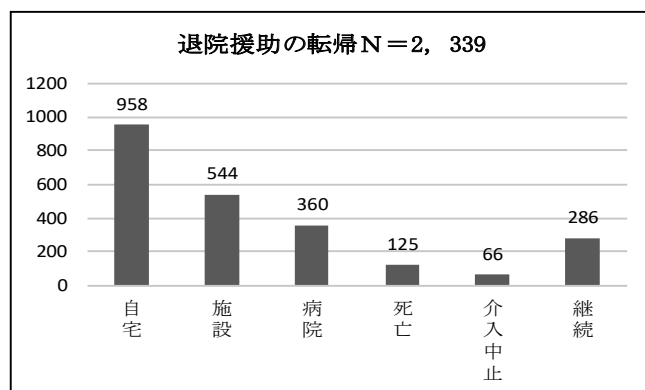
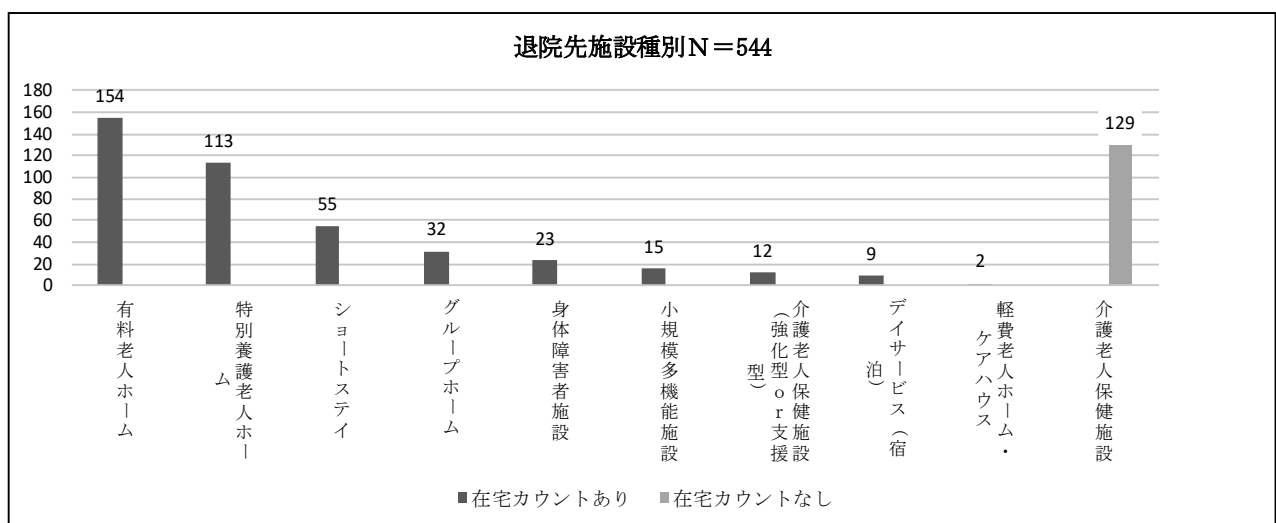
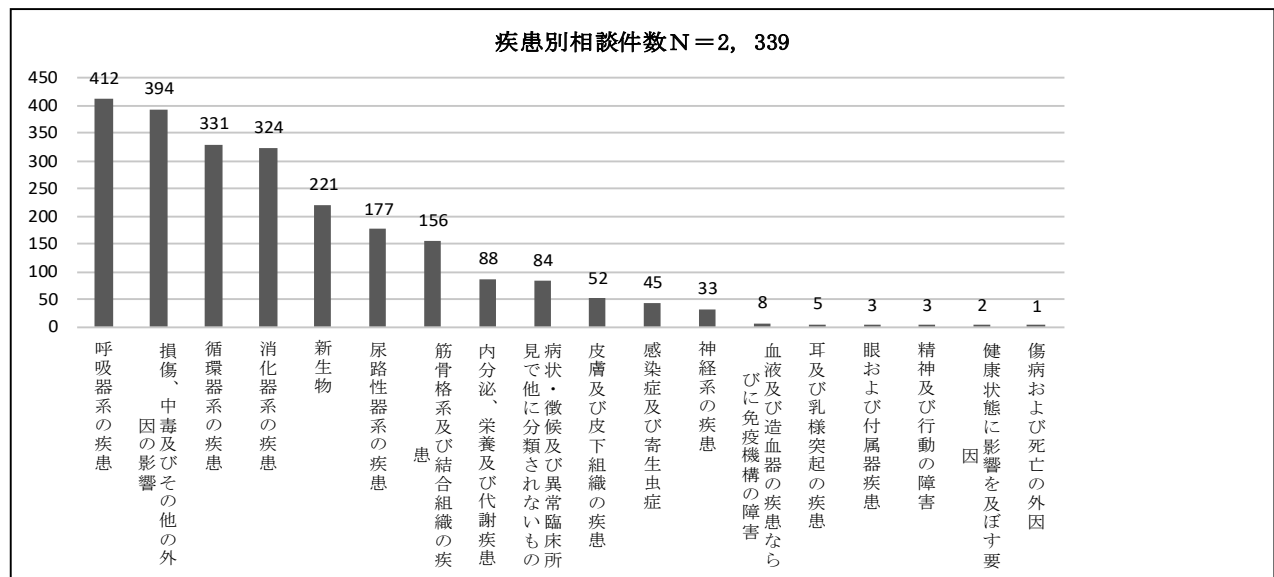


地域別N=2,339



65歳以上の入院前種別
N=2,235





(10) 神奈川県在宅難病患者受入病床確保事業・受入状況

受入疾患

パーキンソン病	2名
多系統萎縮症	3名
多巣性運動ニューロパチー	1名
大脳皮室基底核変性症	2名
混合性結合組織病	2名
筋萎縮性側索硬化症	1名

入院日数	90日
延べ人数	11人
実人数	6人
入院前訪問	0人
18, 670円（1人当たり）× 90日	= 1, 680, 300円
診療報酬	3, 620, 620円
合計	5, 300, 920円

(11) 患者さん相談室活動状況

1 平成 30 年度相談件数

～相談 6 割、苦情 4 割～

平成 30 年度の相談総数は 127 件で、その内訳は、D「相談」が 78 件（61%）で最も多く、次は A「職員個人に対する苦情・意見」が 23 件（18%）であった（表 1、図 1）。

A「職員個人に対する苦情・意見」及び B「特定の部署、職種に関する苦情・意見」の内訳としては、「接遇」、「説明の不足」、「倫理的な問題」の合計が 5 割を占める（図 2）。

経年変化をみると、平成 30 年度の相談総数は平成 23 年度と並び、過去 8 年間で最も少なかった。内訳では、前年度に比べ D「相談」が 5 件（7%）増加し、A「職員個人に対する苦情・意見」、B「特定の部署、職種に関する苦情・意見」及び C「病院への要望」の合計が 19 件（30%）減少している（図 3）。

患者さん相談室としては、患者さんの相談を整理し、早期の問題解決に努めた。今後も患者さんからの相談を伺い、患者さんと職員の相互理解の促進に向けて支援していきたい。

表 1 平成 30 年度 相談総数内訳

項目	件数
A 職員個人に対する苦情・意見	23
1 接遇（態度、言葉遣い、表情など）	6
2 説明の不足、または説明内容	4
3 コミュニケーション、人間関係	4
4 他のスタッフとの連携	0
5 治療・看護の内容	1
6 技術・手技的な問題	0
7 倫理的な問題	4
8 その他	4
B 特定の部署・職種に関する苦情・意見	11
1 接遇（態度、言葉遣い、表情など）	1
2 説明の不足、または説明内容	1
3 コミュニケーション、人間関係	0
4 チームの連携	1
5 治療・看護の内容	3
6 技術・手技的な問題	0
7 倫理的な問題	1
8 その他	4
C 病院への要望	11
1 病院の方針、姿勢、対応	1
2 施設・設備などハード面	2
3 診療などのシステム、体制（ソフト面）	5
4 療養環境としての快適性	0
5 その他	3
D 相談	78
E 感謝	0
F その他	4
合計	127

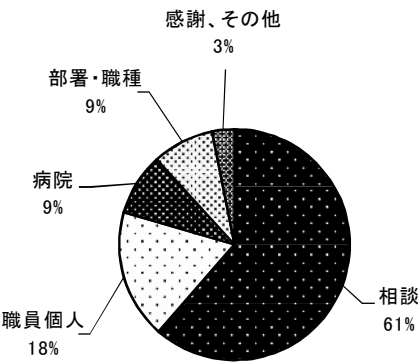


図1 平成30年度 相談総数内訳

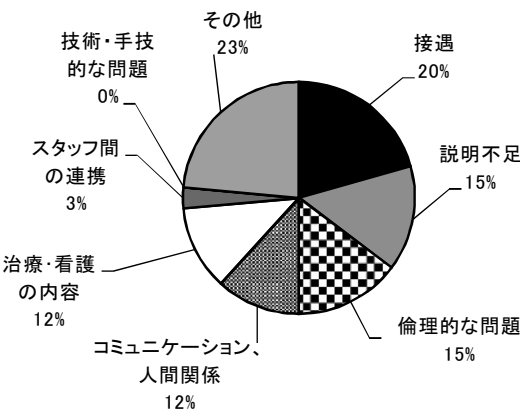


図2 平成30年度 苦情内容内訳

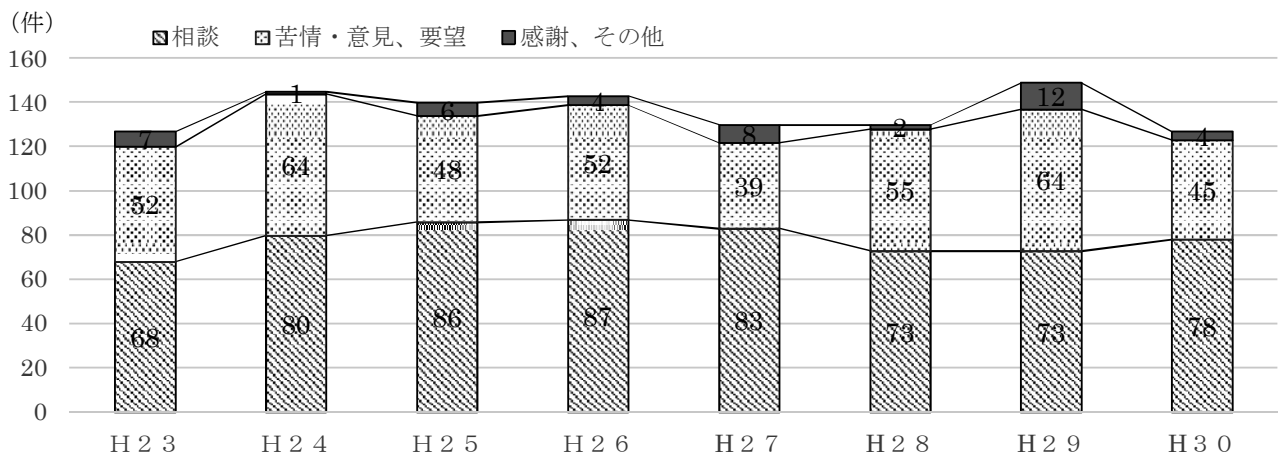


図3 相談件数内訳の経年変化

2 平成30年度投書件数

平成30年度はご意見箱（院内9箇所設置）に105件の投書が寄せられた。前年度に比べ20件（16%）減少している。内訳は、C「病院への要望」が全体の約半数を占め、A「職員個人に対する苦情」とB「特定の部署、職種に関する苦情」を加えると全体の7割を超える（表2、図4）。

感謝と苦情の割合は、当院の提供する医療や環境にご満足いただけているかを示す指標の一つである。患者さんやご家族にご満足いただける病院に近づくよう、より良い医療、環境づくりに努めていきたい。

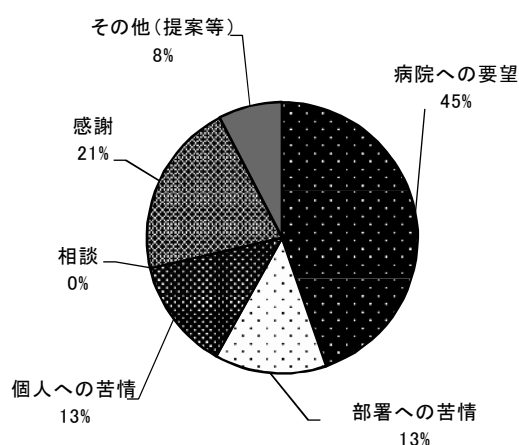


図4 平成30年度 投書内訳

表2 平成30年度 投書件数内訳

項目	件数
A 職員個人に対する苦情・意見	14
1 待遇(態度、言葉遣い、表情など)	9
2 説明の不足、または説明内容	1
3 コミュニケーション、人間関係	1
4 他のスタッフとの連携	0
5 治療・看護の内容	1
6 技術・手技的な問題	0
7 倫理的な問題	1
8 その他	1
B 特定の部署・職種に関する苦情・意見	14
1 待遇(態度、言葉遣い、表情など)	7
2 説明の不足、または説明内容	0
3 コミュニケーション、人間関係	1
4 チームの連携	1
5 治療・看護の内容	3
6 技術・手技的な問題	1
7 倫理的な問題	0
8 その他	1
C 病院への要望	47
1 病院の方針、姿勢、対応	0
2 施設・設備などハード面	12
3 診療などのシステム、体制(ソフト面)	13
4 療養環境としての快適性	17
5 その他	5
D 相談	0
E 感謝	22
F その他	8
合計	105

【入退院支援センター】

入院時から退院後の療養生活を視野に入れ、退院後に患者・家族の望む適切な場での療養先活の実現に向けて情報を収集し、患者・家族を支援する専門職種と情報の共有を図り、入院中早期から退院支援・退院調整を開始することを目的に活動している。それに伴い、入院関連業務の効率化にも取り組んでいる。

対応実績

＜緊急入院＞

実施内容：平日8:30～16:30までに入院が決定した緊急入院の方を対象に、入院前の生活状況や病歴の聴取、今後の療養生活に関する考え等を伺い、病棟や関連部署と情報を共有する。

実施者：入退院支援センター看護師

平成28年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
面談件数 (件)	105	115	137	126	132	132	109	134	130	112	120	128	1480
面談実施率 (%)	86.1	91.3	92.6	90.6	88	94.3	93.2	88.2	94.2	88.9	96.8	92.8	91.5
平均面談数/日	5.3	6.1	6.2	6.3	6.0	6.6	5.5	6.7	6.8	5.9	6.0	5.8	6.0

平成29年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
面談件数 (件)	116	98	138	93	106	101	102	90	88	113	113	123	1281
面談実施率 (%)	85.3	81.0	84.1	79.5	74.6	79.5	77.9	71.4	71.5	88.3	86.3	83.1	80.4
平均面談数/日	5.8	4.9	6.3	4.7	4.8	5.1	4.9	4.5	4.4	5.9	5.9	5.9	5.3

平成30年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
面談件数 (件)	124 (※4)	173 (※33)	170 (※22)	169 (※19)	185 (※16)	140 (※19)	155 (※17)	140 (※17)	153 (※12)	140 (※11)	147 (※12)	140 (※13)	1836 (※195)
面談実施率(%)	93.2	96.6	96.6	96.6	94.9	95.0	96.9	94.0	90.0	95.2	99.3	91.5	95.0
平均面談数/日	6.2	8.2	8.1	8.0	8.0	7.8	7.0	6.7	8.1	6.7	7.7	7.0	7.5

※16:30以降に入院が決定した緊急入院の面談件数

＜予約入院＞

実施内容：入院時持参書類への記載がされているかの確認をする。記載漏れがある場合はその場で追記載を促し、書類を完成させ、病棟へ送り出す。

実施者：医事課職員およびクラーク

平成28年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
件数	14	15	19	18	13	18	36	28	22	21	22	77	303

平成29年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
件数	117	126	119	100	142	142	145	111	146	98	124	131	1501

平成30年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
件数	153	124	137	138	151	125	172	171	131	151	136	118	1707

＜入院時支援＞

実施内容：下記対象者に対して、入院前の外来通院期間中に治療内容の説明や入院生活に関するオリエンテーション、入院前生活状況の把握、退院困難要因のスクリーニング、多職種介入による支援を行う

実施者：医事課職員、クラークおよび看護師

対象者については、4月下旬より泌尿器科の全麻・腰麻下手術目的患者、7月中旬より整形外科人工膝関節置換術目的患者、9月より整形外科全件、10月より脳神経外科全件、12月より外科手術目的患者と、段階的に拡大した

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
件数	4	10	8	12	14	42	50	57	59	92	73	69	490
泌尿器科	4	10	8	11	13	16	9	17	7	21	13	12	141
整形外科				1	1	26	33	29	23	38	31	29	211
脳神経外科							8	11	11	6	11	8	55
外科									18	27	18	20	45
平均面談数/日		1.0	0.7	1.0	1.3	2.8	3.6	4.0	3.9	4.4	3.8	3.5	

【在宅療養支援部門】

在宅療養後方支援契約状況

1. 契約数

平成28年	43名
平成29年	36名
平成30年	22名

※契約前の死亡例は除く

2. 後方支援契約前に、急変等により当院からの訪問で在宅看取りを行った回数

平成28年	1名
平成29年	7名
平成30年	8名

3. 診療科別数

平成28年	内科	42名
	循環器内科	7名
平成29年	内科	33名
	循環器内科	3名
平成30年	内科	22名

4. 訪問診療回数

平成28年	63回
平成29年	92回
平成30年	176回

5. 軽症在宅短期パス使用数

平成28年	8名	総訪問回数	24回
平成29年	21名	総訪問回数	41回
平成30年	43名	総訪問回数	74回

※平成28年度開始

【救命救急部門】

1. 救急患者のうち救急車で搬送された患者

平成28年度	2,793名
平成29年度	3,164名
平成30年度	3,496名

2. 救急患者数(第3章 患者の概況(8)救急患者取扱状況 参照)

9 看護局業務

(1) 看護局ミッション

地域住民の健康な生活を支え、地域に根ざし信頼される看護を提供します。

(2) 看護局ビジョン

- 1 患者さん、地域の方にとって信頼される安全で安心な医療を提供すると共に、患者さん中心の看護を探求します。
- 2 組織は人なりという考えに立ち、組織人として期待される責務を果たすという信頼関係を基盤とし、相互に人を大切にする組織運営に努めます。
- 3 組織の方針に寄与し、めざす看護を実践し、キャリア形成を主体的に行う自立した看護師の育成を目指します。

(3) 平成 30 年度 看護局目標

- 1 安全で安心な看護の提供
- 2 円滑な病床管理
- 3 教育体制の充実
- 4 魅力ある職場環境づくり

(4) 平成 30 年度 看護局目標評価

ア 安全で安心な看護の提供

ベッドサイドを中心とした看護の提供、他職種と安全な療養環境の共創、高齢者看護の充実等に取り組んだ。

平成 30 年 2 月に電子カルテが導入され、ベッドサイドで記録ができるようになったことから、セル看護提供方式®を参考にして、エリアを決めてペアで看護を行う足柄式看護提供体制を整え、ベッドサイドを中心とした業務方法に転換した。これにより業務のスリム化が図られ、ナースステーションから離れた病室の患者対応がスムーズになり、日勤ではベッドサイドにいる時間が増加し、転倒転落の予防にもつながる等の効果があった。

内服管理や食事提供体制、感染対策、転倒転落防止などの安全対策については、「他職種と共創する」という視点をもって他職種を交えて検討し、共に 1 つの仕事を成し遂げる（共創）という意識を持てるようにした。

また、高齢者看護の充実を図るために、高齢者の摂食嚥下に焦点をあてた学習会の開催や、認知症ケアマニュアルの作成に取り組んだ。そして、「看護の視点を軸に捉えなおす」ことを重点に置き、ヘンダーソンの看護理論を活用した看護展開の浸透を図った。

イ 円滑な病床管理

入院前から退院を見据えた看護システムの構築、断らない救急受け入れ体制の強化等に取り組んだ。病棟スタッフによる入退院支援を強化するため、入退院支援リンクナースを配置し、地域医療連携室主導のもと、入退院支援の標準化、訪問看護ステーションにおける交流研修を通して相互理解を深めた。

また、足柄式看護提供体制を実践して“空床があれば受け入れる”という看護科長の病床管理は、スタッフの意識改革に繋がった。その結果、ナースステーションから離れた病床が活用でき、救急患者受け入れ個室の回転が改善し、病床利用率が昨年度の 76.6%から 83.1%に上昇した。

ウ 教育体制の充実

「キャリア形成の手引き」の改定、看護師教育支援ガイドの作成、新人教育体制の充実等に取り組んだ。PNS®を参考にした教育体制にしてから 3 年が経過し、改めて看護局の理念と地域や看護職員構成等の特徴を踏まえて、継続教育のあり方について検討した。患者とのかかわりを通した日々の看護実践こそが、新たなケアを創造し、一人ひとりの能力を伸ばしていく土台になるという考えを基盤にした「足柄式教育体制」を再構築した。そして、院内研修や分散教育は OJT を基盤とした方法に見直し、各研修支援ガイド、看護師教育支援ガイドを新たに作成し運用した。

エ 魅力ある職場環境づくり

働きやすい職場環境の整備、看護職員確保・定着対策の強化等に取り組んだ。

働きやすい職場環境の整備については、働き方改革関連法や日本看護協会の夜勤・交代制勤務に関するガイドラインと照らして課題を抽出した。3交代の勤務インターバルの確保は、職員個々の事情に配慮しながら正循環や2交代への移行を進めた。これは看護職員夜間配置加算の施設要件の充足となり、5A、5B病棟の夜勤を4人体制に変更して夜間看護業務の負担軽減を図ることができた。

また、2交代の夜勤拘束時間短縮に向けて、各勤務帯の業務の見直しを進めるなど継続的に検討を進めることにした。また、看護補助者の定着を促進するために、看護科長代理が中心となって看護補助者の業務内容を安全の視点から評価し、やりがいをもって働けるように、看護補助者と定期的に話し合う場づくりをした。

(5) 看護外来業務

外来では、医師・看護師・薬剤師・栄養士・臨床心理士など多職種が協働して患者の療養生活を支えている。その中において看護師も、専門的知識・技術を活かし看護ケアを行っている。フットケア外来では、糖尿病療養指導士の資格を持つ看護師が糖尿病患者の足病変に対するケアを行い、糖尿病一日教室でもフットケアを実施している。また、皮膚排泄ケア認定看護師による相談室を開設し、日常生活に合わせたケアの方法などを患者家族と共に考え、専門的できめ細やかな指導を行っている。

(人)

区分 年度	フットケア外来	糖尿病1日教室	ストーマ外来
28年度	2	15	91
29年度	2	21	169
30年度	1	11	214

平成 30 年度 院内研修実績

段階	研修名	目的・目標	方法	人数
採用時研修	新採用看護職員 採用時研修	病院の組織・環境・業務に早く適応できるよう、当院の概要を知る 専門職業人としての自覚を持つ 安全な看護実践のための具体的な方法を学ぶ	講義・演習・GW	39
	リフレッシュ研修	2ヶ月間の体験を振り返り、気持ちをリフレッシュし、今後への意欲がもてる	散策・語り	25
	ステップ共通	看護実践における倫理課題に気づき、その解決に向けた行動がわかる	講義	10
ステップⅠ	実践 看護過程Ⅰ	患者を生活者として捉えるために、情報の分類・整理の方法がわかる 指導を受けながらアセスメントの考え方がわかる	講義、GW	25
	実践／教育 社会人の学習方法	働きながら、学習する方法がわかる	講義	25
	看護技術	基礎的な知識・技術がわかる	講義、演習	25
	管理 メンバーシップ研修	メンバーシップ能力を養う	シャドウイング	25
ステップⅡ	実践 看護過程Ⅱ	根拠に基づいた看護過程の展開ができる	事例展開、発表	13
	教育 後輩育成Ⅰ	後輩に関心を持ち、関わるができる	講義、GW	9
	管理 リーダーシップ研修	リーダーシップ能力を養う	シャドウイング	14
ステップⅢ	実践 看護過程Ⅲ	個別に応じた看護過程が展開できる	事例展開、発表	13
	教育 後輩育成Ⅱ	レディネスをふまえた関わりとは何か考えることができる	講義、GW	14
	管理 役割研修Ⅰ	問題解決過程に必要なスキルを養う	交流研修 問題解決過程の展開 発表	13
ステップⅣ	実践／教育／管理 役割研修Ⅱ	看護局内の問題解決を通して問題解決能力を養う 問題解決に多職種を巻き込みながら、取り組むことができる	交流研修 問題解決過程の展開 発表	9

あしかみベーシック

当院に特化した共通項目でベーシックとして学んでいくもの

日 程	テーマ	人数
10 月 10 日	高齢者の摂食嚥下について（食事編）	24
10 月 22 日	地域特性をふまえた当院の役割と地域医療連携の実際	19
11 月 12 日	高齢者の摂食嚥下について（薬剤編）	26
12 月 7 日	高齢者の摂食嚥下について（口腔ケア編）	19

平成 30 年度 オープンセミナー開催実績

研修名	開催日	講師	人数
がんの痛みをアセスメントできる！ ～基礎編～	9 月 28 日	がん性疼痛看護認定看護師 善波いづみ	13
全人的苦痛の考え方 ～症状コントロールが難しい がん患者にどう向き合うか～	10 月 3 日	緩和ケア認定看護師 曾我輝之 山口ひろみ 桐生光代	11
がんの痛みをアセスメントできる！ ～薬剤編～	10 月 26 日	がん性疼痛看護認定看護師 丸岡陽子	11
がんの痛みをアセスメントできる！ ～実践編～	11 月 30 日	がん性疼痛看護認定看護師 香川仁美	7

平成 30 年度 学会・院外研修参加実績

<学会>

学 会 名 (分 野)	開催地	開 催 日	人数
日本クリティカルケア看護学会 学術集会	東京	6 月 30 日、7 月 1 日	1
日本災害看護学会 日本看護学会 学術集会 急性期看護	兵庫	8 月 10、11 日	1
日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会	宮城	9 月 8、9 日	1
日本褥瘡学会学術集会	神奈川	9 月 28、29 日	2
日本クリニカルパス学会学術集会	北海道	10 月 12、13 日	2
日本死の臨床研究会年次大会	新潟	12 月 8、9 日	1
日本集団災害医学会総会	鳥取	3 月 18～20 日	1

<長期研修派遣>

受 講 分 野	日 程	人数
教員・教育担当者養成過程 看護コース 神奈川県立保健福祉大学実践教育センター	4 月～3 月	1
保健師助産師看護師実習指導者講習会 神奈川県立保健福祉大学実践教育センター	5 月～11 月	1
保健師助産師看護師実習指導者講習会 東海大学健康科学部看護学科	9 月～12 月	1

保健師助産師看護師実習指導者講習会 横浜市立大学医学部看護学科	8月～12月	1
看護師実習指導者講習会 昭和大学保健医療学部	8月～12月	1
認定看護師教育課程 認知症看護コース 聖路加国際大学 教育センター 生涯教育学部	4月～3月	1
特定行為研修秋期入学コース F 慢性疾患管理モデル 日本看護協会 看護研修学校	9月～3月	1
家族看護学 CNS コース 東海大学大学院健康科学研究科	4月～（研修中）	1
認定看護管理者教育課程ファーストレベル 神奈川県立保健福祉大学実践教育センター	4月～9月	1
認定看護管理者教育課程セカンドレベル 神奈川県看護協会	10月～3月	1
認定看護管理者教育課程セカンドレベル 神奈川県立保健福祉大学実践教育センター	10月～3月	1
認定看護管理者教育課程セカンドレベル 昭和大学看護キャリア開発・研究センター	5月～9月	1
認定看護管理者教育課程サードレベル 神奈川県立保健福祉大学実践教育センター	6月～10月	1
医療安全管理者養成研修 神奈川県立保健福祉大学実践教育センター	10月～2月	1
医療安全管理者養成研修 神奈川県看護協会	11月～12月	1

<神奈川県立病院機構 看護職員研修>

コース名	日 程	会 場	人数
医療安全	6月7日 10月25日	神奈川県立病院機構本部	2
看護倫理・臨床倫理	6月25日 9月27日	神奈川県立病院機構本部	3
人材育成	6月28日 10月19日	神奈川県立病院機構本部	5
問題解決・リーダーシップ	6月8日 10月26日	神奈川県立病院機構本部	1

<神奈川県立病院機構 看護職員交流研修>

場 所	研 修 内 容	日 程	人数
神奈川県立精神医療センター	看護師実務研修	1月～（研修中）	1

<交流研修>

研 修 場 所	研 修 内 容	日 程	人 数
神奈川県立がんセンター	ステップⅢ研修	7月17、30日	1
神奈川県立がんセンター	ステップⅣ研修	9月6、25日	1
神奈川県立循環器呼吸器病センター	ステップⅣ研修	9月11、21日 10月22日 11月13日	1
神奈川県立循環器呼吸器病センター	ステップⅣ研修	10月22日	1
小田原市立病院	ステップⅣ研修	9月6日	1
小田原市立病院	ステップⅣ研修	9月12日	1
聖マリアンナ医科大学病院	ステップⅣ研修	9月25日	2
小田原市立病院	看護科長研修	9月6日	2
小田原市立病院	看護科長研修	9月30日	1
横浜労災病院	看護科長研修	9月19日	1
保土ヶ谷区医師会	看護科長研修	9月19日	1
済生会横浜市東部病院	看護科長研修	10月4日	1
聖ヨハネ会桜町病院	看護科長研修	10月15日	1
東海大学医学部附属病院	看護科長研修	10月24日	1
厚木市立病院	看護科長研修	11月6日	1
神奈川リハビリテーション病院	看護科長研修	11月28日	1
南足柄市訪問看護ステーション	訪問看護ステーション研修	7～9月（各1日）	3
足柄上医師会訪問看護ステーション	訪問看護ステーション研修	7～9月（各1日）	3
鶴巻訪問看護ステーションあしがら	訪問看護ステーション研修	7月（各1日）	2
訪問看護ファミリー・ホスピス小田原	訪問看護ステーション研修	9月（各1日）	2

<神奈川県看護協会>

会場：神奈川県総合医療会館

研 修 名	日 程	人 数
入院から行う退院支援 ～ベッドサイドから地域へ～	6月1日	1

褥瘡ケアの実際	6月25日	1
わかりやすい栄養管理 ～栄養代謝のアセスメントとチームアプローチ～	7月2日	2
看護補助者活用推進研修①	6月5日	1
がん看護の基本～がん患者を支える看護の役割	9月28日	1
高齢者支援と認知症患者の看護②	9月13、14日	1
インターネット配信研修 認知症高齢者の看護実践に必要な知識	9月10、11日	3
地域包括ケアシステムにおける外来看護の役割	9月22日	1
急変を予測したフィジカルアセスメント①	11月6日	1
コミュニケーションⅡ ～チームリーダーのためのコミュニケーション～	11月21、22日	1

<その他の研修>

主 催	研 修 名	日 程	人数
日本麻酔科学会	周術期管理チームセミナー	5月19日	1
神奈川ストーマ研究会	第34回神奈川ストーマリハビリテーション講習会	6月23、30日 7月1日	1
日本臨床看護マネジメント学会	重症度、医療・看護必要度院内指導者研修	6月24日	3
公益財団法人かながわ健康財団	神奈川県看護職員認知症対応力向上研修	7月31日 8月7、24、27、 31日	4
日本臨床倫理学会	臨床倫理認定士養成研修基礎編	9月30日 10月21日 11月4日	1

<その他、公開授業への参加、施設見学等>

研 修 場 所	研 修 内 容	日 程	人数
伊勢原協同病院	摂食嚥下チーム活動見学	7月19日	1
神奈川県立平塚看護大学校	なでしこ公開講座	7月30日	1
神奈川県立よこはま看護専門学校	老年看護学 公開授業	9月13日	1

平成 30 年度 実務研修受入実績

<看護職員交流研修等>

所 属	研 修 内 容	日 程	人数
神奈川県立がんセンター	看護師実務研修	8 月～3 月	1
神奈川県立精神医療センター	看護師実務研修	10 月～（研修中）	1
神奈川県立循環器呼吸器病センター	摂食・嚥下障害看護認定看護師の活動見学	10 月 24 日	1
神奈川県立こども医療センター	助産師実務研修	12 月～1 月	2
神奈川県立平塚看護大学校	ユニフィケーション（教員）システム	4 月～3 月	1

<高校生インターンシップ>

参加者	新名学園 旭丘高等学校 3 年生 2 名
日 程	9 月～11 月（計 8 日）
目 的	・生徒が自ら職業を学び、実際に職業体験を行い、実社会で学んだことをレポート作成、相互に発表学習をする中で、職業準備（労働観の育成）をおこなう ・実社会での様々な職業を体験することで、その経験とこれまでの学んできた知識の統一を図る
内 容	看護師または看護補助者のシャドウイングおよび一部体験（ベッドメイキング等）多職種（薬剤師、管理栄養士、放射線技師、臨床検査技師）のシャドウイング

<その他>

主 催 施 設	研 修 名	日 程	人数
草加市立病院	院内助産病棟見学	5 月 15 日	3
神奈川県看護協会	地域連携のための相互研修会	10 月 18 日	1
神奈川県立保健福祉大学 実践教育センター	教員・教育担当者養成過程看護コース 看護教育実習（臨地実習における授業）	11 月の 5 日間	1
八木病院	手術室看護研修	12 月 11 日	1
小田原市立病院	手術室部門システム見学	2 月 14 日	4

平成 30 年度 施設見学等 受入実績

< インターンシップ >

	日 程	人数	参加者の在籍校
第 1 回	4 月 14 日	3	神奈川県立よこはま看護専門学校
第 2 回	6 月 2 日	8	国際医療福祉大学、神奈川工科大学、厚木看護専門学校 静岡県立東部看護専門学校、たまプラーザ看護学校
第 3 回	8 月 3 日	20	神奈川県立平塚看護大学校、湘南平塚看護専門学校 神奈川県立よこはま看護専門学校、小澤高等看護学院
第 4 回	3 月 19 日	40	国際医療福祉大学、神奈川工科大学、東海大学 神奈川県立よこはま看護専門学校、おだわら看護専門学校

< 病院見学 >

月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
人数	0	0	0	2	1	0	2	0	0	0	0	3	8

平成 30 年度 高校生職業体験会 開催実績

< 高校生一日看護体験 >

対象者	高校生
日 程	7 月 27 日（金）
参加者	28 名（1～3 年生） 在籍校：県立山北高校、県立吉田島高校、県立小田原高校、県立小田原東高校、 県立西湘高校、県立秦野高校、県立茅ヶ崎北陵高校、県立伊勢原高校、 県立平塚中等教育学校、立花学園高校、新名学園旭丘高校、明德学園相洋高校、クラーク 記念国際高校
目 的	看護師を目指す地域の高校生が、体験を通してイメージを膨らませ進路選択に役立てられる
内 容	看護師の仕事について紹介、ユニフォーム更衣、病棟体験 手術室見学、ガウンテクニック体験、看護技術体験（点滴接続・滴下、ガーゼ固定） 看護師養成校の説明（県庁職員）

平成 30 年度 かもめのたまご計画（就職前支援）開催実績

対象者	当院の就職内定者（自由参加）
日 程	8 月 2 日、2 月 26 日（全 2 回）
目 的	入職前に新入職者同士の顔合わせができ職場環境を知ること、入職に対する不安が軽減する
参加者	第 1 回（8 月 2 日）：9 名 第 2 回（2 月 26 日）：7 名
内 容	第 1 回（8 月 2 日） ・顔合わせ、自己紹介 ・学習支援 e ラーニング（看護技術、国家試験過去問題集）の紹介 ・スキルラボ（演習室）の紹介 第 2 回（2 月 26 日） ・病棟体験、シャドウイング ・昼食会 ・公舎内覧 ※12 月～1 月にかけて、看護師国家試験の模擬試験を通信教育で実施

平成 30 年度 復職支援研修 開催実績

対象者	復職や転職を検討中の方、技術に不安がある方、最新の医療の動向に興味のある方
日 程	9 月 20 日、11 月 6 日（全 2 回）
参加者	延べ 5 名
目 的	復職や転職に対する不安を解消する
内 容	1. 医療・看護・福祉の動向 2. 安全対策について－最新の知識－ 事故の種類と予防策 3. 感染対策について－最新の知識－ 標準予防策と感染経路別対策、オムツの取り扱い 4. 看護技術（モデル人形を使用した演習） 静脈血採血、静脈内注射、点滴管理（輸液・輸注ポンプ等）、吸引、口腔ケア 5. 就職後のサポート体制

2018年度 看護学実習受入実績

[illegible][illegible]

10 助産関連業務

助産師は院内助産の実施に伴い、満足度の高いお産ができることを目的とした妊婦健診と保健指導（助産師外来）や母乳育児の支援として母乳育児外来や相談業務を行い、出産前から後まで継続した支援を行っている。

区分 年度	院内助産	助産師 外来	ペア クラス	母乳育児 外来	おっぱい 大好き 倶楽部	産後育児支 援のための 電話訪問	骨盤体操 クラス
28年度	97人	707人	178人	138人	19組	66人	
29年度	44人	470人	67人	102人	12組	21人	8月～開始 33人
30年度	53人	565人	66人	134人	16組	※	67人

※ 産後2週間目の検診を開始したため電話訪問を中止とした。

1 1 各種活動報告

(1) 感染対策会議（感染管理室）活動報告

院内感染とは医療機関において患者が現疾患と別に新たに得た感染症や職員が医療機関において感染した感染症のことである。当院では、院内感染防止のため①スタンダードプリコーション及び感染経路別予防策の実践②感染情報を共有③感染症発生状況の報告、分析、評価、この3点の考え方を基本とした感染対策を行い、患者・全職員・地域を含めた安全な環境確保を図る視点からも感染防止に取り組んでいる。

感染管理室は感染管理室長（副院長・感染制御医師）、感染管理室室長補佐（内科医師・感染制御医師）1名、室員（感染管理認定看護師）1名から構成され活動している。

1. 感染防止対策に関する診療報酬について

感染防止対策加算1・地域連携加算を継続算定し、高台病院、西湘病院、間中病院と連携し、合同カンファレンスを4回/年実施した。地域連携加算相互評価では、茅ヶ崎市立病院を当院が評価し、当院は平塚市民病院による評価を受け、総合評価は「A:適切に行われている」であった。平成30年度より抗菌薬適正使用支援加算が新設され、Antimicrobial Stewardship team（AST）抗菌薬適正使用支援チームを立ち上げ活動を開始した。

2. 神奈川県立病院機構感染防止対策会議（4回実施/年）

神奈川県健康医療局保健福祉部県立病院課担当、県立病院機構本部職員と6病院（当院・子ども医療センター・精神医療センター・がんセンター・循環器呼吸器病センター・神奈川リハビリテーション病院）の感染担当で、感染防止対策の推進に向けて情報共有、感染に関する教育の検討などを行った。

3. 感染対策会議（定例12回実施/年、臨時会議1回実施）

院内感染防止、感染症発生時の措置及び感染対策を推進する組織に関して必要な事項を定める会議である。Infection control team（ICT）感染制御チームミーティングの報告や感染リンクナース会議の報告を受け、当院の方針を決定した。臨時会議ではインフルエンザ対策を検討した。

4. ICT ミーティング（53回実施/年）・AST ミーティング（49回実施/年）

メンバー構成は、感染管理室長、室長補佐1名、臨床検査技師（感染制御認定臨床微生物検査技師）1名、薬剤師（感染制御認定薬剤師）1名、事務職員1名、室員1名の計6名である。毎週木曜日にミーティングを開催し、血液培養結果検討、耐性菌検出者検討、抗菌薬の適正使用及びケースラウンド、院内ラウンドを実施した。院内感染防止対策マニュアルの改訂、新型インフルエンザ等の対策、結核接触者健診、その他の感染対策を検討し、感染対策会議に提案した。

5. その他

	項目	今年度	前年度	備考
①	耐性菌サーベイランス	MRSA（感染患者割合）	2.50	2.04 (延べ入院患者に対する 感染患者数×1000)
②		ESBL（感染患者割合）	2.36	
③	血液培養件数		2050 件	1617 件
④	血液培養 2 セット率		99.1%	98.7%
⑤	特定抗菌薬届出提出率		96.7%	93%
⑥	バンコマイシン治療薬物モニタリング（TDM）		35 名	19 名
⑦	職員インフルエンザワクチン接種率		89%	90%
⑧	院内研修受講者数（延べ人数）		1762 名	1323 名
⑨	院内研修実施回数		23 回	23 回
⑩	感染対策便り発行		12 回	13 回
				基本は月 1 回の発行

- ・サーベイランスは、①②に加え、厚生労働省院内感染防止対策サーベイランス（JANIS）検査部門・全入院患者部門及び手術部位感染（SSI）部門に継続参加した。
- ・平成 30 年度より抗菌薬適正使用支援チームが活動しており、③～⑥が昨年より伸びているのは、チーム活動、介入による影響も考えられる。
- ・季節性インフルエンザ対策は、「神奈川県インフルエンザ定点報告数」と院内の入院患者状況から面会者にサージカルマスクの着用を義務付け、「咳エチケット」ポスター掲示で啓発した。1 月から 3 月中旬まで院内面会禁止とした。感染拡大することはなかった。
- ・結核対策では、2 件の事例に対し接触者健診が必要となり、延べ 31 名に接触者健診を実施した。
- ・院内研修では、非常勤職員や変則勤務者などが参加できるように、DVD 研修等を取り入れた。看護職には、E ラーニングを用いて標準予防策の学習を行い、手指衛生の推進を図った。

< 院内研修 >

主な研修テーマ（一部抜粋）	
新入職者等研修	院内感染対策について
泌尿器科軟性鏡洗浄手順	安全器材とハリクイの使用法
CV カテーテルについて	器材の取り扱い・環境整備
肝炎について～B 型肝炎、C 型肝炎～	臨床感染症の考え方・感染症治療概論・抗菌薬
新型インフルエンザについて	ウイルスによって起こる感染性胃腸炎

< 院外研修 >

施設	研修内容
神奈川県立中井やまゆり園	インフルエンザ・感染性胃腸炎
救急救命士	感染対策の基本

(2) 医療安全推進活動報告

- 医療安全研修は、技術演習、医療機器取り扱いと管理を中心に研修を実施した。全職員の83.9%（前年度－0.4%）が10ポイントの取得に至った。
- 有害事象・合併症報告は35件（H29年度47件）であり、内訳は造影剤による副作用が最も多い（14件）。当該部署内では事例の共有や対策検討は行えているが、部門を超えて症例検討会を開催することが課題である。
- 医療安全マニュアルを2018年2月に導入した電子カルテに対応できるように見直した。内服の処方指示・指示確認・実施入力に新システム（処方カレンダー）が導入された。処方カレンダーの運用基準を作成、周知を推進することで内服に関わるインシデントを防止した。見直しが終わっていない内容は次年度も継続して取り組む。
- 電子カルテシステムダウン時の運用基準作成、整備に取り組んだ。電子カルテシステムダウンの範囲に合わせた、障害発生時の連絡体制を明確化し、システム毎の障害発生時の対応について、担当者・連絡先等の一覧を作成した。システムダウン時の紙運用対応に必要な書類・伝票類の一覧を作成した。洗い出した書類を緊急時に使用できる備品として整備することは継続課題として次年度取り組む。
- 電子カルテによる患者認証システムの導入に伴い、患者確認のルールを見直した。患者認証を周知し患者誤認発生率は減少したが、実施前に患者確認を怠ったことによる患者誤認を無くすることが課題。
- 転倒転落については、80歳以上の入院患者の割合が年々数%ずつ増えている現状があり、転倒転落発生件数は増加した。レベル2以上の転倒転落事例を分析し、入院患者の基本動作（起居・移乗・移動動作）評価の重要性が明らかになったので、次年度は基本動作を評価する体制づくりに取り組む。
- 離院・離棟時の対応の周知を目的に、日中に離院が発生した設定で患者役を作り搜索活動を実践できるシナリオで訓練を行った。マニュアルのフロー通りの搜索分担の不都合や院内放送の活用など課題が明らかになった。次年度は、夜間休日訓練の実施、役場・警察等との連携訓練の実施を課題として取り組みを継続する。

① 会議の開催

医療安全管理会議 毎月1回 第4水曜日 / リスクマネジメント会議 毎月1回 第3金曜日に開催

	リスクマネジメント会議	医療安全管理会議		リスクマネジメント会議	医療安全管理会議
第1回	平成30年 4月20日	平成30年 4月25日	第7回	平成30年 10月19日	平成30年 10月24日
第2回	平成30年 5月18日	平成30年 5月23日	第8回	平成30年 1月16日	平成30年 11月28日
第3回	平成30年 6月15日	平成30年 6月27日	第9回	平成30年 12月21日	平成30年 12月26日
第4回	平成30年 7月20日	平成30年 7月25日	第10回	平成31年 1月18日	平成31年 1月23日
第5回	書面会議	書面会議	第11回	平成31年 2月15日	平成31年 2月27日
第6回	平成30年 9月21日	平成30年 9月26日	第12回	平成31年 3月15日	平成31年 3月27日

主な検討内容

月毎のヒヤリハット・アクシデント報告、医療安全巡回と報告（6月、10月、2月）、事例検討（7月、9月、11月、1月）、医療安全推進ニュースの検討、医療安全マニュアルの見直し、医療安全対策地域連携相互評価の報告、医療安全推進会議及び医療安全ワーキングの報告、医療安全週間開催と実施報告。

② 研修活動

	研修区分	対象	内 容	開催回数	参加 延べ人数
1	医療安全研修	全職員	医療安全急変時対応BLS・シミュレーション研修	1	65
		全職員	医療ガス供給設備・取扱いについて	1	54
		医師・看護師	CVカテーテルについて ガイドラインを含めて知りましょう	1	76
		全職員	ImSAFER	1	26
		医師・看護師	経鼻栄養チューブの挿入と管理	1	45
		看護補助者	看護補助者研修	1	34
		全職員	心電図モニター管理について	1	65
		全職員	災害時食事の配膳訓練	1	44
		全職員	急変時対応シミュレーション	1	50
		全職員	リスクマネジメント会議での事例報告	1	13
		全職員	30年度 医療安全活動報告会	1	47
		全職員	麻薬の管理について知ろう	1	28
		全職員	摂食・嚥下研修	1	143
		全職員	褥瘡対策研修	1	115
		全職員	災害トリアージ	1	71
		全職員	リハビリ教室(杖と歩行器)	1	17
		全職員	人工呼吸器	1	64
		全職員	認知症患者の意思決定支援	1	50
2	医療安全研修 セクション共同開催	全職員 一部対象限定 看護職員 研修医	ユマニチュード ITB勉強会 分娩期の看護について 新生児の異常の判断 新生児の病態 糖尿病について 敗血症 THA術後患者のリハビリ 褥瘡対策&摂食嚥下の姿勢調節 アルコール疾患について 免疫検査ピットホール がんの痛みアセスメント 筋委縮性側索硬化症 セデーションについて 認知症高齢者の口腔ケア ポジショニング 血液製剤の取扱い Im SAFER せん妄について等 計51研修	51	830
3	医療安全・感染防止研修	感染症対策委員会活動報告参照			
4	リスクマネジメント会議	会議構成員	リスクマネジメント会議の事例検討	4	61
5	採用時研修 (オリエンテーション)	転入・新採用職員 研修医	転入・新採用職員研修医採用時研修	2	109
		中途採用	中途採用者研修	1	5
6	DVD研修	全職員	医療安全DVD視聴	1	138

③ 医療安全週間（期間：平成30年11月8日～11月15日）

職員の医療安全に対する意識向上と、患者や来院者の医療安全活動への参画を推進するために開催。①近隣児童生徒の絵画コンクール（応募作品16点）②医療安全取り組みの展示（テーマ：5S活動～転倒・転落予防の視点から～）③参加型企画は手洗いチェッカーを使用した「正しい手洗い」を体験するイベントを企画した。3日間で59名の来院者が参加し、インフルエンザ流行前に普段の手洗い行動を振り返る機会となり手洗いを通して感染対策への意識付けを高めることにつながった。

④ 平成30年度ヒヤリ・ハット事例及びアクシデント報告

神奈川県立病院機構においては、ヒヤリ・ハット事例及びアクシデントの内容に応じて、そのレベルを以下のように設定しており、当院もそれに準じてデータをまとめた。

【用語の定義】

医療事故

医療法における医療事故の定義と同一とする。すなわち「当該病院等に勤務する医療従事者が提供した医療に起因し、又は起因すると疑われる死亡又は死産であって、当該管理者が当該死亡又は死産を予期しなかったものとして厚生労働省令で定めるもの」をいう。なお、医療事故に該当するかどうかの判断に当たっては過誤の有無は問わないから、過誤がなくても医療事故となる場合もあり、過誤があっても医療事故とはならない場合もあることを留意する。

アクシデント

過誤の有無に関わらず、医療の全過程において発生する下記（ヒヤリ・ハット事例及びアクシデントのレベル）のレベル3b以上の事例のことをいう。

ヒヤリ・ハット事例

ヒヤリ・ハット事例とは、日常診療の場で、患者に医療又は管理を行う上で、「ヒヤリ」としたり、「ハッ」とした事例で、アクシデントに至らなかったものをいう。

以上の医療事故、アクシデント、ヒヤリ・ハット事例を包括的に「医療事故等」という。

ヒヤリ・ハット事例及びアクシデントのレベル（表）

区分	レベル	内 容
ヒヤリ・ハット事例	レベル0	間違ったことが発生したが、患者には実施されなかった場合
	レベル1	間違ったことが実施したが、患者には変化が生じなかった場合
	レベル2	実施された医療又は管理により、患者に予期しなかった影響を与えた可能性があり、観察の強化や検査の必要性が生じた場合
アクシデント	レベル3	a 実施された医療又は管理により、患者に予期しなかった軽微な処置・治療の必要性が生じた場合
		b 実施された医療又は管理により、患者に予期しなかった若しくは予期していたものを上回る何らかの変化が生じ、濃厚な処置・治療の必要性が生じた場合
	レベル4	実施された医療又は管理により、患者の生活に影響する予期しなかった若しくは予期していたものを上回る高度の後遺症が残る可能性が生じた場合
	レベル5	実施された医療又は管理により、予期せず患者が死亡した場合

ア 全体報告数（表1 図1）

リスク感性の向上と報告の透明性を維持するため、レベル0（未然に防げた）と1（患者に影響が無かった）の報告増加とレベル2（患者に影響を及ぼした可能性）以上の報告減少を目標としている。

レベル0の報告件数は303件から285件に減少、レベル1の報告は1,213件から1,489件に増加、全体の報告数も422件増加した。

表1 インシデント・アクシデント年度別報告数

区分		レベル	28年度		29年度		30年度	
ヒヤリ・ハット事例		0	216	1,249	303	1,516	285	1,774
		1	1,033		1,211		1,489	
		アクシデント		2	214	235	181	204
3a	21			21	17			
3b	0			2	1			
4	0			0	0			
5	0			0	0			
合 計			1,484		1,718		2,140	
レベル2以上発生率※1			15.8%		11.9%		17.1%	
入院における報告	全発生率 % ※2		2.00%		2.11%		2.07%	
	レベル0.1発生率 ※3		1.70%		1.79%		1.68%	
	レベル2以上発生率‰ ※4		3.16‰		2.41‰		3.90‰	

※1 レベル2以上報告数／全体数

※2 入院分報告総数／延べ入院患者数

※3 入院分レベル0.1報告数／延べ入院患者数

※4 入院分レベル2以上報告数／延べ入院患者数

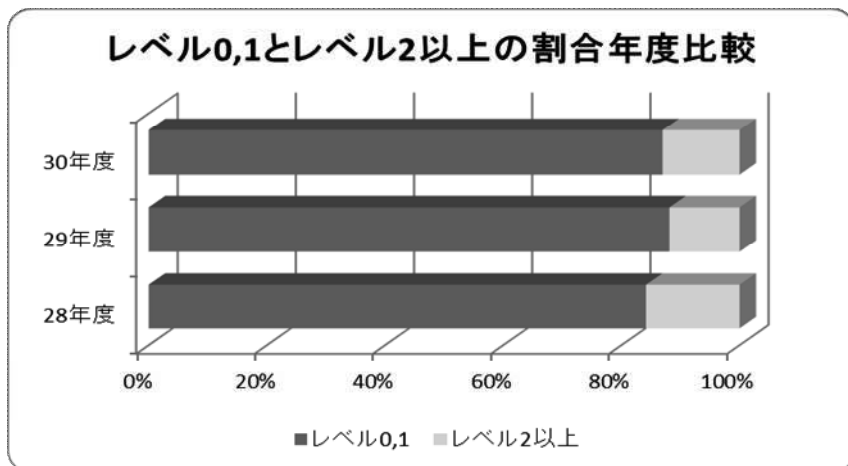


図1 レベル0,1とレベル2以上の割合年度比較

イ 事象別事故報告（表2、図2）

上位3項目は例年と同様でドレーン・チューブ類に関するもの510件（+121件）23.8%が最も多く、2位：転倒・転落で275件（+59件）12.9%、3位：内服薬254件（-25件）11.9%。4位は給食・栄養から検査256件（+148件）12.0%に変わった。これは、検査における採血量不足等の報告が増加したことにより、適切な採血実施への注意喚起となった。

表2 事象別事故報告件数

事象	①平成30年度		②平成29年度		①－② 件数
	件数	構成比	件数	構成比	
指示・情報伝達	67	3.1%	81	4.7%	-14
薬剤（処方・与薬・調剤・製剤管理）	452	21.1%	464	27.0%	-12
注射・点滴	162	7.6%	129	7.5%	33
内服薬	254	11.9%	279	16.2%	-25
その他	36	1.7%	56	3.3%	-20
輸血	9	0.4%	8	0.5%	1
治療・処置・診察	84	3.9%	67	3.9%	17
手術	54	2.5%	22	1.3%	32
麻酔	3	0.1%	1	0.1%	2
その他治療	2	0.1%	7	0.4%	-5
処置	16	0.7%	24	1.4%	-8
診察	9	0.4%	13	0.8%	-4
医療用具（機器）使用管理	25	1.2%	16	0.9%	9
ドレーン・チューブ類使用・管理	510	23.8%	389	22.6%	121
検査	256	12.0%	108	6.3%	148
療養上の場面	665	31.1%	509	29.6%	156
転倒・転落	275	12.9%	216	12.6%	59
給食・栄養	199	9.3%	182	10.6%	17
その他	191	8.9%	111	6.5%	80
その他	72	3.4%	76	4.4%	-4
合 計	2,140	100.0%	1,718	100.0%	422

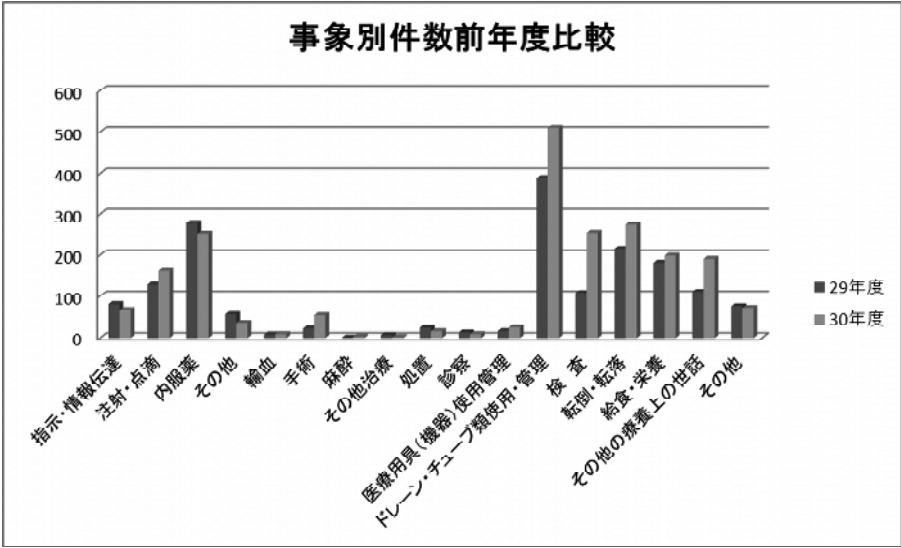


図2 事象別件数 前年度比

ウ 時間帯別事故割合（表3、図3）

時間帯別では、10～11時台、次いで12～13時台、16～17時台が多い。勤務交代時間や検査・処置、食事時間の移乗や与薬などケア等が重なる時間となっている。また夜間帯の報告件数も一定の割合で継続し、点滴の自己抜去や排泄行為等に伴う転倒転落が事象の大半を占めている。

表3 時間帯別事故割合

発生時間帯	②平成30年度		②平成29年度		①－② 件数
	件 数	構成比	件 数	構成比	
0～1時台	70	3.3%	87	5.1%	-17
2～3時台	77	3.6%	59	3.4%	18
4～5時台	101	4.7%	69	4.0%	32
6～7時台	190	8.9%	135	7.9%	55
8～9時台	227	10.6%	158	9.2%	69
10～11時台	273	12.8%	204	11.9%	69
12～13時台	239	11.2%	242	14.1%	-3
14～15時台	231	10.8%	162	9.4%	69
16～17時台	234	10.9%	179	10.4%	55
18～19時台	206	9.6%	165	9.6%	41
20～21時台	123	5.7%	95	5.5%	28
22～23時台	89	4.2%	89	5.2%	0
その他（時間帯不明等）	80	3.7%	74	4.3%	6
合 計	2,140	100.0%	1,718	100.0%	422

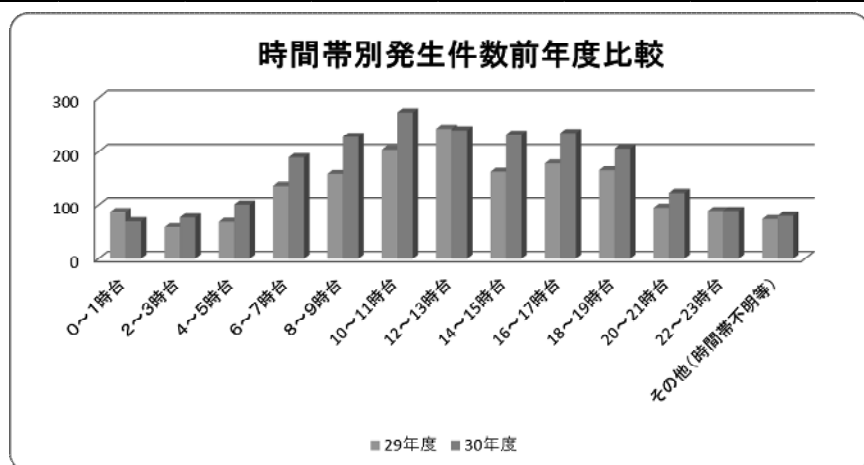


図3 発生時間帯別事故件数 前年度比較

次年度も引き続き生命に関わる重大事故レベル4・5を起こさないように取り組む。また、ヒヤリ・ハット事例報告のレベル0,1報告を共有し対策を講じることで、レベル2以上を減らすことに努める。

転倒転落を増やさない取り組みとして、①基本動作（起居・移乗・移動動作）を入院時から継続して評価するシステムの構築、②患者に適したベッド周囲環境の整備、③せん妄を予防する眠剤使用の標準化に向けて活動する。また、患者誤認を減らすために、患者確認のルールを見直し、実施前の患者確認が確実に実践できる体制づくりに取り組む。

(3) クリニカルパス検討会議

平成30年2月電子カルテ導入により、クリニカルパスは電子カルテ運用となった。
運用しながら、検討・修正を実施した。

2018年度 クリニカルパス使用実績

診療科名称	パス名称	件数			
総合診療科	大腸内視鏡・粘膜切除術(1泊2日)	42	泌尿器科	前立腺針生検	125
	内視鏡の胃粘膜切除・粘膜下層剥離術	26		経尿道の膀胱手術	82
	大腸内視鏡・粘膜切除術(2泊3日)	22		経尿道の前立腺切除術	56
	内視鏡の逆行性胆管膵管造影	17		結石破碎術	33
	内視鏡の大腸粘膜剥離術	7		局所麻酔下尿管ステント挿入・交換術	26
	内視鏡下胃瘻造設・交換術	7		前立腺全摘出術	15
	ラジオ波焼灼術・経皮エタノール注入療法・肝生検	5		排尿指導	14
	腹部血管造影・肝動脈塞栓術	5		腰椎麻酔下尿管ステント挿入・交換術	11
	待機の食道静脈瘤結紮術(EVL)	1		腎摘出術	4
循環器科	心臓カテーテル検査	118	脳神経外科	脊髓腔造影(脳神経外科)1泊2日	34
	経皮的冠動脈形成術(PCI)	42		脳血管撮影	31
	ペースメーカー新規植え込み	16		腰椎手術(脳神経外科)	30
	ペースメーカー電池交換	11		手根管症候群手術	15
				慢性硬膜下血腫当日用	12
外科	成人鼠径ヘルニア根治術(前日) 最新版	112		頸椎手術(脳神経外科)	4
	腹腔鏡下胆嚢摘出術(前日入院) 最新版	50		脊髓腔造影(脳神経外科)2泊3日	3
	大腸癌 最新版	35	産科	産褥	53
	虫垂炎手術(前日入院)	10	眼科	白内障手術(PEA+IOL)	98
	成人鼠径ヘルニア根治術	6	皮膚科	帯状疱疹	30
	胃がん 最新版	5	集計		1614
	乳癌手術	2			
整形外科	大腿骨頸部骨折	129			
	腰椎手術(整形外科)	40			
	脊髓腔造影 腰椎(整形外科)	38			
	人工膝関節置換術	48			
	大腿骨近位部骨折 観血的整復固定術	43			
	橈骨遠位端骨折	24			
	下肢抜釘術	13			
	人工股関節置換術	19			
	橈骨抜釘術	10			
	上肢抜釘術	6			
	足関節骨折	6			
	脊髓腔造影 頸椎(整形外科)	6			
	鎖骨骨折	8			
	足関節抜釘術	6			
	頸椎手術(整形外科)	1			
	鎖骨抜釘術	2			

(4) 災害医療対策室

救急医療の現状については、第3章患者の概況「救急患者取扱状況」を参照。
研修・訓練・協議会等の取組みについては次のとおりです。

①院内防災訓練

大規模地震の発生を想定したトリアージ訓練及び、実態に則した設定での消防訓練を実施した。(平成30年4月1日～平成31年3月31日 計8回 参加者延345名)

②訓練・研修会参加

- ・平成30年7月26日 平成30年度神奈川県災害時医療救護活動研修会参加2名
場所：神奈川県総合医療会館
概要：災害時における医療の基礎的な知識や考え方を、実践的な災害対応の研修
- ・平成30年8月4日 大規模地震時医療活動訓練 DMAT1隊参加
場所：宮崎県、徳島県、香川県、愛媛県、高知県、大分県
概要：南海トラフ地震における具体的な応急対策活動に関するDMATの参集、本部活動、消防・警察等、他機関と連携した広域医療搬送等実動訓練
- ・平成30年8月26日 ビッグレスキューかながわ(神奈川県・海老名市合同総合防災訓練)
DMAT1隊、DMAT・DMAT-L混合1隊参加
場所：大和市立病院、厚木市立病院、県立相模三川公園
概要：現場救護所の運営訓練、DMAT活動拠点本部の運営訓練、傷病者の搬送訓練
- ・平成30年12月8日～9日 DMAT関東ブロック訓練 DMAT1隊参加
場所：千葉県(船橋医療センター、東京ベイ・市川浦安医療センター他)
概要：各都県DMATや関係機関と連携し、被災地における緊急治療、病院支援、病院避難及び広域医療搬送等の訓練
- ・平成31年3月25日～27日、3月5日～9日 DMAT隊員養成研修3名受講し修了
(医師1名・看護師1名・業務調整員1名)

③会議出席

- ・平成31年3月4日 県西地域災害医療対策会議 2名出席
場所：小田原市合同庁舎
概要：行政、警察、消防、医師会等と県西地域災害医療の推進について検討

(5) 褥瘡対策会議

褥瘡対策チーム活動

2018年度の診療報酬改定で、入院基本料の褥瘡に関する危険因子評価に皮膚の脆弱性（スキン-テアの保有・既往）が追加され、又褥瘡ハイリスク患者ケア加算の項目にMDRPU（医療関連機器圧迫創傷）が追加となった。そのことから、スキン-テアとMDRPUについて、院内研修会の開催と、褥瘡リンクナース会議の活動を通じて周知を行った。そして、自重褥瘡・MDRPU、スキン-テアが発生した場合には、早期発見と共に早期介入・早期治療を目的に、医療安全のインシデントかアクシデントとして報告することを取り決めた。自重褥瘡以外で、MDRPU32件（前年+20件）、スキン-テア19件の発生報告があり、その背景として、スタッフの認識や意識向上により報告数の増加に繋がっていると考えられる。医療安全推進室と連携しながら、褥瘡対策チームで介入をしているが、入院数に対する褥瘡危険因子保有者が増加している中、周知活動とあわせて、予防対策の強化に取り組む必要がある。

褥瘡有病者（院内外発生者）は年々増加傾向にあり、院内褥瘡発生患者においては、褥瘡発生後にウレタンマットレスから高機能エアマットレスへ変更した症例があった。患者個々に合わせた体圧分散寝具の選択や機能設定が出来ていない現状があるため、体圧分散寝具（高機能エアマットレス等）の研修会開催を予定している。

褥瘡関連データ

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
褥瘡危険因子保有者数	2,070名	2,172名	2,501名
褥瘡有病者数	164名	211名	255名
院内発生（自重褥瘡）	54名	73名	81名
院外発生	111名	140名	177名
入院数に対する褥瘡危険因子保有者の割合	36.2%	40.5%	44.6%
入院数に対する褥瘡有病者の割合	2.9%	3.9%	4.6%
院内発生者（自重褥瘡）の割合	1%	1.4%	1.4%
褥瘡ハイリスク患者ケア加算算定数	886名	1,009名	1,033名

(6) ボランティア活動報告

3団体が定期的に活動している

団体名	活動日	活動内容
病院ボランティア会 ランパス	月／週 13:30～	移動図書、外来本棚整理、病棟患者対応
松田絵手紙の会	第4金曜日 14:00～	絵手紙作成
受付介助ボランティア	月～金曜日（平日のみ）	外来受付介助

(7) 臨床病理検討会（Clinicopathological conference CPC）

第60回 CPC 平成30年7月23日 16時00分より 研修室1

外科 米山 克也先生 研修医 赤松 遼一先生 病理診断科 亀田 陽一先生

「S状結腸憩室炎術後、心不全に至り死亡した症例」

出席者 19名

第61回 CPC 平成30年11月29日 16時00分より 研修室1

循環器内科 近藤 寿哉先生 研修医 久富 健介先生 病理診断科 奥寺 康司（横浜市大）先生

「心不全の治療中に脳梗塞を発症して死亡した症例」

出席者 28名

第62回 CPC 平成31年2月13日 16時00分より 研修室1

外科 米山 克也先生 研修医 渡邊 南穂先生 病理診断科 亀田 陽一先生

「心不全の治療中に脳梗塞を発症して死亡した症例」

出席者 24名

(8) 糖尿病対策会議

糖尿病医療の充実および、地域医療連携による地域糖尿病患者の合併症発症予防と悪化防止・QOLの維持向上の推進を図る目的で活動を行っている。

平成 30 年度の活動実績

1. 糖尿病公開医療講座、並びに地域医療連携による出前講座の実施

昨年度まで実施していた糖尿病フェスタを、関係機関の依頼で講師を派遣する出前講座「2市8町保健師研修」に変更して実施した。

また、病院主催の公開医療講座として『～糖尿病、私の場合～』のテーマの下、年間4回の「糖尿病公開講座」を行った。

回	月 日	講 師	テーマ	参加人数
第1回	5月23日(水) 17:00～18:00	内科医師	「あなたと糖尿病」	28名
第2回	7月25日(水) 17:00～18:00	管理栄養士 理学療法士	「食事療法/運動療法 病の質問に答える」	26名
第3回	9月26日(水) 17:00～18:00	薬剤師 臨床心理士	「薬物療法/ 参加者同士話す会」	16名
第4回 (出前講座)	12月12日(水) 13:30～16:30	糖尿病チーム	「糖尿病の方を地域で支える 保健指導」	35名
第5回	2月28日(水) 17:00～18:00	佐藤内科医院 院長 佐藤弘樹医師 (足柄上医師会)	「糖尿病、こんな時は どうする？」	35名

2. 糖尿病療養指導に関する院内研修の実施

昨年度行ったアンケートを基に、要望の多かった内容についてのスタッフ向け糖尿病勉強会を年間4回実施した。例年よりも多くの職員が参加し、幅広い内容の研修会を実施した。

回	月 日	講師	テーマ	参加人数
第1回	7月6日(金) 18:00～19:00	櫻井医師	糖尿病概論について	32名
第2回	9月6日(木) 18:00～19:00	糖尿病認定看護師 矢野 臨床心理士 大島	「糖尿病患者さんのフォロー」 ～糖尿病に向き合えない患者への関 わり方を考える～	17名
第3回	10月24日(水) 18:00～19:00	管理栄養士 奥野 薬剤師 佐久間 臨床検査技師 町田・加藤	糖尿病とコメディカル	31名
第4回	3月7日(木) 18:00～19:00	総合診療内科 柳橋医師	糖尿病総論 ～平成30年度総まとめ～	22名

(9)「医学講座」・「出前講座」

医学講座・出前講座企画運営会議

平成30年度 地域住民対象「医学講座」「出前講座」開催実績

回	日 時	テーマ	講 師	会 場	対 象
医学 第31回	6月30日（土） 14：00～16：00	「寝たきりにならない！ 生涯自分の足で歩く！！」 ～『フレイル』について考えてみ ませんか？～	①整形外科医 中村祐之 ②作業療法士 安孫子富美代	中井町 農村環境改善センター 2階 研修室1.2	市民・町民
医学 第32回	9月29日（土） 14：00～16：00	「「ハアハア、ゼイゼイ」 最近、息苦しくありませんか？ ～あなたの肺、大丈夫？ COPD（慢性閉塞性肺疾患）～」	①呼吸器内科部長 尾下文浩 ②管理栄養士 杉野万紀	山北町 健康福祉センター	市民・町民
医学 第33回	3月9日（土） 14：00～16：00	「胃カメラ検査～こわいけど …受けた方がいいの？～」	①消化器内科担当部長 國司洋佑 *休憩時 “健康体操” ②松田町 健康づくり係	松田町 松田町立公民館 展示ホール	市民・町民
出前 第1回	6月18日（月） 10：40～12：00	「子どもの病気や事故への対 応について」	地域医療連携室 助産師 佐藤良枝	開成町民センター	開成町ファミリーサポート会員 「まかせて会員・両方会員研修会」
出前 第2回	7月24日（火） 13：30～15：00	「いきいきと年を重ねるため に知っておきたい閉経後から のホルモンバランス」	地域医療連携室 助産師 佐藤良枝	中井町保健福祉センター	中井町 わかき会健康づくり研修会
出前 第3回	8月29日（水） 10：00～11：30	「ロコモ予防チェック」	理学療法士 新井昌行	山北町健康福祉センター	20歳以上の簡単な運動が出来る町 民
出前 第4回	9月26日（水） 10：00～11：30	「ロコモ予防チェック」	理学療法士 新井昌行	山北町健康福祉センター	20歳以上の簡単な運動が出来る町 民
出前 第5回	10月3日（水） 13：30～15：00	「糖尿病のお話し」	消化器内科 柳橋崇史	南足柄市 保健医療福祉センター	特定健診受診者
出前 第6回	10月22日（月） 10：00～12：00	「乳幼児の事故・病気の予防と 対処」	小児科 青木理加	バレットガーデン自治会館	利用されているお母さん達
出前 第7回	10月23日（火） 14：00～15：00	「内臓脂肪の悪影響について ～メタボリックシンドローム を理解しよう」	副院長 加藤佳央	開成町保健センター	健診結果を受け取る町民
出前 第8回	10月31日（水） 13：30～14：30	「感染症（ノロウイルス等）の予防について」 「活動中の怪我に対する応急処置法につ いて」	地域医療連携室 助産師 佐藤良枝	山北町役場	子ども指導員研修会
出前 第9回	11月14日（水） 10：40～12：00	「子どもの病気や事故への対応に ついて」	地域医療連携室 助産師 佐藤良枝	開成町民センター	開成町ファミリーサポート会員 「まかせて会員・両方会員研修会」
出前 第10回	11月16日（金） 10：30～11：30	「フットケア」	外来看護師 矢野幸枝	山北町 高齢者いきいきセンター	山北町 介護予防塾の方々
出前 第11回	11月21日（水） 10：30～11：30	「フットケア」	外来看護師 矢野幸枝	山北町 清水ふれあいセンター	山北町 介護予防塾の方々
出前 第12回	11月26日（月） 10：30～11：30	「フットケア」	外来看護師 矢野幸枝	山北町 健康福祉センター	山北町 介護予防塾の方々
出前 第13回	12月12日（水） 13：30～16：30	「糖尿病について」	糖尿病チーム 柳橋崇史 佐久間裕美 大島昭宏	足柄上合同庁舎	2市8町の保健師研修
出前 第14回	12月17日（月） 14：00～15：30	「乳幼児の病気や事故への対応に ついて」	地域医療連携室 助産師 佐藤良枝	南足柄市りんどう会館	ファミリーサポート職員研修
出前 第15回	3月13日（水） 15：00～15：30	「乳がんの基礎知識」	外科部長 米山克也	足柄上合同庁舎	健康増進事業・特定健診・特 定保健指導者担当者会議

第 5 章 研 究 等

論 文 発 表

題 目	発 表 者	備 考
総 合 診 療 科 (内 科)		
繰り返すS状結腸軸捻転症に対して経皮的内視鏡的結腸瘻造設術が奏功した1例	國司洋佑、松林真央 太田光泰、大石梨津子 日下恵理子、田中 聡 柳橋崇史、羽尾義輝 加藤佳央、前田 慎	日本消化器内視鏡雑誌
呼 吸 器 内 科		
Phase II Study of nedaplatin and irinotecan as adjuvant chemotherapy for completely resected non-small cell lung cancer.	Murakami S, Saito H Kondou T, Ito H Oshita F, Yamada K.	Cancer Chemother Pharmacol 81-87, 2018
Comparison of spontaneous and secondary pneumomediastinum.	Kawata N, Yoshie K Oshita F.	Chest Disease Reports volume 6:6365, 2018
外 科		
Clinical significance of secreted protein, acidic and cysteine-rich gene expression in patients with stage II/III gastric cancer following curative resection and adjuvant chemotherapy with S-1.	Suzuki Y, Oshima T Yoshihara K, Sakamaki K Aoyama T, Cho H Shiozawa M, Yoshikawa T Rino Y, Imada T Masuda M	Oncol Lett. 2018;15:7335-7343.
題 目	発 表 者	備 考
整 形 外 科		
整形手術手技 レッグポジショナーを使用した最小侵襲前方進入法による人工股関節全置換術の手術手技	石田崇、Kerboul Luc 牧田浩行、柁原俊久 佐藤昌明、玉置聡 蜂谷將史	整形外科 (0030-5901) 69巻5号 Page450-455 (2018. 05)
大腿骨人工骨頭挿入術における最小侵襲前方進入法 (AMIS) と前側方進入法の比較	石田崇、牧田浩行、 柁原俊久、佐藤昌明、 玉置聡、蜂谷將史	Hip joint (0389-3634) 44巻1号 Page480-485 (2018. 08)
レッグポジショナーを使用した最小侵襲前方進入法による人工股関節全置換術術中骨盤傾斜とカップ前方開角の変化	石田崇、瀧上秀威 篠原健太郎、中村祐之 近藤直也、川島大輔 牧田浩行、柁原俊久 佐藤昌明、玉置聡 鈴木宙、蜂谷將史	日本人工関節学会誌 (1345-7608) 48巻 Page367-368 (2018. 12)
軽微な外力により生じたLisfranc関節脱臼骨折の1例	川島大輔、牧田浩行 瀧上秀威、篠原健太郎 石田崇、中村祐之 近藤直也、松本匡洋 広田哲史	神奈川県整形災害外科研究会雑誌 (1348-043X) 31巻4号 Page77-79 (2019. 03)
検 査 技 術 科		
Preponderance of endometrial carcinoma in elderly patients.	Ogane N, Hori SI Yano M, Kato T Kamoshida S, Kato H Kameda Y, Yasuda M	Mol Clin Oncol. Sep ; 9 (3) : 269-273, 2018.
Cleaved caspase-3 expression is a potential prognostic Factor for endometrial cancer with positive peritoneal cytology.	Ogane N, Yasuda M Kato H, Kato T Yano M, Kameda Y Kamosida S	Cytopathology. Jun;29(3):254-261 2018.

学 会 発 表

題 目	発 表 者	年 月 日	学 会 ・ 講 演 会 等
総 合 診 療 科 (内 科)			
保存的に治療し得た孤立性腹部内臓動脈解離の6例	大石梨津子、國司洋佑 倉上優一、日下恵理子 柳橋崇史、田中聡 羽尾義輝、吉江浩一郎		第115回 日本内科学会総会
左下腹部痛を契機に診断に至った腹膜垂炎の2例	日下恵理子、國司洋佑 大石梨津子、田中聡 柳橋崇史、羽尾義輝 岩淵敬介、吉江浩一郎 加藤佳央、前田慎		第643回 日本内科学会関東地方会
A case of subacute thyroiditis after multiple vaccinations	Watanabe N, Iwabuchi k Ota M, Shimizu T Kunishi Y, Kurakami Y Yoshie K		ACP (米国内科学会) 日本支部年次総会・講演会 2018
神奈川県立足柄上病院における、在宅後方支援の取り組みと課題	岩淵敬介、吉江浩一郎 倉上優一、安田優 麻生みちる、鈴木美絵 太田光泰		第9回 日本プライマリ・ケア連合学会 学術大会
地域基幹病院における、軽症高齢患者急性期 短期在宅加療クリニカルパスの運用	岩淵敬介、吉江浩一郎 倉上優一、安田優 麻生みちる、鈴木美絵 太田光泰		第9回 日本プライマリ・ケア連合学会 学術大会
来院時除脳硬直が見られ、回復した3度熱中症患者の1例	仲澤寿輝、高橋幸大 岩淵敬介、倉上優一 安田優、國司洋佑 羽尾義輝、柳橋崇史 田中聡、吉江浩一郎		第645回 日本内科学会関東地方会
成人発症IgA血管炎の1例	櫻井達哉、吉江浩一郎 倉上優一、岩淵敬介 太田光泰、國司洋佑 清水泉、安田優 加藤佳央、宮本一行		第645回 日本内科学会関東地方会
異所性胃粘膜から発症した食道腺腫の1例	日下恵理子、小林亮介 國司洋佑、大石梨津子 田中聡、柳橋崇史 加藤佳央	平成30年11月10日	第51回 神奈川県消化器病医学会総会
6品目除去による食事療法が奏功した好酸球性腸炎の1例	比嘉愛理、大石梨津子 國司洋佑、日下恵理子 田中聡、柳橋崇史 羽尾義輝、加藤佳央 倉上優一、太田光泰 吉江浩一郎、亀田陽一	平成30年11月10日	第51回 神奈川県消化器病医学会総会
地域基幹病院における在宅療養後方支援制度の活用と在宅療養に関する報告	高橋幸大、太田光泰 日下部明彦、吉江浩一郎 倉上優一、安田優 麻生みちる、鈴木美絵 岩淵敬介	平成30年11月3日	第29回 日本在宅医療学会
シェーグレン症候群に合併したCronkhite-Canada症候群の1例	木川忠之、日下恵理子 國司洋佑、大石梨津子 田中聡、柳橋崇史 羽尾義輝、吉江浩一郎 加藤佳央、亀田陽一 前田慎		第353回 日本消化器病学会関東支部例会
胸膜炎、門脈浮腫を認めたヒトパルボウイルスB19感染症の1例	安田優、岩淵敬介 高橋幸大、倉上優一 吉江浩一郎、加藤佳央 宮本一行		第649回 日本内科学会関東地方会

題 目	発 表 者	年 月 日	学 会 ・ 講 演 会 等
循 環 器 内 科			
三枝完全閉塞を起こしたST上昇型心筋梗塞の一例	近藤寿哉	CVIT2018	第27回 日本心血管インターベンション治療学術集会
心電図上PSVTとの鑑別に難渋した上部中隔型ペラパミル感受性心室頻拍の一例	松下広興		カテーテルアブレーション関連 連秋季大会2018
外 科			
蛋白漏出性胃腸症を呈した胃癌一切除例	高田賢、米山克也 鈴木喜裕、松浦仁 菅原海、亀田陽一 利野靖、益田宗孝	2018年 5月17、18日	第39回癌免疫外科研究会
整 形 外 科			
人工膝関節置換術後に対する単位数と膝屈曲角度の影響	三澤香織、篠原健太郎 牧田浩行	郡山 平成30年10月18日	第57回 全国自治体病院学会
《ハンズオンセミナー特別講師》 Modern cementing technique 臼蓋・大腿	牧田浩行	名古屋 平成30年10月26日	第45回 日本股関節学会
Anterior minimally Invasive Surgery THA術後前方脱臼した1例	新井昌行、牧田浩行 石田崇	名古屋 平成30年10月27日	第45回 日本股関節学会学術総会
Kienboeck病に対しmetaphyseal core decompressionを施行した1例	境貴史、牧田浩行 瀧上秀威、篠原健太郎 中村祐之、近藤直也 名取修平	新潟 平成31年2月	東日本手外科学会
人工膝関節置換術後における柴苓湯の下 肢浮腫への有効性	篠原健太郎、牧田浩行 瀧上秀威、中村祐之 近藤直也、境貴史 名取修平	東京 平成31年2月15日	日本人工関節学会
人工股関節全置換術後に生じた osteolysisが自然緩解した1例	牧田浩行、瀧上秀威 篠原健太郎、中村祐之 近藤直也、境貴史 稲葉裕	東京 平成31年2月15日	第49回 日本人工関節学会
《ハンズオンセミナー特別講師》 Modern cementing technique 寛骨臼と大腿	牧田浩行	東京 平成31年2月15日	第49回 日本人工関節学会
《パネルディスカッション》 CMK Original Concept 特性と使用経験	牧田浩行	東京 平成31年2月16日	第4回 Hip Implant Technology 研究会
脳 神 経 外 科			
重症頭部外傷症例の長期予後	濱田幸一、坂田勝巳 川崎隆、間中浩	仙台 平成30年10月 (シンポジスト)	第77回 日本脳神経外科学会総会
ITB療法新規参入時の課題	濱田幸一、田中貴大 稲垣浩、新垣勇大	東京 平成31年1月	第58回 日本定位機能神経外科学会
重症頭部傷症例の長期予後	濱田幸一、川崎貴史 間中浩、川崎隆 坂田勝巳	神戸 平成31年3月	第42回 日本脳神経外傷学会

題 目	発 表 者	年 月 日	学 会 ・ 講 演 会 等
栄 養 管 理 科			
Consideration on the Use of Medium Chain Fatty Acid Oils in Nutritional Management for Chronic Obstructive Pulmonary Disease(COPD) Patients	杉野万紀、岩渕敬介	香港 平成30年 7月6～8日	The 7th Asian Congress of Dietetics
リハビリテーション室			
人工膝関節置換術後のリハビリ単位数と膝屈曲角度の影響	三澤香織、篠原健太郎 新井昌行、牧田浩行	郡山 平成30年 10月18, 19日	第57回 全国自治体病院学会
Anterior Minimally Invasive Surgery THA術後前方脱臼した1例	新井昌行、牧田浩行 石田崇	名古屋 平成30年 10月26, 27日	第45回 日本股関節学会学術総会
看 護 局			
助産師だけの院内助産 地域の産科医療を守るために	佐藤良枝	平成30年 10月18, 19日	第57回 全国自治体病院学会
ベッドサイドケアの充実と働きやすい環境を整えるための取り組み	八ッ橋のぞみ	平成30年11月12日	第37回 神奈川県病院学会
咽頭がんの終末期患者の疼痛と倦怠感に対しアロママッサージを行い「家事を行いたい」を支えた関わり	桐生光代	平成30年 12月8, 9日	第42回 死の臨床研究会年次大会
インフルエンザ流行と手指消毒剤による手指衛生の実施結果	遠藤泰子	平成31年 2月22, 23日	第34回 日本環境感染学会総会学術集会
ストーマ外来に求められる継続ケアについて考える	村松良子	平成30年12月1日	神奈川県ストーマ研究会

研 修 ・ 研 究 等

講 演

題 目	発 表 者	年 月 日	研 修 ・ 講 演 会 名
総 合 診 療 科(内科)			
「痛み止めによる胃潰瘍とネキシウム」	國司洋佑		第4回足柄上地区在宅医療・介護連携支援講演会
「当院に肝障害で紹介となった50例の原因と経過について」	國司洋佑		第2回小田原C型肝炎フォーラム基調講演
「胃カメラ検査～こわいけど受けた方が良い?～」	國司洋佑	平成31年3月9日	第33回足柄上病院「医学講座」
「あなたと糖尿病」	柳橋崇史	平成30年5月23日	第1回「糖尿病公開講座」
「糖尿病のお話」	柳橋崇史		平成30年度南足柄市糖尿病重症化予防講座

題 目	発 表 者	年 月 日	研 修・講 演 会 名
「糖尿病について」	柳橋崇史		平成30年度足柄上・小田原保健衛生研修
「当院における糖尿病患者に対する治療の傾向」	柳橋崇史		足柄上医師会学術講演会
「HIV診療の現況 2018」	加藤佳央		平成30年度足柄上医師会エイズ治療症例研究会
呼 吸 器 内 科			
「慢性閉塞性肺疾患（COPD）について」	尾下文浩	平成30年9月29日	第32回足柄上病院「医学講座」
小 児 科			
「乳幼児の事故・病気の予防と対処」	青木理加	開成町 平成30年10月22日	開成町子育て支援センター あじさいっこ講座
整 形 外 科			
「人工膝関節置換術におけるMidflexion instabilityについて」	篠原健太郎	小田原 平成30年7月	足柄上臨床医会
「気をつけよう骨折 治療しよう骨粗鬆症」	瀧上秀威	開成町 平成30年10月25日	平成30年度保健医療セミナー
「骨粗鬆症の検査・治療の重要性」	瀧上秀威	松田町 平成30年12月18日	足柄上地区骨粗鬆症治療連携検討会
脳 神 経 外 科			
「ようこそ応急手当講習へ 一目の前の傷病者を助けるにはー」	濱田幸一	松田町民文化センター 平成30年9月	
「ITB療法について（ギャバロン髄腔内投与法）」	濱田幸一	足柄上病院 平成30年10月	足柄上医師会合同勉強会
「脳神経外科救急疾患あれこれ」	濱田幸一	足柄上病院 平成31年3月	小田原消防症例検討会
「椎体圧迫骨折に対する経皮的椎体形成術」	田中貴大 稲垣浩 濱田幸一	足柄上病院 平成31年2月	平成30年度 第3回足柄上臨床研究会
薬 剤 科			
「糖尿病の方を地域で支える保健指導～足柄上病院糖尿病対策チームとの情報交換会～」	佐久間裕美	平成30年12月12日	神奈川県小田原保健福祉事務所 主催 保健衛生研修
放 射 線 技 術 科			
「GE社製 乳房撮影装置Senographe Pristinaを使用して」	瀧美佐紀	小田原市 平成30年11月	西湘放射線技師会 秋季学術講演会

研 修 ・ 研 究 等

研修会主催

研 修 名	担 当 者	年 月 日
整 形 外 科		
第8回足柄地区整形外科研究会	牧田浩行	平成30年7月
第9回足柄地区整形外科研究会	牧田浩行	平成31年2月

研 修 ・ 研 究 等

講 師 等

内 容	講 師 名	年 月 日	研 修 ・ 講 演 会 名
小 児 科			
講師	青木理加	平成30年6月15日	院内研修会 「新生児の異常と初期対応について①」
講師	青木理加	平成30年6月20日	院内研修会 「新生児の異常と初期対応について②」
講師	青木理加	平成31年3月9日	院内研修会 「新生児蘇生法（NCPR）講習会Bコース」
外 科			
講師	高田賢	平成30年7月15日	小田原市立病院 緩和ケア研修会
講師	高田賢	平成30年11月18日	横浜南共済病院 緩和ケア研修会
講師	高田賢	平成31年1月29日	横浜市立大学市民総合医療センター 緩和ケア研修会
講師	高田賢	平成31年2月9日	横浜市民病院 緩和ケア研修会
講師	高田賢	平成31年3月24日	茅ヶ崎市立病院 緩和ケア研修会
看 護 局			
講師	與良登美代	平成30年12月～平成31年1月 全6回	神奈川衛生学園専門学校「看護マネジメント」
助言者	與良登美代	平成30年4月1日～平成31年3月31日	東海大学看護師キャリア支援センター救急看護認定看護師教育課程 教育委員
助言者	向出哉美	平成30年6月7日、10月25日	神奈川県立病院機構看護職員研修「医療安全」
講師	佐藤良枝	平成30年5月1日～平成31年3月31日	北里大学看護学部非常勤講師（助産学実習）
講師	佐藤良枝	平成30年6月8日、11月14日	開成町ファミリーサポートセンター まかせて会員・両方会員研修会 「こどもの病気や事故への対応について」

内 容	講 師 名	年 月 日	研 修 ・ 講 演 会 名
講師	佐藤良枝	平成30年7月24日	中井町役場健康課健康づくり班 わかくさ会健康づくり研修会「老後いきいきと」
講師	佐藤良枝	平成30年10月31日	山北町役場生涯学習課 子ども指導員研修会 「感染症予防とけがに対する応急処置」
講師	佐藤良枝	平成30年12月17日	社会福祉法人青い鳥子育て事業部 ファミリーサポート職員研修 「乳幼児の病気や事故への対応について」
助言者	伊藤雅子	平成30年6月16日、 11月17日	神奈川県立病院機構看護職員研修 「問題解決・リーダーシップ」
助言者	柳下由紀乃	平成30年6月28日、 10月19日	神奈川県立病院機構看護職員研修 「人材育成」
講師	遠藤泰子	平成30年5月30日、 11月28日、 12月12日	小田原・足柄・箱根消防 「感染防止対策について」
講師	遠藤泰子	平成30年12月7日	神奈川県立中井やまゆり園「感染症の予防」
講師	遠藤泰子	平成30年9月10日、 11月19日、 平成31年3月11日	日本感染管理ベストプラクティス“Saizen”研究会 「自施設の手順書の見直しと作成」
講師	香川仁美	平成30年7月13日	足柄上地区在宅医療・介護連携支援センター 足柄上地区医療・介護地域連絡会 「痛みのコントロールを知ろう」
講師	福田里美	平成30年6月14日、 7月17日、8月7日	神奈川県立保健福祉大学実践教育センター 感染管理認定看護師教育課程 「感染管理指導と相談」
講師	福田里美	平成30年8月29日	神奈川県立保健福祉大学実践教育センター 感染管理認定看護師教育課程 「学内演習」
講師	生田正美	平成30年9月29日	西湘ボランティアネットワーク 災害ボランティア養成講座 災害拠点病院の役割とDMAT
講師	生田正美	平成30年5月23日、 6月20日、7月11日	たまプラーザ看護学校「災害看護学」
講師	生田正美	平成31年2月26日	神奈川県立病院機構 平成30年県立病院機構技能職員研修 「災害時におけるDMAT活動」
講師	高橋佳織	平成30年9月6、13日	神奈川県立平塚看護大学校 老年介護「高齢者の皮膚」
講師	高橋佳織	平成31年1月11日	足柄上地区在宅医療・介護連携支援センター 足柄上地区医療・介護地域連絡会 「おむつ着用者のスキンケア」

内 容	講 師 名	年 月 日	研 修 ・ 講 演 会 名
講師	曾我輝之	平成30年5月11日	足柄上地区在宅医療・介護連携支援センター 足柄上地区医療・介護地域連絡会 「在宅における看取り～自然な最期の迎え方～」
助言者	曾我輝之	平成30年6月25日、 9月27日	神奈川県立病院機構看護職員研修 「看護倫理・臨床倫理」
講師	竹内尚美	平成30年7月17, 18 日	神奈川県立保健福祉大学実践教育センター 看護実習指導者講習会 看護論 再編成演習

研 修 ・ 研 究 等

執 筆 ・ マスコミ

内 容	担 当 者	年 月 日
看 護 局		
いまさら聞けない！急変対応Q&A p47～48 「喉頭展開、昔は肩枕を入れていたけどいまは入れないの？」 「挿管時、キシロカインスプレーを使わないのがスタンダード？ 救急カートに入っているけど」	生田正美	平成30年8月27日 照林社

神奈川県立足柄上病院年報

印刷発行 令和元年9月

発行者 神奈川県立足柄上病院
〒258-0003
足柄上郡松田町松田惣領866-1
電 話 (0465) 83-0351 (代)

編集責任者 事務局 経営企画課

印刷所 (有) 石橋印刷
電 話 (0465) 47-9171 (代)



地方独立行政法人

神奈川県立病院機構

Kanagawa Prefectural Hospital Organization